

わかる、できる、役に立つ!! ①

来ずにね! 接続の準備



最初に電源を入れるときの、必読書

接続に迷ったときは、

はじめNECインターネッティ、NECインター

PC98-NX SERIES

VALUESTAR NX

VC550J/8 VC500J/8 VC450J/8 VC40H/8
VE500J/8 VE450J/8 VE40H/8 VT450J/8

マニュアルを

使いこなす

各マニュアルの主な内容は表紙に書いてあります。

添付の「安全にお使いいただくために」は常に手元に置き、各マニュアルと合わせて必ずお読みください。

TV モデルではこの他に、『TV モデルガイド』が添付されています。

1
まずこれ!



2

準備ができたなら



3



パソコンの画面で見るマニュアル「パソコン探検箱」にもアプリケーションの説明、マニュアルの紹介などの便利な情報が
あります。



やりたいこと別マニュアルガイド

パソコンの接続とセットアップをしたい	まずこれ! 接続と準備
マウスの使い方を知りたい	練習! パソコンの基本
キーボードで文字を打ってみたい、ワープロを使いたい	練習! パソコンの基本
どんなアプリケーションが入っているか知りたい	練習! パソコンの基本、パソコン探検箱
インターネットを利用したい	たのしもう! インターネット、パソコン探検箱
インターネットに便利なソフトを使いたい	たのしもう! インターネット、パソコン探検箱
FAX を送受信したい	パソコン探検箱
年賀状やあいさつ状を作りたい	パソコン探検箱
パソコン用語の意味を知りたい	パソコン探検箱
プリンタをつなぎたい	拡張! 活用! バリュースター
オプション機器を取り付けたい	拡張! 活用! バリュースター
このパソコンの機能について詳しく知りたい	拡張! 活用! バリュースター
パソコンが思うように動かない	困ったときの Q&A
マニュアル総索引を使いたい	困ったときの Q&A
再セットアップしたい	困ったときの Q&A
テレビや地上波データ放送を見たい (TV モデルのみ)	TV モデルガイド



はじめに

この本は、パソコンを買ったら最初にしなければならない、接続と準備について説明します。はじめてパソコンに触れる人でも、迷ったりすることなく、まちがえずに操作を進めていけるように作られています。

パソコンの箱を開けて、置き場所に迷ったりしたときから、この本があなたの役に立つはずです。はじめて電源を入れ、パソコンを使えるようにするための準備作業についても、ていねいに説明しています。すでにパソコンを使ったことがある方も、この本は、必ず読んでください。

1999 年 7 月 初版

このマニュアルの表記について

手順は左、補足説明は右に

このマニュアルでは、操作手順は順番に画面を示しながら説明しています。実際のパソコンの画面を確かめながら操作を進めてください。パソコンの画面でむやみにマウスを操作すると、思わぬ画面が表示されることがあります。このマニュアルで、どこを操作すればよいのか必ず確認してください。また、ページの右側のグレーの部分には、操作に関連する補足説明や用語解説などが記載されています。はじめてパソコンを扱うかたは、右側の説明もよく読んでください。

このマニュアルでは、パソコンを安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています



警告

注意事項を守っていただけない場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示します。



注意

注意事項を守っていただけない場合、人が傷害を負う可能性が想定されること、または物的損害のみ発生が想定されることを示します。



感電注意

注意事項を守っていただけない場合、発生が想定される障害または事故の内容を表しています。左のマークは感電の可能性が想定されることを示しています。このほかに、発火注意、けが注意、高温注意についても、それぞれ記載しています。



禁止事項を示します。



電源ケーブルのプラグを抜くように指示するものです。



アース線を必ず接続するように指示するものです。

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります



チェック!!

してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。



ポイント

そこまでに説明した手順の中でとくに大切なポイントがまとめられています。後から応用するときのヒントとして利用してください。



用語

パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。



参照

マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。

このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

【 】	【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。
プリンタ、コネクタなど	「プリンター」や「コネクター」などの末尾に付く「ー」を省略して表記しています。これは、パソコンの画面に表示される用語や、パソコン関連書籍などでよく使われている表記に準拠しているためです。

このマニュアルでは、各モデル（機種）を次のような呼び方で区別しています

表をご覧ください、購入された製品の型名とマニュアルで表記されるモデル名を確認してください。

このパソコン	表の各モデル(機種)を指します。
CRTディスプレイセットモデル	CRTディスプレイがセットになっているモデルのことです。
液晶ディスプレイセットモデル	液晶ディスプレイがセットになっているモデルのことです。
CD-ROMモデル	CD-ROMドライブを搭載しているモデルのことです。
DVD-ROMモデル	DVD-ROMドライブを搭載しているモデルのことです。
TVモデル	テレビ/地上波データ放送を見るための機能やDVD-ROMドライブを搭載したモデルのことです。
一太郎モデル	Voice一太郎9・花子9パックがあらかじめインストールされているモデルのことです。
Office 2000モデル	Office 2000 Personalがあらかじめインストールされているモデルのことです。

型 名	型 番	表記の区分			
		本体の形状	CD-ROM /DVD-ROM	ディスプレイ	添付アプリケーション
VC550J/8GD1	PC-VC550J8GD1	コンパクトタイプ	CD-ROM モデル	液晶ディスプレイセットモデル (15 インチ液晶)	Office 2000 モデル
VC500J/8FD1	PC-VC500J8FD1				
VC450J/8FD1	PC-VC450J8FD1				
VC40H/8FD1	PC-VC40H8FD1				
VC40H/8FD2	PC-VC40H8FD2				
VC40H/8XD1	PC-VC40H8XD1				
VC40H/8XD2	PC-VC40H8XD2				
VE500J/87D	PC-VE500J87D		DVD-ROM モデル	CRT ディスプレイセットモデル (17 インチ CRT)	
VE450J/87D	PC-VE450J87D		CD-ROM モデル		
VE40H/87D	PC-VE40H87D				
VE40H/85D	PC-VE40H85D				
VT450J/8FD	PC-VT450J8FD	TV モデル	DVD-ROM モデル	液晶ディスプレイセットモデル (15 インチ液晶)	
VT450J/87D	PC-VT450J87D			CRT ディスプレイセットモデル (17 インチ CRT)	

本文中の画面

本文中の画面はモデルによって異なることがあります。また、実際の画面と異なることがあります。

このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

(本文中の表記)

(正式名称)

Windows、 Windows 98	Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版
一太郎	Voice一太郎9
一太郎9・花子9パック、 Voice一太郎9・花子9パック	Voice一太郎9・花子9パック(Voice一太郎9、花子9、三四郎9、ATOK12、VoiceATOK、Shuriken2.0、Sasuke)
Office 2000 Personal	Microsoft® Office 2000 Personal(Microsoft Word 2000、Microsoft Excel 2000、Microsoft Outlook® 2000、Microsoft / Shogakukan Bookshelf® Basic)
インターネットエクスプローラ、 Internet Explorer	Microsoft® Internet Explorer 5

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBit-INN、またはNECパソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。ご購入元までご連絡ください。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- (5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているMicrosoft® Windows® 98および本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでご使用ください。
- (8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Outlook、およびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

「一太郎」「花子」「ATOK」「Voice一太郎9・花子9バック」「VoiceATOK」「Sasuke」「Shuriken」は、株式会社ジャストシステムの登録商標または商標です。

「Voice一太郎9・花子9バック」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「Voice一太郎9・花子9バック」にかかる著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

商標「三四郎」は、株式会社エス・エス・ビーの登録商標であり、株式会社ジャストシステムは商標使用許諾を受けています。

VirusScanは、米国法人Network Associates, Inc. またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。

パソコン探検箱、BIGLOBE インターネット無料体験、PC ポータルは、日本電気株式会社の商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 1999

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

■輸出する際の注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。本製品は日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

目次

CONTENTS

はじめに	i
このマニュアルの表記について	ii

PART

1



パソコンを置く場所を決めよう 1

置き場所を決める	2
パソコンを置くのに適した場所	2
パソコンを置くのに必要な広さ	3
インターネットするなら、パソコンは電話の近くに	4
パソコンはアンテナ線の近くに(TV モデルの場合)	5
パソコンを置くのに適さない場所	6
パソコンの近くに置いてはいけないもの	6
電源の取り方	8
パソコンに必要な電源	8
パソコンの置き方	9
パソコン本体の梱包箱からの取り出し方	9
液晶ディスプレイの梱包箱からの取り出し方	9
CRT ディスプレイの梱包箱からの取り出し方	10
接続する前に	11
パソコンの周囲に添付品を置く	14
型番と製造番号を確認する	15

PART

2



パソコンを接続する 17

接続するときの注意	18
パソコンを接続する手順	19
パソコン本体にスタビライザを取り付ける	20
スタビライザを両側に取り付ける	21
片側だけスタビライザを取り付ける	23
キーボードを接続する	24
液晶ディスプレイ(F15R41W,B を除く)にキーボードを接続する ..	24
液晶ディスプレイ(F15R41W,B)にキーボードを接続する	28
本体にキーボードを接続する	31
キーボードの足を立てる	33
マウスを接続する	34

PART

3



ディスプレイを接続する	35
15 インチ液晶ディスプレイ (F15R41W,B を除く) を接続する ..	35
15 インチ液晶ディスプレイ (F15R41W,B) を接続する	37
14 インチ液晶ディスプレイを接続する	42
CRT ディスプレイを接続する	44
スピーカを接続する	46
左右のスピーカを接続する	47
スピーカをパソコン本体に接続する	48
電話回線に接続する	49
電話機をパソコンにつなぐ	50
パソコンを電話回線につなぐ	51
アースを接続する	52
電源ケーブルを接続する	54
液晶ディスプレイ (F15R41W,B) に電源ケーブルを接続する	56
液晶ディスプレイ (F15R41W,B を除く) に電源ケーブルを接続する ..	57
CRT ディスプレイに電源ケーブルを接続する	58
スピーカの AC アダプタを接続する	59
パソコン本体の電源ケーブルを接続する	60
 電源を入れてパソコンを使えるようにする	67
電源を入れる	68
名前を打ち込む	72
マウスを動かしてみる	72
ローマ字が打てるようにする	73
自分の名前をローマ字で打ち込む	75
「次へ」をクリックする	76
Windows のプロダクト キーを入れる	77
使用許諾契約に同意する	77
プロダクト キーを入れる	78
残りの手順を進める	80
このパソコンの機能を使えるようにする	81
マウスを使ってパソコンの電源を切る	83
パソコンの電源を入れ直して確認する	86
インターネットに接続できることを確認する	88

PART

4



ボタンひとつでインターネットに接続	88
インターネットを終了する	91
もう一度、パソコンの電源を切る	92
正規ユーザーの登録を行う	95

パソコン本体の操作を覚える 97

各部の名称と役割を覚えよう	98
電源の入れ方	100
電源の切り方	101
一時的に作業を中断する(スタンバイ)	103
パソコンをスタンバイ状態にする	103
スタンバイ状態を解除する	103
音量を調節する	104
他のマニュアルに進んでみる	105

付 録 107

こんなときは	108
ローマ字つづり一覧	116

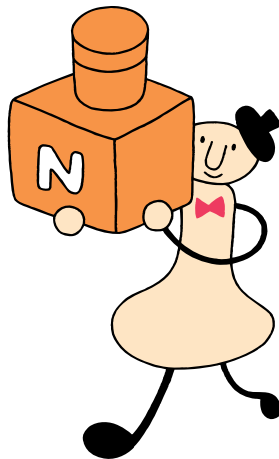
索 引 119

P A R T

1

パソコンを置く場所を決めよう

まず最初にパソコンを置く場所を決めましょう。パソコンは精密機械ですから、置き場所についてはいくつか気をつけなければいけないことがあります。説明をよく読んで置き場所を決めたら、梱包箱からパソコンを取り出します。



置き場所を決める



まず、パソコンを置く場所を決めましょう。パソコンには、置くのに適した場所、適さない場所があります。また、パソコンの近くに置いてはいけないものもあります。

⚠ 注意



感電注意

液体がかかる場所や湿気の多い場所に置かないでください。

パソコンを、水や油などの液体がかかる場所、湯気がかかる場所、湿気の多い場所に置くと、感電の原因になります。



感電注意

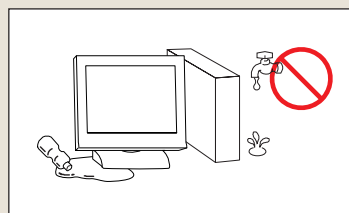
パソコンを屋外に置かないでください。

また、船舶、車輛などの内部では使用しないでください。



発火注意

感電、火災の原因になります。

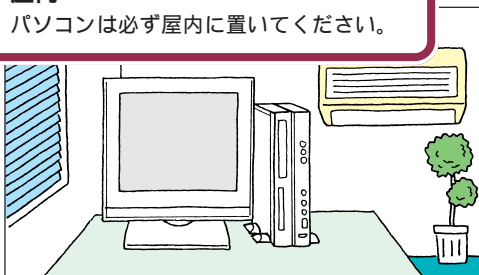


パソコンを置くのに適した場所

1

屋内

パソコンは必ず屋内に置いてください。



2

温度 10℃ ~ 35℃ (結露しないこと)

湿度 20% ~ 80%

温度や湿度は、それほど気にする必要はありません。一応の目安として考えてください。

3

平らで十分な強度がある台の上

(パソコンが落ちるおそれがないこと)

パソコンを置くのに適当な台がない場合は、市販のパソコンラックなどを使うこともできます。使いやすさをよく考えて選びましょう。また、本体の転倒防止のために、添付のスタビライザを取り付けてください。

4

ホコリが少ない

パソコンにホコリは大敵です。ホコリの少ない場所を選んでください。

用語

結露

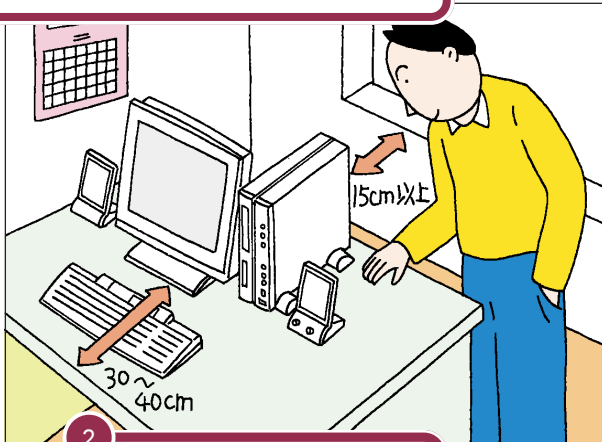
空気中の水分が金属板などの表面に触れて水滴となる現象です。寒い屋外から暖かい室内に入るとメガネが曇ったりするのも、結露の一例です。パソコンを温度の低い場所から暖かい部屋に持ち込んだりすると、機械の外側や内部に結露することがあります。このようなときは、電源を入れずに1時間以上置いておき、結露が収まるのを待ってから使ってください。

パソコンを置くのに必要な広さ

パソコンを設置する時には、キーボードやマウス、スピーカを置く場所や、配線のためのスペースが必要です。

1

パソコン本体の後ろ側に約 50cm (最低 15cm 以上)

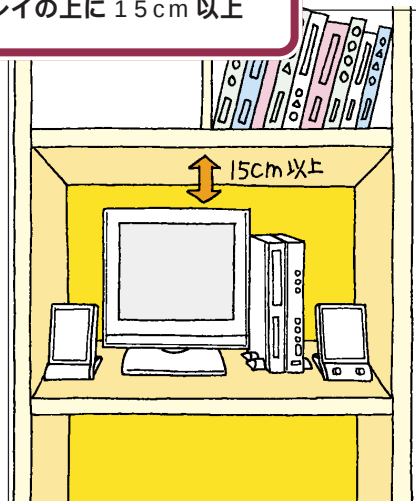


2

パソコン本体の前側に
約 30 ~ 40 cm

3

ディスプレイの上に 15cm 以上



本体の後ろ側には通風孔があるので、壁などから最低でも15cm離す必要があります。しかし、それだけではあとで配線をするときに大変です。50cm程度の余裕があれば、パソコンの後ろ側がよく見えるので、接続の作業が楽になります。

キーボードを置くためには、約20cmが必要です。その上、ゆったりとキーを打つためには、さらに約10~20cmの余裕があったほうがよいでしょう。

意外に忘れがちなのが、パソコンの上の空間です。ディスプレイの上側にも通風孔があるので、通風孔と棚の天板などとの間を最低でも15cmあけてください。また、ディスプレイの上に物を置かないようにしてください。

また、パソコン本体を壁などの安定した場所に接しておけば、スタビライザを片側に取り付けるだけで、転倒防止できます。

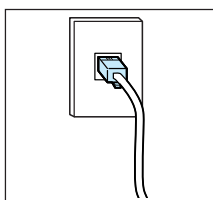
パソコン本体を横置きにしたときに、本体に載せられるCRTディスプレイなどの最大重量は、約20Kgまでです。

インターネットするなら、パソコンは電話の近くに

インターネットなど、パソコンの通信機能を利用するには、パソコンを電話回線に接続する必要があります。あらかじめ、ケーブルが電話回線の接続口が届く場所に、パソコンを設置しておくことをお勧めします。また、電話回線の接続口によっては、パソコンを接続できない場合があるので確認しておきましょう。

1

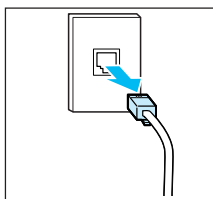
現在使っている電話機の
電話線接続口を調べる



2

電話線のプラグが簡単に
抜けることを確かめる

プラグを抜いたら、すぐに戻して
おくようしてください。



⚠ 注意

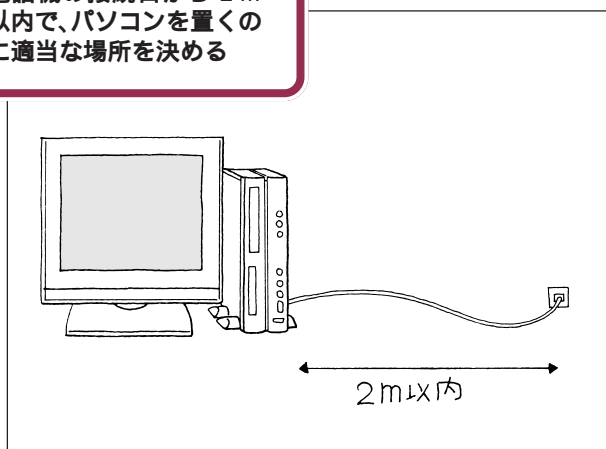


感電注意

モジュラーケーブル(電話線)を取り外したり、接続する
ときには、プラグの端子部分に触れないでください。
感電の原因になります。

3

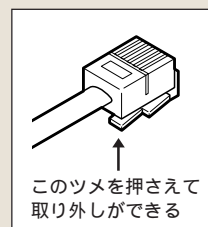
電話機の接続口から 2 m
以内で、パソコンを置くの
に適切な場所を決める



このパソコンを電話回線に接続するためのケーブルは、2 m の長さのものが添付されています。

電話機の本体から電話線をたどっていくと、電話回線の接続口を見つけることができます。図のように電話回線を簡単に取り外せるような接続口(モジュラーコンセントと呼びます)になっていない場合、電話工事が必要になることがあります。詳しくは、お近くの電話工事店または NTT にお問い合わせください。

電話線のプラグには、上下のどちらかにツメが付いています。このツメを指でつまんで押さえるようにすると、簡単に抜くことができます。



このツメを押さえて
取り外しができる

用語

モジュラーケーブル

通常は、電話回線の接続口(モジュラーコンセント)と電話機を接続するのに使われるケーブルです。パソコンを電話回線の接続口につなぐときも、同じケーブルを使います。電器店などで購入できます。

モジュラーケーブルが電話回線の接続口に届かないときは

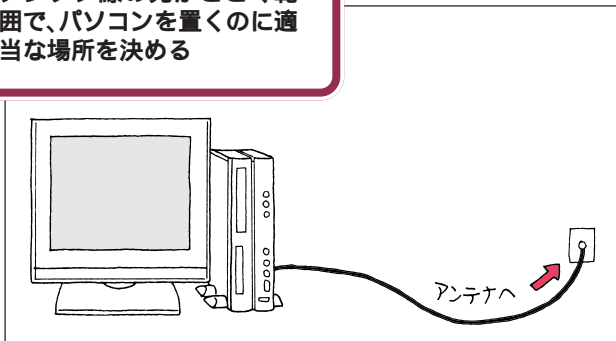
電話回線の接続口から 2 m 以上離れた場所にパソコンを設置する場合は、添付のモジュラーケーブルでは長さが足りなくなります。お近くの電器店またはパソコン販売店などで、必要な長さのモジュラーケーブルをお買い求めください。

パソコンはアンテナ線の近くに(TV モデルの場合)

TVモデルでは、本体にアンテナ線をつなぐと、テレビや地上波データ放送を見ることができます。あらかじめアンテナ線の長さや配置を考慮してパソコンを設置することをお勧めします。

1

アンテナ線の先がとどく範囲で、パソコンを置くのに適当な場所を決める



アンテナ線の接続は、『TV モデルガイド』で説明しています。アンテナ線の接続は、必ずこのマニュアルのPART3からのセットアップ作業が終わってからにしてください。



参照
アンテナ線の接続→『TVモデルガイド』PART1の「テレビを見る準備をする」

TVモデルには、ビデオデッキなども接続できます。これらの機器を接続する場合には、ケーブルの長さを考慮して置き場所を決めましょう。ただし、これらの機器はこのマニュアルのPART3からのセットアップ作業が終わってから接続してください。



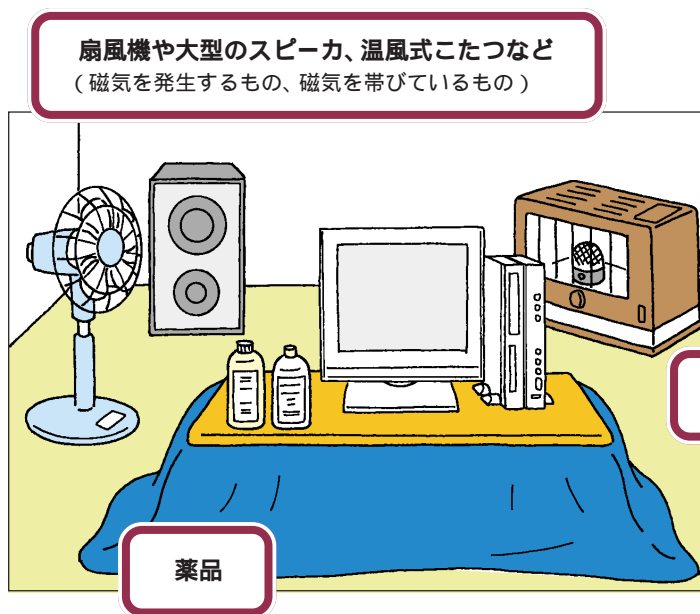
参照
外部ビデオ機器を接続するには→『TVモデルガイド』の「PART2 映像を取り込んでみよう」

パソコンを置くのに適さない場所



パソコンを接続したときに、ケーブル類が人の通る床をはっていると、足に引っかけるなどして危険です。また、小さなお子さんがある場合は、キーボードやマウスなどをお子さんが引っ張って落としてしまうこともあるので、十分にご注意ください。

パソコンの近くに置いてはいけないもの

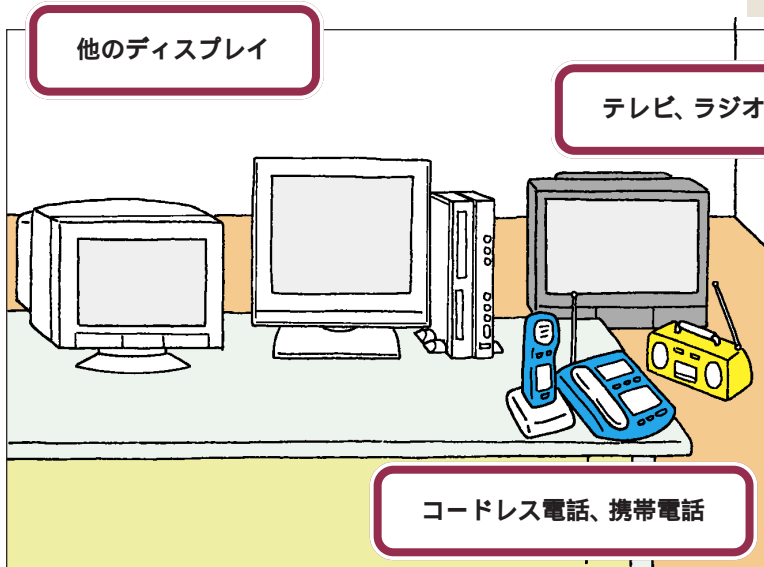


パソコンは磁気の影響を受けやすいので、強い磁気が近くにあるとディスプレイの表示が揺れたり、色が乱れたりすることがあります。パソコン用スピーカなど、磁気をもらさない(防磁設計)スピーカは近くに置いても構いません。温風式こたつも磁気を発生するので、パソコンを温風式こたつの上に置かないでください。

ストーブなどの暖房器具

暖房器具の近くにパソコンを置くと、熱でパソコンが変形したり、異常な動作をすることがあります。

薬品によっては、付着するとパソコンが溶けたり、変形したりすることがあります。

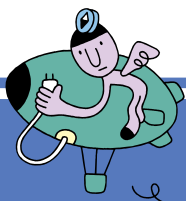


他のディスプレイの表示が揺れたり、色が乱れたりすることがあります。

テレビやラジオにノイズが入ることがあります。

コードレス電話や携帯電話などで通話中のときにノイズが入ることがあります。

電源の取り方



パソコンの電源の取り方はとても大切です。コンセントの位置や数をよく確認しておきましょう。

⚠ 注意



感電注意



発火注意

- ・電源ケーブルが折れ曲がった状態で使用しないようにしてください。

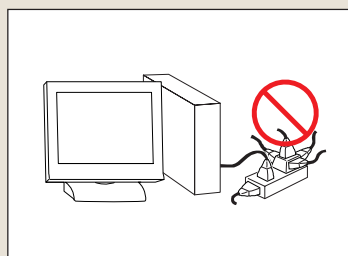
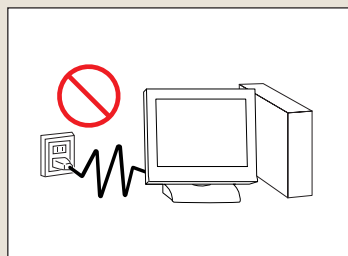
電源ケーブルが折れ曲がると、ケーブルに傷がついて、感電や火災の原因になります。

- ・AC100V(50/60Hz)の電源が使える場所に置いてください。

・AC100V(50/60Hz)以外の電圧で使用する
と、感電、発煙、火災の原因となります。

・タコ足配線にならないように、コンセントから直接電源が取れる場所に置いてください。

・電源ケーブルをタコ足配線にすると、コンセントが過熱して火災の原因になります。



パソコンに必要な電源

1

テレビ、ラジオなどとは別のコンセント



2

コンセント 3 口

- ・パソコン本体用
- ・ディスプレイ用
- ・スピーカ用 AC アダプタ用

アース端子

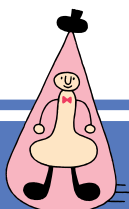
本体のアース線を接続する

パソコン本体の電源、ディスプレイの電源、スピーカの電源を取ります。電源はコンセントから直接取ってください。コンセントが不足、パソコン用のテーブルタップ等を使う場合も、コンセントとテーブルタップの電流容量を必ず守ってください。

テレビ、ラジオなどと同じコンセントを使うと、テレビ、ラジオに雑音が入ることがあります。

コンセントにアース端子がない場合は、他の方法でアースを取っても構いませんが、その場合は必ずお近くの電器店など電気工事士の資格を持った人にアース端子付きコンセントの取り付けを相談してください。

パソコンの置き方



パソコンを箱から取り出すときは、2人で作業してください。持ち運んだり置いたりするときは慎重に。

注意



パソコン本体を取り出すときは、パソコン本体を持って取り出してください。

パソコン本体を持たずに、衝撃吸収用の段ボールを持って取り出すと、パソコン本体が抜け落ち、けがやパソコン本体の破損の原因となります。

パソコン本体の梱包箱からの取り出し方



1

パソコン本体の箱から、パソコン本体をしっかりとって、衝撃吸収用の段ボールごと、ゆっくり上に引き出す

2

パソコン本体を静かに置く

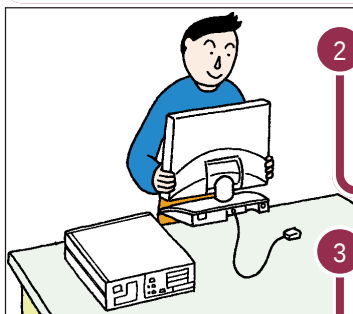
パソコン本体を取り出したら、衝撃吸収用の段ボールを引き抜きます。次に、ビニール袋から取り出すときも、パソコン本体に衝撃を与えないよう、2人で慎重に行ってください。

机の上やパソコンラックなど、あらかじめ決めておいた設置場所に置いてください。あとでパソコン本体にスタビライザという台を取り付けて縦に置きますが、それまでは横向きに置いておきましょう。

液晶ディスプレイの梱包箱からの取り出し方

1

パソコン本体と同じように、ディスプレイを、慎重に箱から取り出す



2

ディスプレイの画面が見えるほうに立ち、ディスプレイの左右の端をしっかりと持つ

3

ディスプレイをパソコン本体の横に置く

チェック!!

取り出すときには、ディスプレイの液晶パネルの表面や外枠を強く押さないように注意してください。画面に干渉縞が発生するなど、表示異常の原因になります。

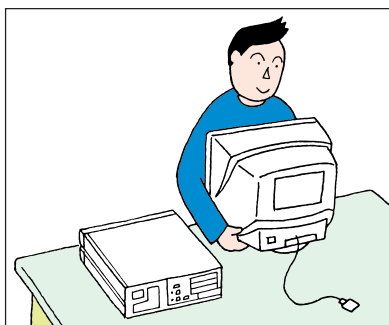
CRT ディスプレイの梱包箱からの取り出し方

1

パソコン本体と同じように、ディスプレイも、2人で慎重に箱から取り出す

2

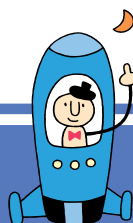
ディスプレイの画面が見えるように立ち、ディスプレイの下に左右から手を差し込んでしっかり持つ



3

ディスプレイをパソコン本体の横に置く

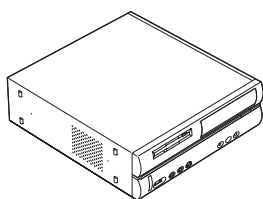
接続する前に



接続を始める前に、必要な機器が揃っているか確認しておきましょう。ここでは、添付品のうち、接続に使用するものだけを記載しています。

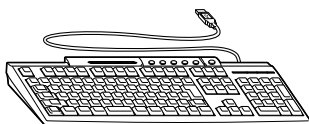
1

パソコン本体



2

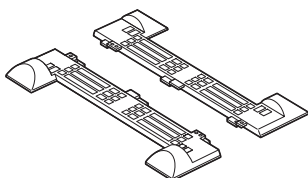
キーボード



● 添付品収納箱に入っているもの

1

スタビライザ



2

スタビライザ取付け用ネジ



ビニール袋に2本入っています。

3

マウス



4

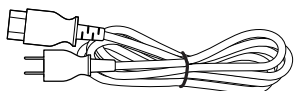
アース線



緑色の電線です。

5

本体電源ケーブル



6

モジュラーケーブル



他に、プラスドライバーを準備してください。スタビライザの取り付け、アース線の接続に必要です。

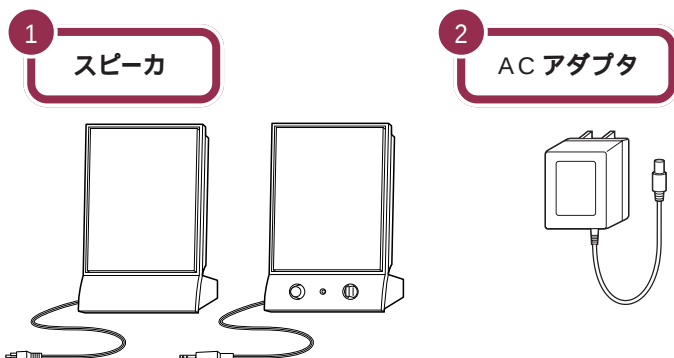
TVモデルの場合は、この他にアンテナと本体、LINEケーブルの接続をします。

LINE ケーブルは、添付品収納箱に入っています。これらの接続方法は『TV モデルガイド』で説明しています。

参照

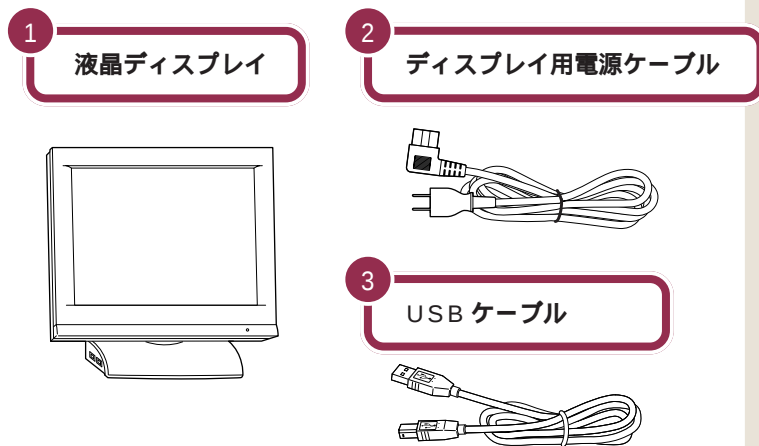
アンテナ線、LINEケーブルの接続→『TV モデルガイド』PART1の「テレビを見る準備をする」

• スピーカセットの梱包箱に入っているもの



• ディスプレイ梱包箱に入っているもの

< 液晶ディスプレイ (F15R41W、F15R41B を除く) セットモデルの場合 >



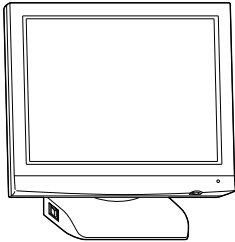
液晶ディスプレイの形状は、モデルによって異なります。

● ディスプレイ梱包箱に入っているもの

< 液晶ディスプレイ (F15R41W、F15R41B) セットモデルの場合 >

1

液晶ディスプレイ



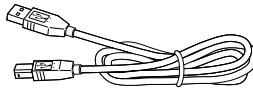
2

ディスプレイ用電源ケーブル



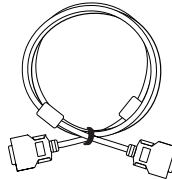
3

USB ケーブル



4

ビデオ信号ケーブル

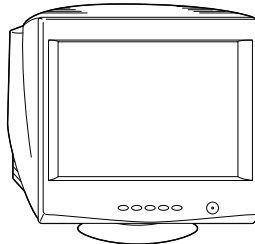


● ディスプレイ梱包箱に入っているもの

< CRT ディスプレイセットモデルの場合 >

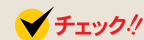
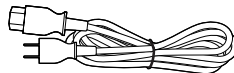
1

ディスプレイ



2

ディスプレイ用電源ケーブル

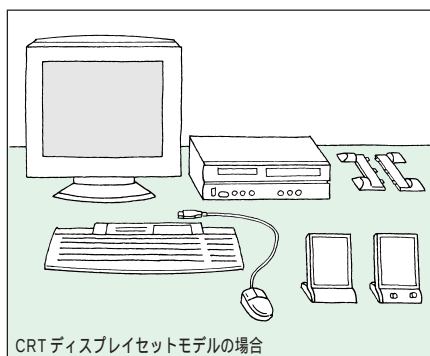
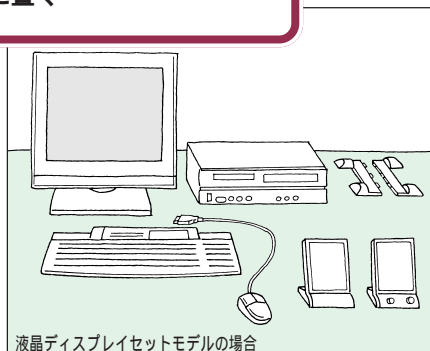


ディスプレイやディスプレイ用電源ケーブルの形状は、モデルによって異なります。

パソコンの周囲に添付品を置く

1

下のイラストのように、
添付品をパソコンの周囲
に置く



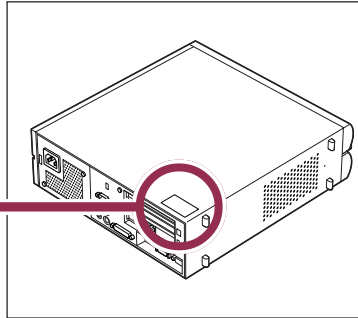
だいぶパソコンらしい姿になってきましたね。それぞれの接続方法については、次の PART で説明しています。

あとでパソコン本体にスタビライザという台を取り付けて縦に置きますが、それまでは横向きに置いておきましょう。

型番と製造番号を確認する

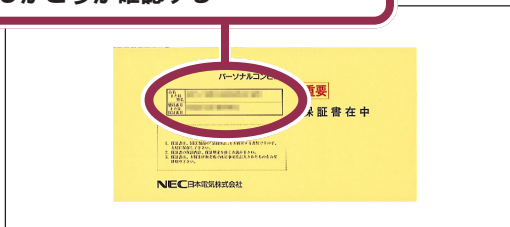
1

本体左側面の型番と
製造番号を確認する



2

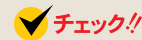
保証書の記載と 1 で確認した番号と
同じかどうか確認する



3

ディスプレイ本体とディスプレイの保証書を
同様に確認する

液晶ディスプレイの製造番号は底面に、CRTディス
プレイの製造番号は背面に記載されています。



本体左側面と保証書の記載が異なっ
ていた場合は、ご購入元に連絡して
ください。

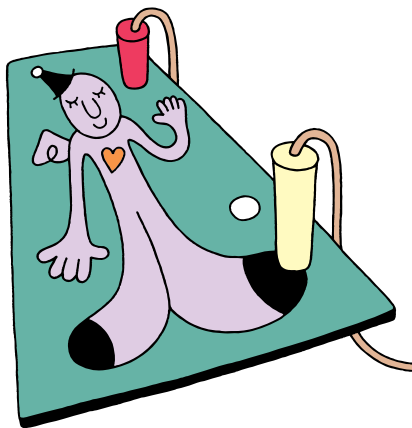
保証書は、ご購入元で所定事項をご
記入のうえ、お受け取りになり、保管
しておいてください。保証期間中に
万一故障した場合は、保証書記載内
容にもとづいて修理いたします。保
証期間後の修理については、ご購入
元または、NEC サービスセンター、
サービスステーションにご相談くだ
さい。修理によって機能が維持でき
る場合は、お客様のご要望により有
償修理いたします。詳しくは、保証書
をご覧ください。

P A R T

2

パソコンを接続する

キーボードやディスプレイなど、必要な機器を接続しないと、パソコンは動いてくれません。テレビやビデオと違って、いろいろなデータを扱うことができるパソコンの場合、ケーブルの接続口も独特の形のものが使われています。このあとの説明をよく読んで慎重に接続していきましょう。



接続するときの注意



機器を接続するときに守っていただく注意事項と、このパソコンを安全にお使いいただくための注意事項です。

⚠ 警告



感電注意

雷が鳴り出したら、電源ケーブル、ACアダプタ、モジュラーケーブル(電話線)、USBケーブル(キーボード、マウスのケーブル)の接続作業を中止してください。

落雷による感電のおそれがあります。

⚠ 注意



感電注意

必ず本体にアース線を接続してください。

アース線を接続しないと、感電の原因になります。



感電注意

アース線を接続するときは、必ず電源ケーブルをコンセントから抜いておいてください。

感電の原因になります。



感電注意

周辺機器を接続するときは、必ず電源ケーブルをコンセントから抜いておいてください。

感電の原因になります。



発火注意

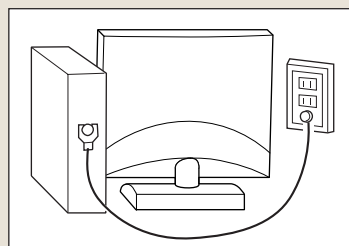
電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてください。

ケーブルを引っ張って抜くと、断線して火災の原因となります。



けが注意

ケーブル類は、つまずいたりひっかけたりしないように整理してください。



✓ チェック!!

TVモデルには、アンテナ線とLINEケーブルを接続します。これらの接続も、「PART3 電源を入れてパソコンを使えるようにする」のあとで行ってください。

📖 参照

アンテナ線、LINEケーブルの接続(TVモデルの場合)→『TVモデルガイド』PART1の「テレビを見る準備をする」

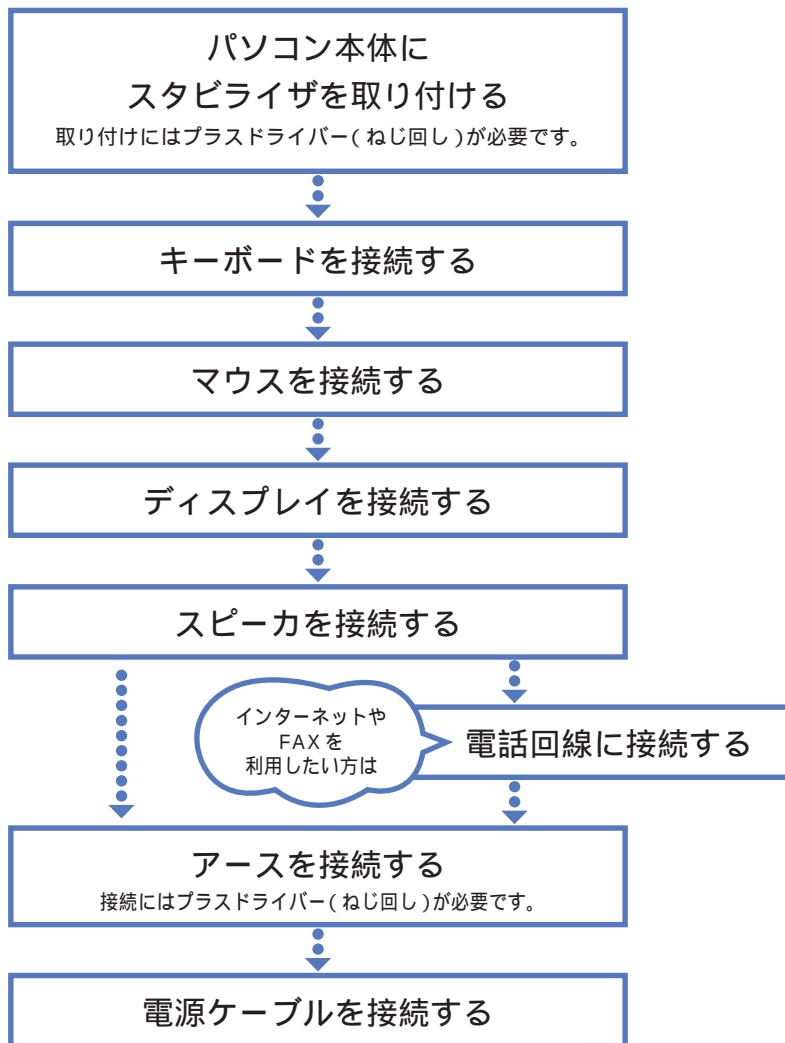
プリンタなど、周辺機器の接続は、あとから

プリンタや別売の周辺機器がある場合、まだ接続しないでください。このマニュアルの「PART3 電源を入れてパソコンをできるようにする」の操作を先に完了させる必要があります。そのあとで『拡張!活用! パリユースター』をご覧ください。接続と設定を行ってください。



パソコンを接続する手順

これから始めるパソコンの接続は、次の手順で行います。接続をはじめる前に、よく確認しておいてください。

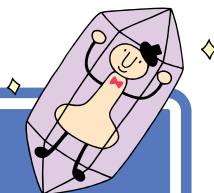


次ページから記載されている手順に従って、接続を行ってください。疲れたら途中で休憩しても構いません。
接続するときは、パソコン本体のコネクタにあるマーク( など)の色と、
ケーブルのプラグの色を合わせて接続してください。
接続がすべて終わったら、p.61 ~ p.65 の接続完成図で、正しく接続されているか確認してみましょう。

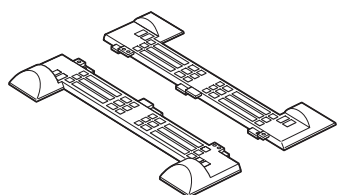
接続の途中で電源スイッチを押さないように注意してください。

パソコン本体に スタビライザを取り付ける

本体を安定させるためにスタビライザ(縦置き用の台)を取り付けましょう。



用意するもの



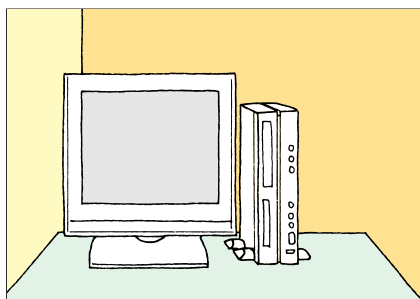
スタビライザ(2個)



スタビライザ
取付け用ネジ(2個)

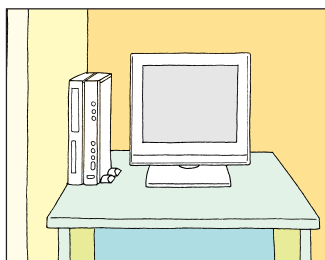
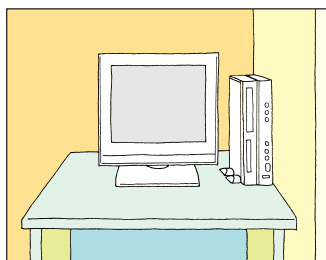
スタビライザの取り付け方には、2通りの方法があります。

●両側に取り付ける(→ p.21)



●片側だけに取り付ける(→ p.23)

下のイラストのように、スタビライザを片方だけ取り付けることで、壁などの安定した場所に接して置くこともできます。



パソコン本体を横置きにする場合

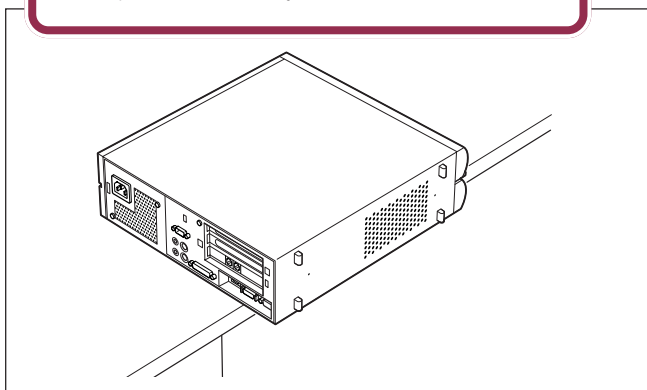
パソコン本体を横置きにする場合は、ゴム足の付いている面(右側面)を下にして置きます。このときは、スタビライザは取り付けません。

パソコン本体を横置きしたときに、本体に載せられるCRTディスプレイなどの最大重量は、約20kgまでです。

スタビライザを両側に取り付ける

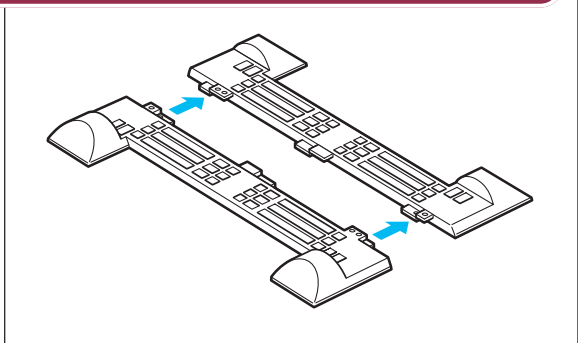
1

パソコン本体を、底面がはみ出るように、机の端などに置く
その際は、スタビライザの高さの分くらい、はみ出るようにしてください。



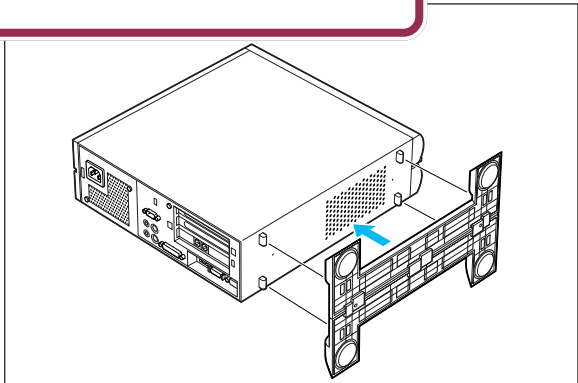
2

2つのスタビライザを組み合わせる
スタビライザを組み合わせても固定はされませんので、落とさないように必ず両方を持つようにしてください。



3

パソコン本体の底面の突起に、組み合わせたスタビライザをはめる

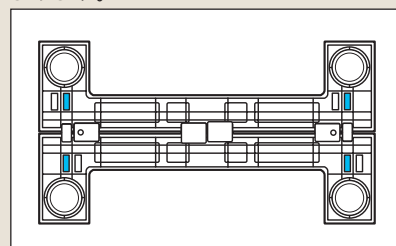


✓ チェック!!

本体を横に倒すときは、机やテーブルなどを傷つけないように、下に厚手の紙や布などを敷いておくことをおすすめします。

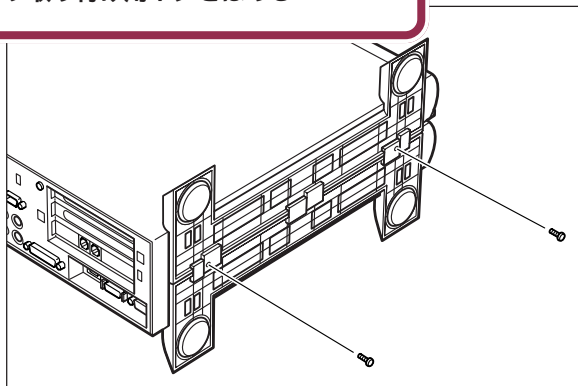
本体にスタビライザをはめたら、落ちないように片手で押さえてください。

図の青い部分に本体底面の突起がはまります。



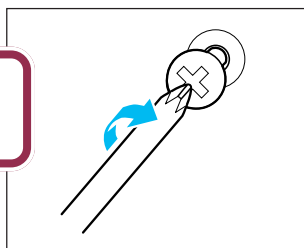
4

スタビライザのネジ穴にスタビライザ
取り付け用ネジをはめる



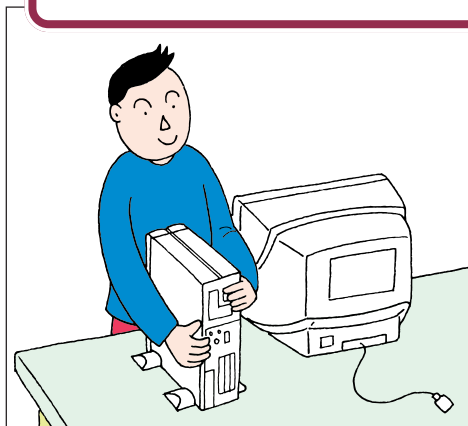
5

ネジを右へ回して取りつける
(2カ所)



6

パソコン本体を持ち、静かに縦に置く



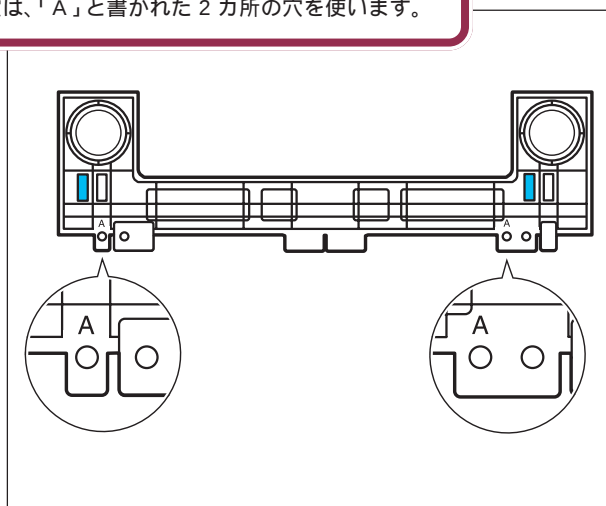
ネジは必ず添付されているものを使ってください。またドライバーはネジに合ったものをお使いください。合わないドライバーを使って無理にネジを回すと、ネジが壊れることがあります。

片側だけスタビライザを取り付ける

1

パソコン本体底面の突起がはまる位置と、ネジ穴の場所を確認する

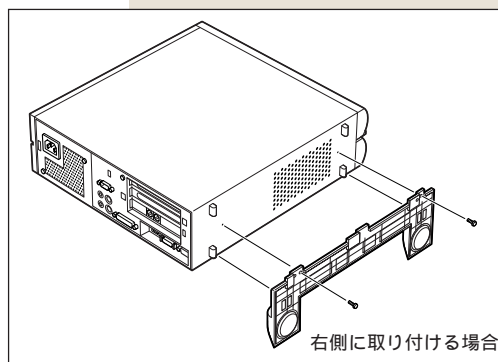
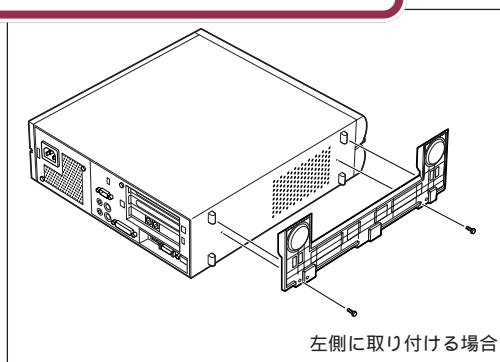
青い部分に本体底面の突起がはまります。ネジ穴は、「A」と書かれた 2 カ所の穴を使います。



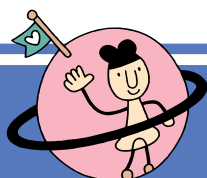
どちらのスタビライザを使用しても同じです。

2

パソコン本体底面の突起にスタビライザを片方だけはめて、2 本のネジで取り付ける



キーボードを 接続する



液晶ディスプレイセットモデルの場合は液晶ディスプレイに、CRTディスプレイセットモデルの場合は本体背面に、キーボードを接続します。

用語

キーボード

パソコンで文字や数字を書くための道具です。キーボードの一面に並んでいる押しボタンのことを「キー」と呼びます。いまはまだ、それぞれのキーの意味や働きについて気にする必要はありません。

モデルによって、キーボードの接続のしかたは異なります。
モデルを確認して、あてはまるページへ進んでください。

**液晶ディスプレイ
(F15R41W,Bを除く)
セットモデルの場合は**

このページから始める

**液晶ディスプレイ
(F15R41W,B)
セットモデルの場合は**

p.28に進む

**CRTディスプレイ
セットモデルの場合は**

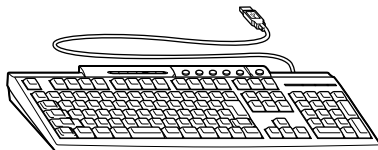
p.31に進む

液晶ディスプレイ(F15R41W,Bを除く)にキーボードを接続する

用意するもの



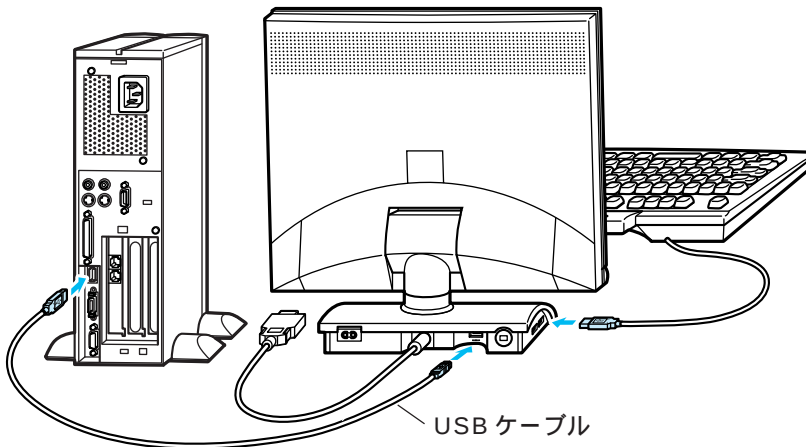
USB ケーブル
(USB ケーブルは液晶ディスプレイの梱包箱に入っています)



キーボード

液晶ディスプレイの型名は、ディスプレイの底面のラベルで確認してください。

キーボードの接続のしかた



USB ケーブルで本体と液晶ディスプレイを接続し、キーボードを液晶ディスプレイに接続します。
詳しくは次の手順をご覧ください。

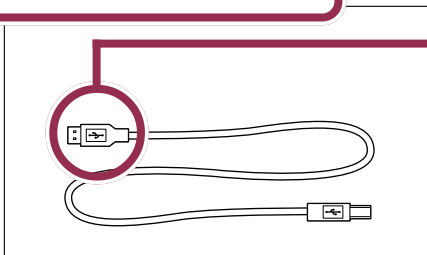
用語

USB

パソコンと周辺機器をつなぐインターフェイスのひとつです。パソコン本体に接続したUSB 対応機器に、さらにUSB 対応機器を接続するといった使い方もできます。

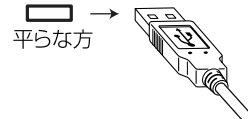
1

USB ケーブルを確認する



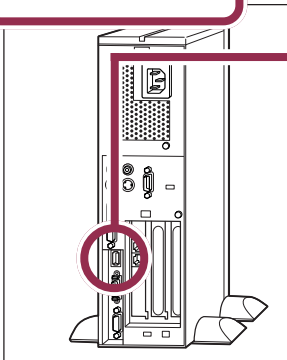
2

差し込み口が平らな方のプラグ(黒色)を持つ



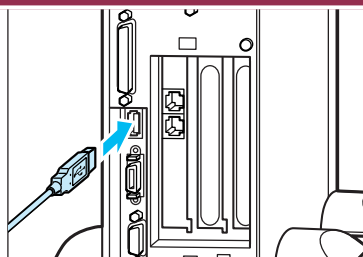
3

本体背面を見る



4

の付いたコネクタにプラグを差し込む



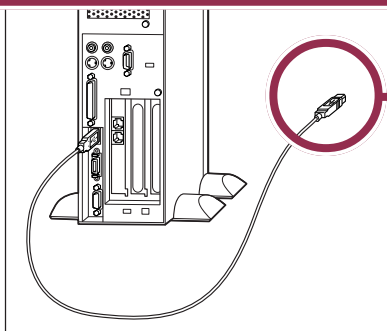
の付いた面を右側にして差し込む

チェック!!

USBケーブルのプラグは、力を入れて無理に差し込まないでください。力を入れなくてもスムーズに差し込めます。うまくいかないときは、もう一度プラグの方向(左右の向き)を確認してください。

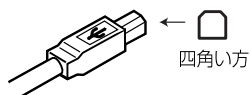
5

USB ケーブルのもう一方のプラグを確認する



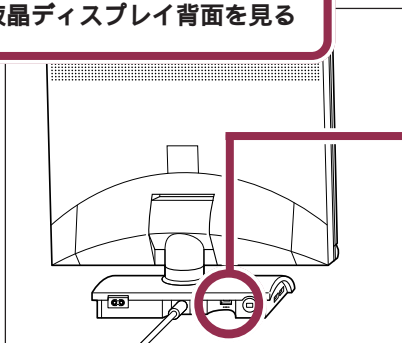
6

差し込み口が四角い方のプラグ(黒色)を持つ



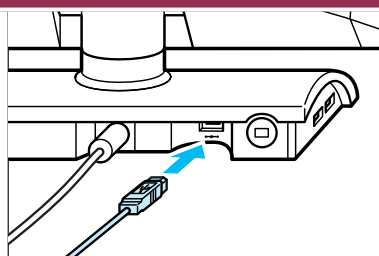
7

液晶ディスプレイ背面を見る



8

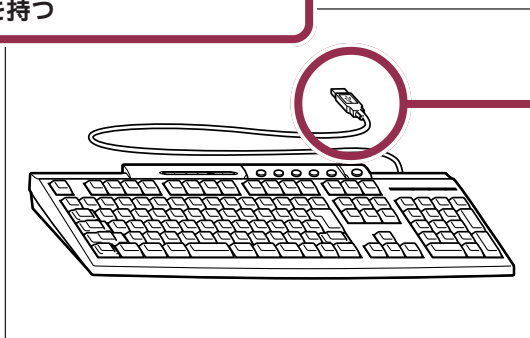
 の付いたコネクタにプラグを差し込む
コネクタは少し奥まった所にあります。



 のついた面を上側にして差し込む

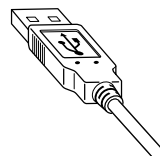
9

キーボードのプラグ(黒色)を持つ



10

 の見えるほうが上になるようにする

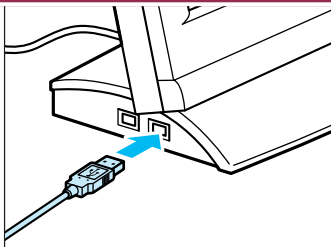


11

液晶ディスプレイの左側面を見る



12

 の付いたコネクタにプラグを差し込む

 の付いた面を上側にして差し込む

**ディスプレイ用電源ケーブルは、
まだ接続しないでください。**



電話回線などを先に接続する必要があります。
ディスプレイ用電源ケーブルを接続する場合は、このマニュアル
の「液晶ディスプレイ (F15R41WB を除く) に電源ケーブル
を接続する」(p.57) をご覧ください。

「キーボードの足を立てる」(p.33) へ進む

液晶ディスプレイの側面には、 の付いたコネクタが 2 つあり、どちらにつないでも構いません。

 **チェック!!**

キーボードのプラグは、力を入れて無理に差し込まないでください。力を入れなくてもスムーズに差し込めます。うまくいかないときは、もう一度プラグの方向(上下の向き)を確認してください。

パソコン本体のコネクタにも接続できる

キーボードを接続するコネクタは、パソコン本体の前面と背面にもあります。こちらのコネクタも、同じように利用できます。前面に接続する場合は を左側に、背面に接続する場合は を右側に向けます。

 参照

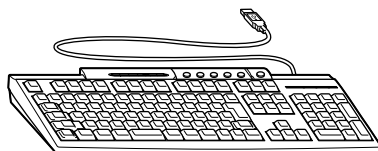
パソコン本体のコネクタの位置 →
『拡張!活用! バリュースター』付録の
「本体の各部の名称」

液晶ディスプレイ(F15R41W,B)にキーボードを接続する

用意するもの

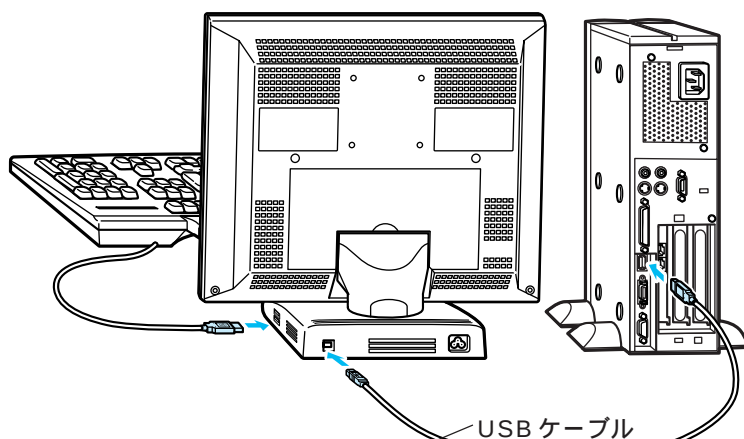


USB ケーブル
(USB ケーブルは液晶ディスプレイの梱包箱に入っています)



キーボード

キーボードの接続のしかた



USB ケーブルで本体と液晶ディスプレイを接続し、キーボードを液晶ディスプレイに接続します。
詳しくは次の手順をご覧ください。

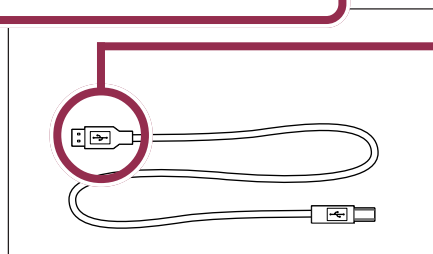
用語

USB

パソコンと周辺機器をつなぐインターフェイスのひとつです。パソコン本体に接続したUSB 対応機器に、さらにUSB 対応機器を接続するといった使い方もできます。

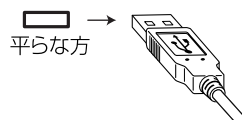
1

USB ケーブルを確認する



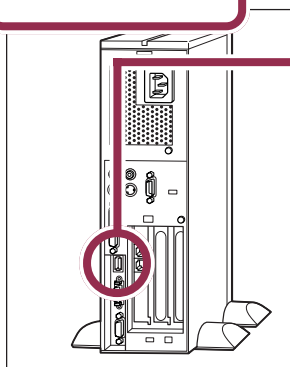
2

差し込み口が平らな方のプラグ(黒色)を持つ



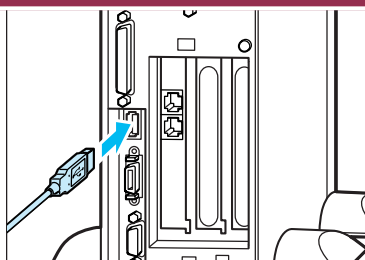
3

本体背面を見る



4

の付いたコネクタにプラグを差し込む



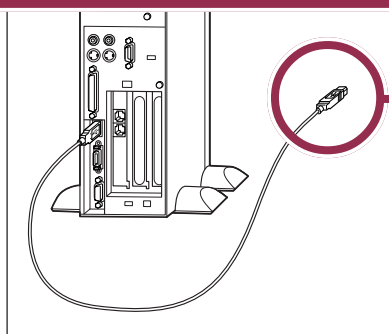
の付いた面を右側にして差し込む

✓ チェック!!

USBケーブルのプラグは、力を入れて無理に差し込まないでください。力を入れなくてもスムーズに差し込めます。うまくいかないときは、もう一度プラグの方向(左右の向き)を確認してください。

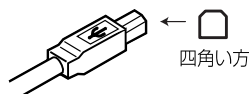
5

USB ケーブルのもう一方のプラグを確認する



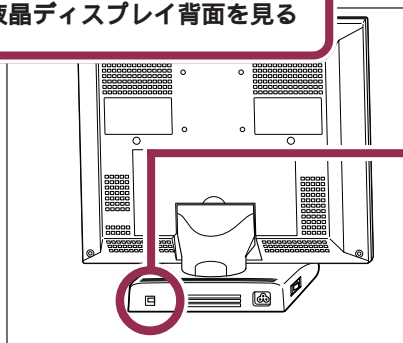
6

差し込み口が四角い方のプラグ(黒色)を持つ



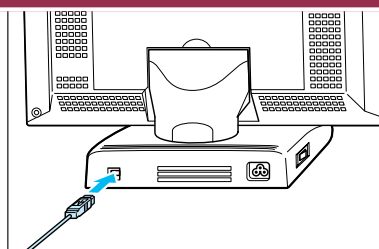
7

液晶ディスプレイ背面を見る



8

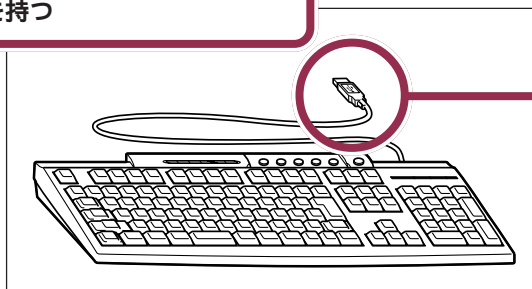
の付いたコネクタにプラグを差し込む



のついた面を上側にして差し込む

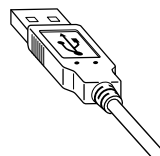
9

キーボードのプラグ(黒色)
を持つ



10

の見えるほうが
上になるようにする



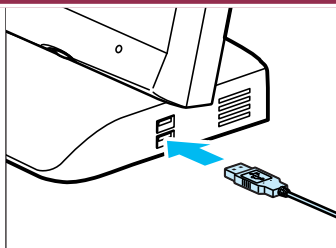
11

液晶ディスプレイの右側面を見る



12

の付いたコネクタにプラグを差し込む



の付いた面を上側にして差し込む

ディスプレイ用電源ケーブルは、
まだ接続しないでください。



電話回線などを先に接続する必要があります。

ディスプレイ用電源ケーブルを接続する場合は、このマニュアル
の「液晶ディスプレイ(F15R41W,B)に電源ケーブルを接続す
る」(p.56)をご覧ください。

液晶ディスプレイの側面には、の付いたコネクタが2つあり、どちら
につないでも構いません。

✓ **チェック!!**

キーボードのプラグは、力を入れて無理に差し込まないでください。力を入れなくてもスムーズに差し込めます。うまくいかないときは、もう一度プラグの方向(上下の向き)を確認してください。

パソコン本体のコネクタにも接続できる

キーボードを接続するコネクタは、パソコン本体の前面と背面にもあります。こちらのコネクタも、同じように利用できます。前面に接続する場合は、を左側に、背面に接続する場合は、を右側に向けます。

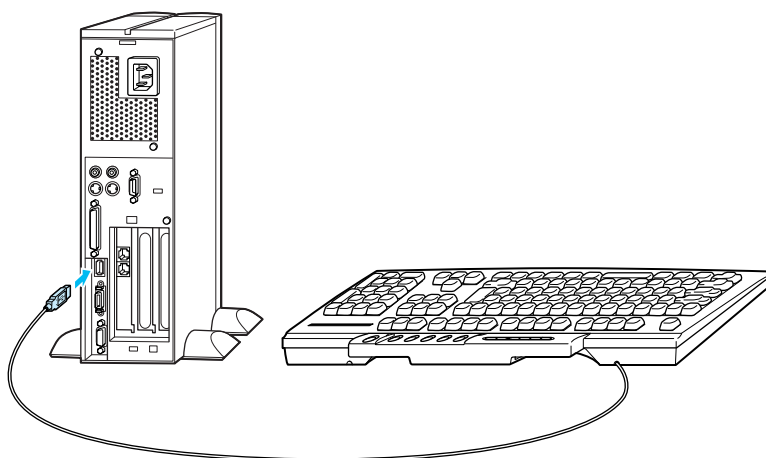
📖 **参照**

パソコン本体のコネクタの位置 →
『拡張!活用! パリユースター』付録の
「本体の各部の名称」

「キーボードの足を立てる」(p.33)へ進む

本体にキーボードを接続する

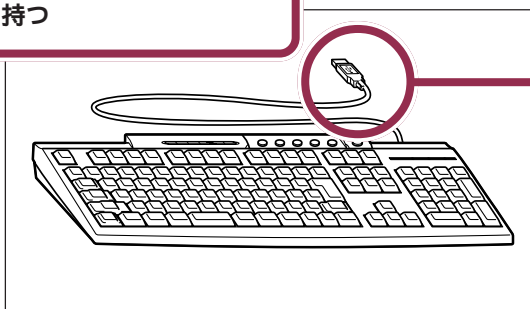
キーボードの接続のしかた



CRT ディスプレイセットモデルの場合は、キーボードのケーブルを本体に接続します。
詳しくは次の手順をご覧ください。

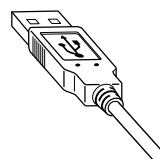
1

キーボードのプラグ(黒色)
を持つ



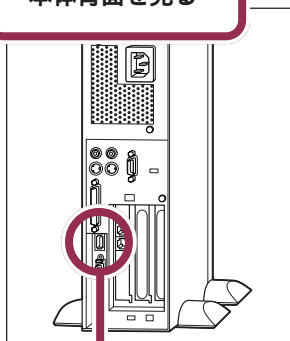
2

の見えるほうが
右になるようにする

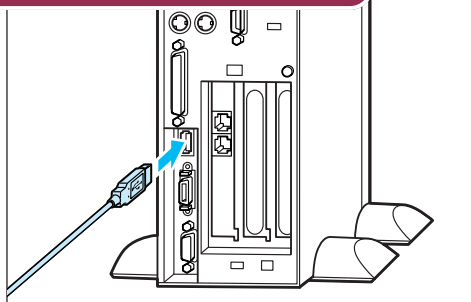


3

本体背面を見る



4

 の付いたコネクタにプラグを差し込む

 の付いた面を右側にして差し込む

✓ チェック!!

キーボードのプラグは、力を入れて無理に差し込まないでください。力を入れなくてもスムーズに差し込めます。うまくいかないときは、もう一度プラグの方向(左右の向き)を確認してください。

前面のコネクタにも接続できる

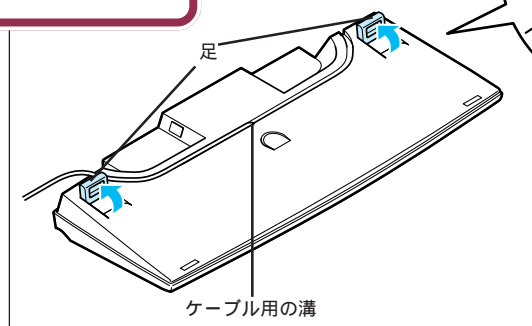
キーボードを接続するコネクタは、パソコン本体の前面(右下)にもあります。こちらのコネクタも、同じように利用できます。前面のコネクタに接続するときは、 の見える方を左に向けます。

キーボードの足を立てる

キーボードの足を立てると、キーボードがしっかり安定するだけでなく、長時間キーを打っても、疲れにくくなります。

1

キーボードを裏返し、
足(2カ所)を立てる



キーボードは足を立てずに使用することもできます。その場合、キーボードのケーブルを「ケーブル用の溝」に押し込むと、安定します。

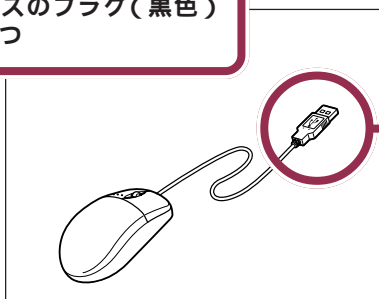
マウスを接続する



キーボードの裏側にマウスを接続します。今度も、プラグの向きに注意してください。

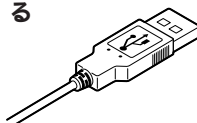
1

マウスのプラグ(黒色)を持つ



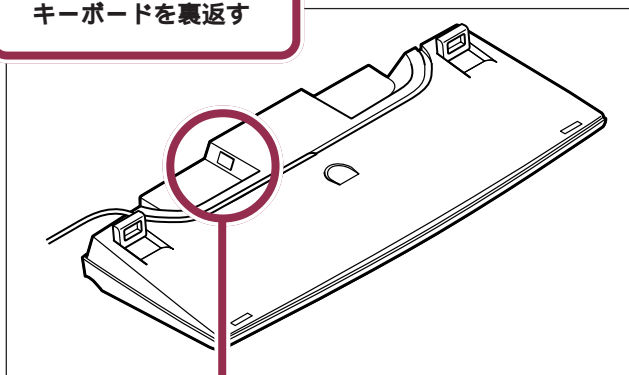
2

マウスのプラグの向きが見えるほうが上になるようにする



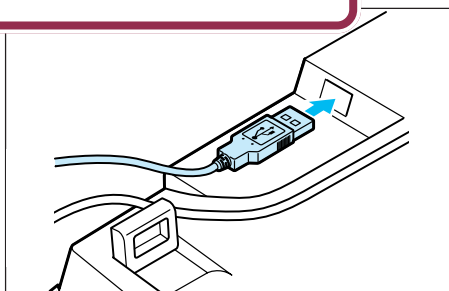
3

キーボードを裏返す



4

キーボード裏側のマウスのプラグの付いたコネクタにプラグを差し込む



用語

マウス

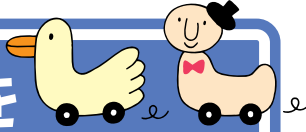
パソコンを操作するための道具です。パソコンの画面に出てくるボタンを押したりするときに使います。机の上で動かして使う小さな道具で、ケーブルがしっぽのように見えるところから、マウス(ねずみ)と呼ばれます。

キーボード底面には、マウスの付いたコネクタが2つあります。マウスの操作がやりやすい方のコネクタを選んで接続してください。

チェック!!

マウスのプラグは、力を入れて無理に差し込まないでください。力を入れてもスムーズに差し込めず、うまくいかないときは、もう一度プラグの方向(上下の向き)を確認してください。

ディスプレイを 接続する



ディスプレイのケーブルを、本体背面に接続します。接続するディスプレイによっては、プラグのネジを回して固定する必要があります。

用語

ディスプレイ

パソコンの画面を表示する道具です。「モニター」と呼ばれることもあります。テレビのような形をしていますが、絵や文字を表示するための信号はパソコンから受け取っているため、ディスプレイだけでは何も見ることはできません。

モデルによって、ディスプレイの接続のしかたは異なります。モデルを確認して、あてはまるページへ進んでください。

液晶ディスプレイ (15 インチ)

(F15R41W,B を除く)
セットモデルの場合は

このページから始める

液晶ディスプレイ
(15 インチ)(F15R41W,B)
セットモデルの場合は

p.37 に進む

液晶ディスプレイ
(14 インチ)
セットモデルの場合は

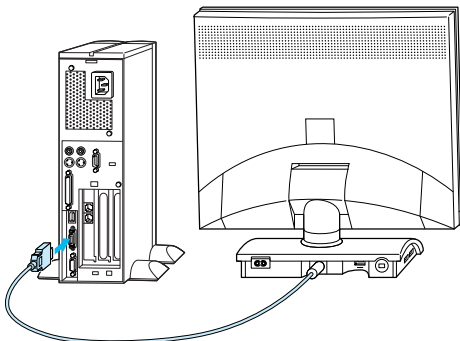
p.42 に進む

CRT ディスプレイ
セットモデルの場合は

p.44 に進む

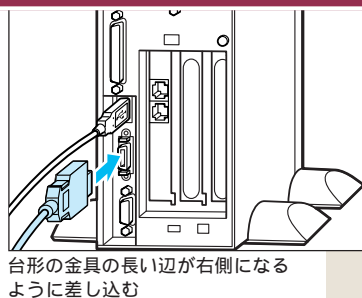
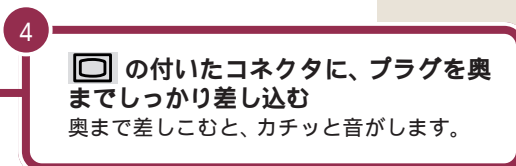
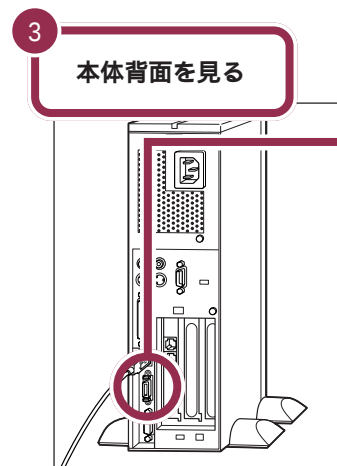
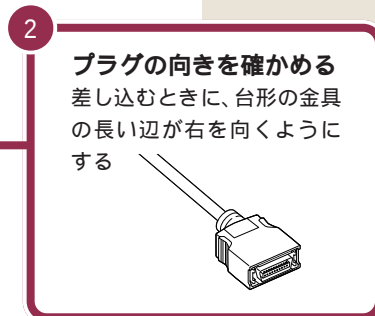
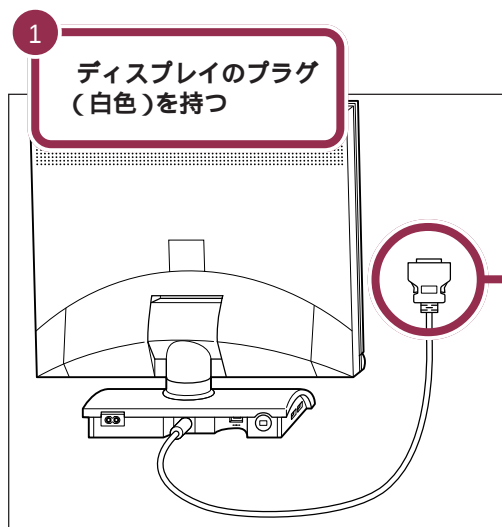
15 インチ液晶ディスプレイ(F15R41W,B を除く)を接続する

ディスプレイの接続のしかた



ディスプレイのケーブルを本体に接続します。プラグを奥までしっかり差し込みます。詳しくは次の手順をご覧ください。

液晶ディスプレイの型名は、ディスプレイの底面のラベルで確認してください。



✓ チェック!!

- ・ プラグがうまく差し込めないときは、もう一度プラグの方向(左右の向き)を確認してください。力まかせに押し込むと、コネクタを壊してしまうおそれがあります。
- ・ プラグを差しこむときは、左右均等に力を加えながら奥までしっかり差し込んでください。

ディスプレイ用電源ケーブルは、
まだ接続しないでください。

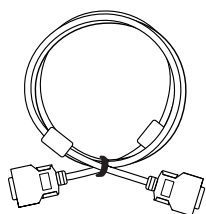


スピーカや電話回線などを先に接続する必要があります。
ディスプレイ用電源ケーブルを接続する場合は、このマニュアルの「液晶ディスプレイ(F15R41W,Bを除く)に電源ケーブルを接続する」(p.57)をご覧ください。

「スピーカを接続する」(p.46)に進む

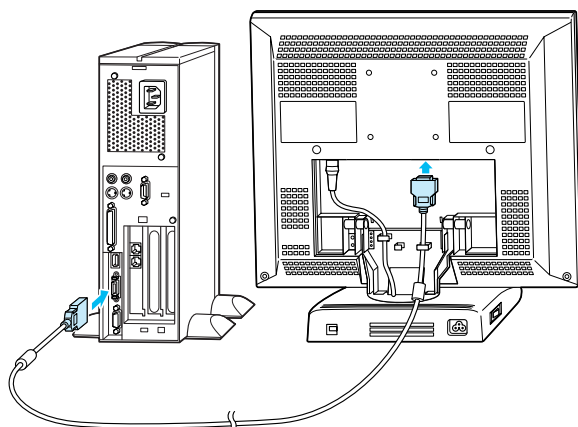
15 インチ液晶ディスプレイ(F15R41W,B)を接続する

用意するもの



ビデオ信号ケーブル

ディスプレイの接続のしかた



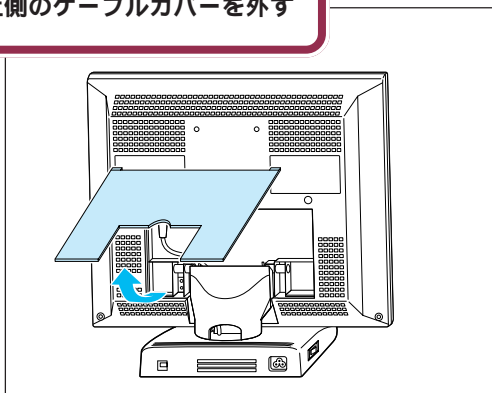
液晶ディスプレイ背面のカバーを外して、ビデオ信号ケーブルを取り付けます。
次にパソコン本体にディスプレイを取り付けます。
詳しくは次の手順をご覧ください。

● 液晶ディスプレイにビデオ信号ケーブルを取り付ける

液晶ディスプレイ背面のケーブルカバーを外して、ビデオ信号ケーブルを取り付けます。

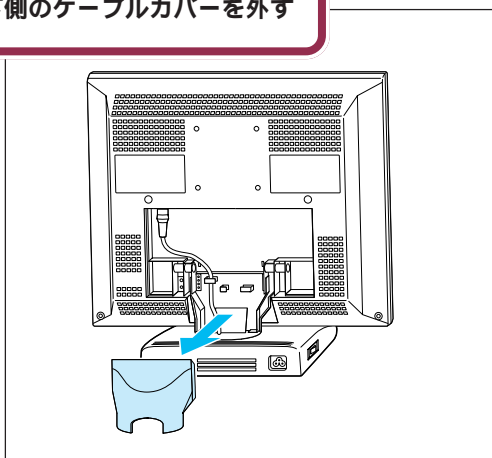
1

上側のケーブルカバーを外す



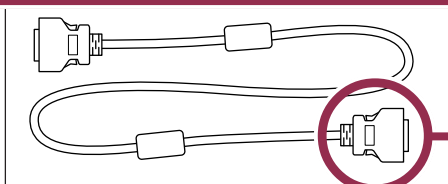
2

下側のケーブルカバーを外す



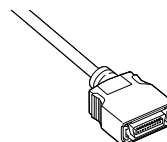
3

ビデオ信号ケーブルのプラグ(白色)を持つ



4

プラグの向きを確かめる
台形の金具の長い辺が上を
向くようにする



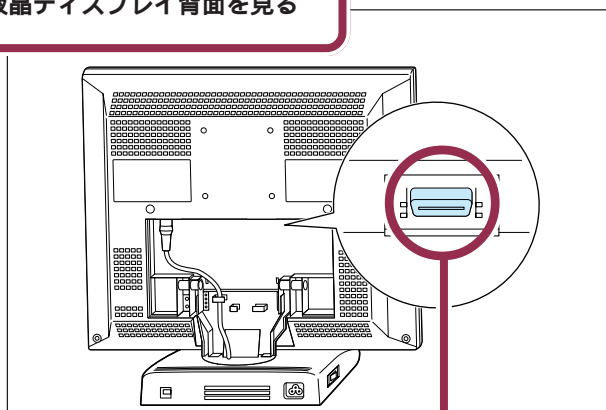
✓ **チェック!!**

外したケーブルカバーは、なくさないように注意してください。

ここでは、ビデオ信号ケーブルのどちらの端のプラグを接続しても構いません。

5

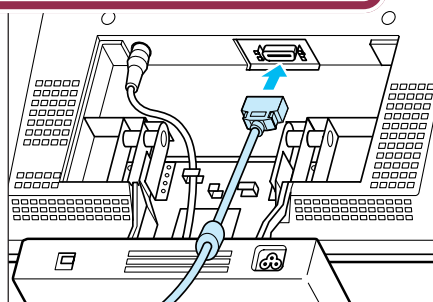
液晶ディスプレイ背面を見る



6

の付いたコネクタにプラグを奥までしっかり差し込む

奥まで差しこむと、カチッと音がします。



台形の金具の長い辺が上になるようにして差し込む

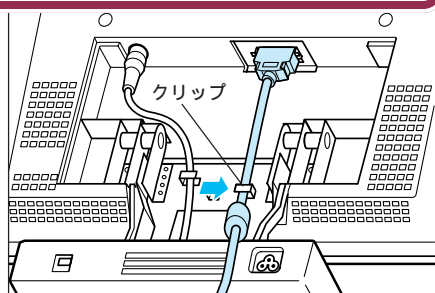
ビデオ信号ケーブルを接続するコネクタは、下向きに付いています。ディスプレイを傾けて、コネクタの位置と向きを確認してください。

✓ チェック!!

- ・ プラグがうまく差し込めないときは、もう一度プラグの方向(前後の向き)を確認してください。力まかせに差し込むと、コネクタを壊してしまうおそれがあります。
- ・ プラグを差し込むときは、左右均等に力を加えながら奥までしっかり差し込んでください。

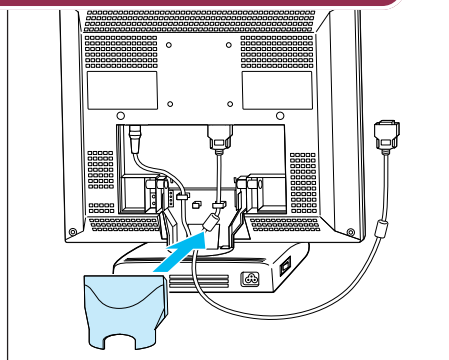
7

ビデオ信号ケーブルを液晶ディスプレイのクリップに引っかけて固定する



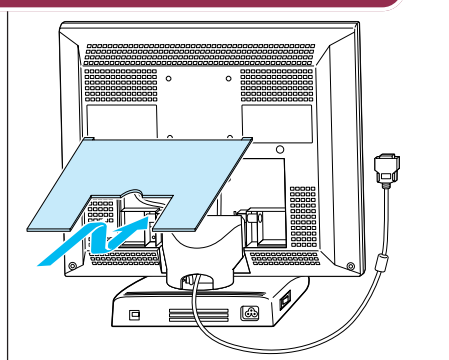
8

下側のケーブルカバーを取り付ける



9

上側のケーブルカバーを取り付ける

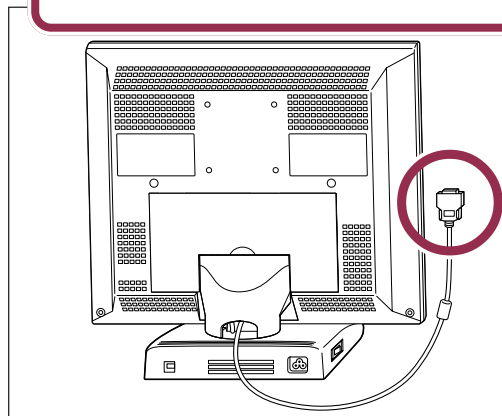


カバー上部のツメをディスプレイ側の穴に引っかけながら、カバーを取り付けます。

● パソコン本体と液晶ディスプレイを接続する

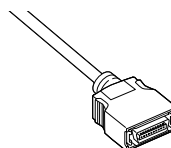
1

ビデオ信号ケーブルのプラグ(白色)を持つ



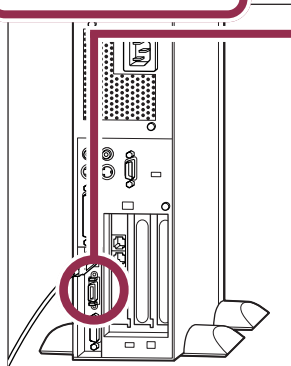
2

プラグの向きを確かめる
台形の金具の長い辺が右を
向くようにする



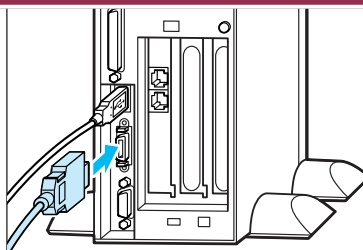
3

本体背面を見る



4

の付いたコネクタに、プラグを奥
までしっかり差し込む
奥まで差しこむと、カチッと音がします。



台形の金具の長い辺が右側になる
ように差し込む

✓ チェック!!

- ・ プラグがうまく差し込めないときは、もう一度プラグの方向(左右の向き)を確認してください。力まかせに差し込むと、コネクタを壊してしまうおそれがあります。
- ・ プラグを差しこむときは、左右均等に力を加えながら奥までしっかり差し込んでください。

ディスプレイ用電源ケーブルは、
まだ接続しないでください。

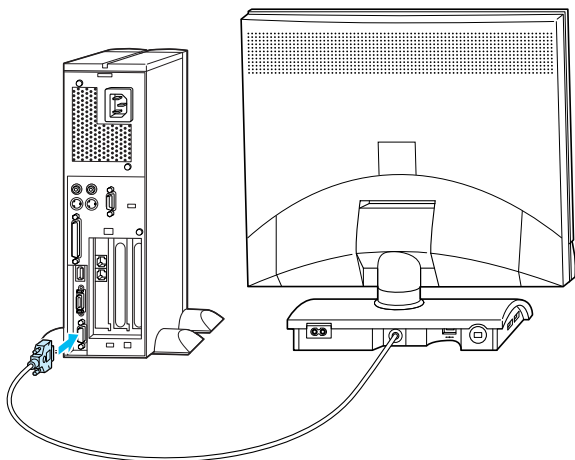


スピーカや電話回線などを先に接続する必要があります。
ディスプレイ用電源ケーブルを接続する場合は、このマニュアルの「液晶ディスプレイ(F15R41W,B)に電源ケーブルを接続する」(p.56)をご覧ください。

「スピーカを接続する」(p.46)に進む

14 インチ液晶ディスプレイを接続する

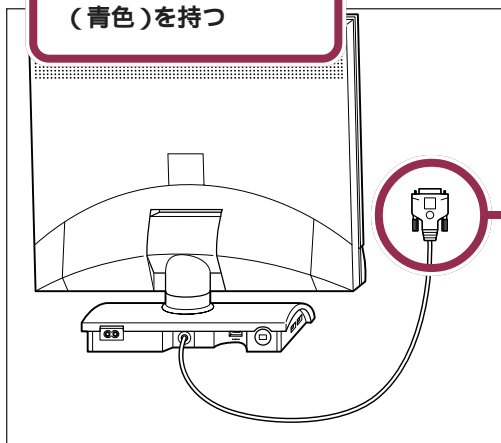
ディスプレイの接続のしかた



ディスプレイのケーブルを本体に接続します。プラグのネジを右に回してしっかり固定します。
詳しくは次の手順をご覧ください。

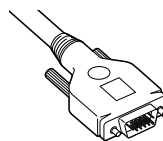
1

ディスプレイのプラグ
(青色)を持つ



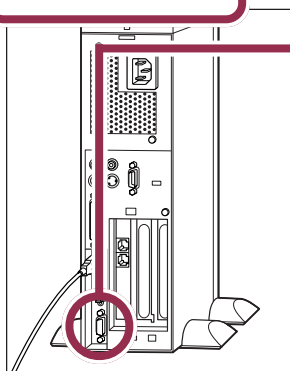
2

プラグの向きを確かめる
差し込むときに、台形の金具
の長い辺が右を向くように
する



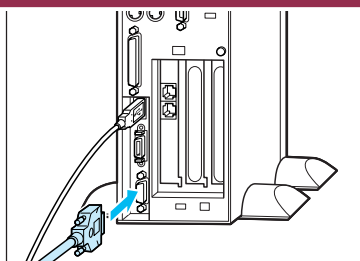
3

本体背面を見る



4

 の付いたコネクタに、プラグを奥までしっかり差し込む



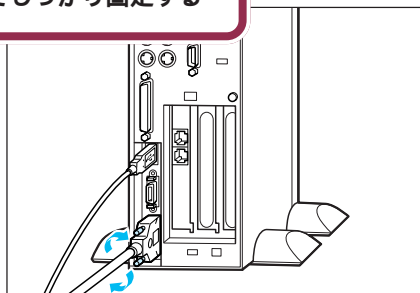
台形の金具の長い辺が右側になるように差し込む

✓ **チェック!!**

プラグがうまく差し込めないときは、もう一度プラグの方向(左右の向き)を確認してください。力まかせに押し込むと、コネクタを壊してしまうおそれがあります。

5

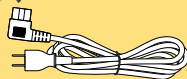
ネジのつまみを指で右へ回し、止まるまでしっかり固定する



✓ **チェック!!**

- ・ディスプレイのプラグは、奥までしっかり差し込んでください。差し込み方が浅い場合、うまくネジ止めできないことがあります。
- ・プラグのネジは、左右均等に力を加えながら締めてください。片方だけ締めると、接続不良になることがあります。

ディスプレイ用電源ケーブルは、まだ接続しないでください。

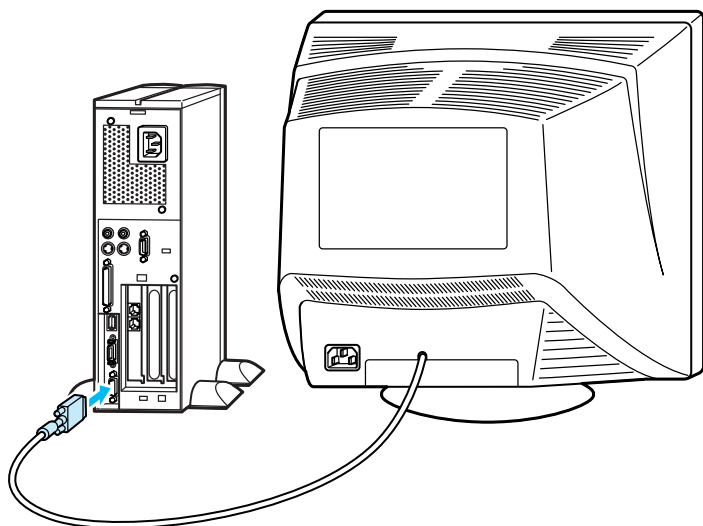


スピーカーや電話回線などを先に接続する必要があります。ディスプレイ用電源ケーブルを接続する場合は、このマニュアルの「液晶ディスプレイ(F15R41W,Bを除く)に電源ケーブルを接続する」(p.57)をご覧ください。

「スピーカーを接続する」(p.46)に進む

CRT ディスプレイを接続する

ディスプレイの接続のしかた

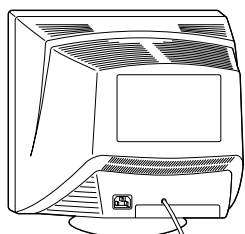


ディスプレイのケーブルを本体に接続します。プラグのネジを右に回してしっかり固定します。

詳しくは次の手順をご覧ください。

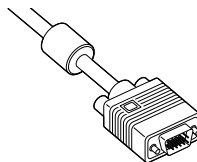
1

ディスプレイのプラグを持つ



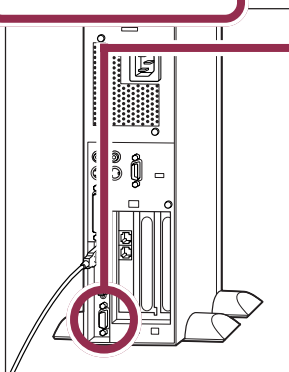
2

プラグの向きを確かめる
台形の金具の長い辺が右を
向くようにする



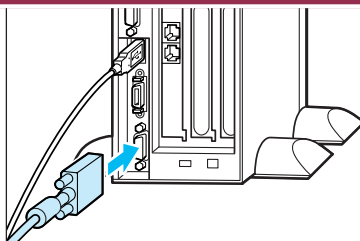
3

本体背面を見る



4

の付いたコネクタに、プラグを奥までしっかり差し込む



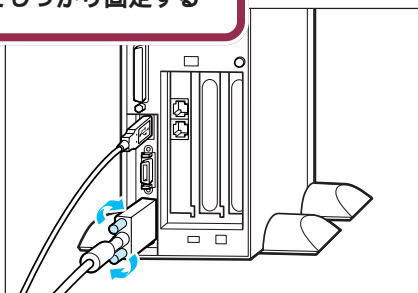
台形の金具の長い辺が右側になるように差し込む

✓ チェック!!

プラグがうまく差し込めないときは、もう一度プラグの方向(左右の向き)を確認してください。力まかせに押し込むと、コネクタを壊してしまうおそれがあります。

5

ネジのつまみを指で右へ回し、止まるまでしっかり固定する



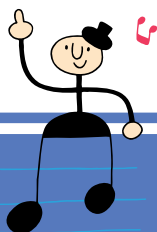
✓ チェック!!

- ・ディスプレイのプラグは、奥までしっかり差し込んでください。差し込み方が浅い場合、うまくネジ止めできないことがあります。
- ・プラグのネジは、両方均等に力を加えながら締めてください。片方だけ締めると、接続不良になることがあります。

ディスプレイ用電源ケーブルは、まだ接続しないでください。



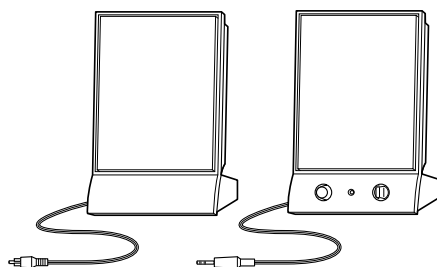
スピーカーや電話回線などを先に接続する必要があります。ディスプレイ用電源ケーブルを接続する場合は、このマニュアルの「CRT ディスプレイに電源ケーブルを接続する」(p.58) をご覧ください。



スピーカを接続する

パソコンから音を出すために、スピーカを接続します。

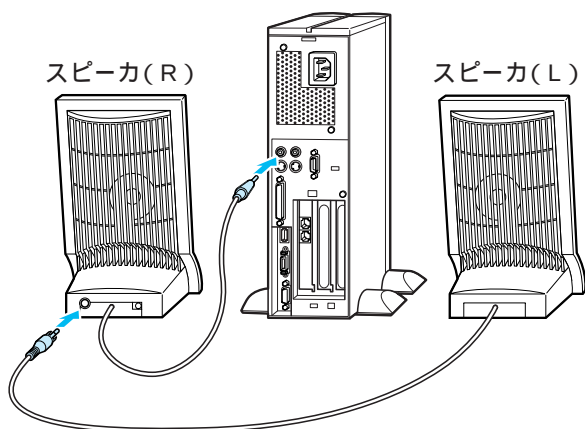
用意するもの



スピーカ(L) スピーカ(R)

電源スイッチやボリュームのついている方が、スピーカ(R)です。
もう一方が、スピーカ(L)です。

スピーカの接続のしかた



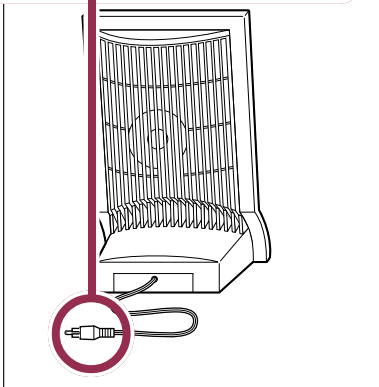
スピーカ(L)のケーブルをスピーカ(R)に接続し、スピーカ(R)のケーブルを本体に接続します。

詳しくは次の手順をご覧ください。

左右のスピーカを接続する

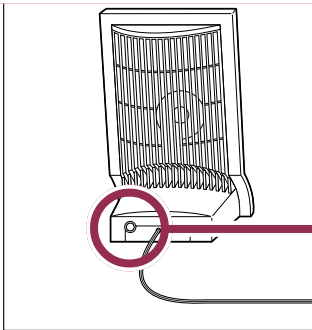
1

スピーカ(L)のプラグを持つ



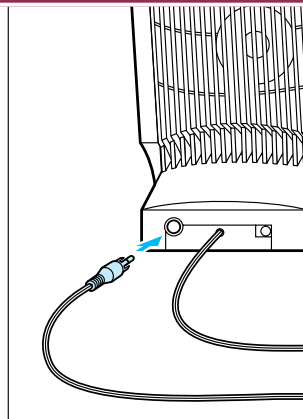
2

スピーカ(R)の背面を見る



3

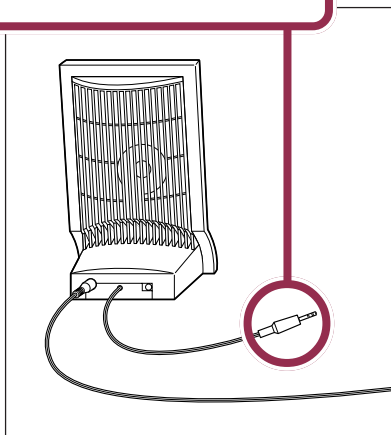
🔊 の付いたコネクタに、スピーカ(L)のプラグを差し込む



スピーカをパソコン本体に接続する

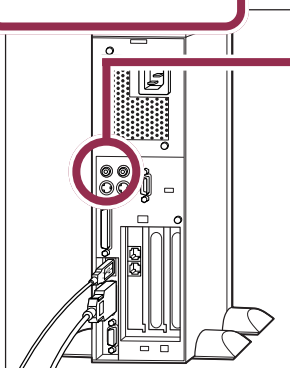
1

スピーカ(R)のプラグを持つ



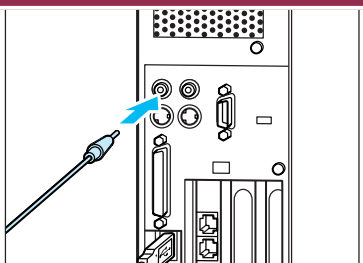
2

本体背面を見る



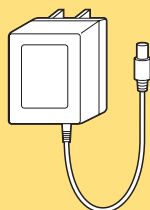
3

スピーカ(R)のプラグを  の付いたコネクタ (2つのコネクタのうち左側) に差し込む

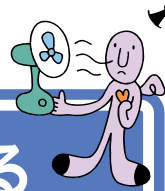


**スピーカの AC アダプタは、
まだ接続しないでください。**

電話回線などを先に接続する必要があります。
スピーカの AC アダプタを接続する場合はこの
マニュアルの「スピーカの AC アダプタを接続
する」(p.59)をご覧ください。



電話回線に接続する



インターネットを利用する場合や、このパソコンでFAXを送ったりする場合には、電話回線に接続する必要があります。最初に、いまお使いの電話機を取り外してからパソコンにつなぎ換えます。次に、パソコンを直接電話回線に接続します。この操作を行っても、電話機はいままで通り使えます。

⚠ 注意



感電注意

モジュラーケーブル(電話線)の取り外しや接続を行うときは、プラグの端子部分に触れないでください。感電の原因となります。

用意するもの



モジュラーケーブル

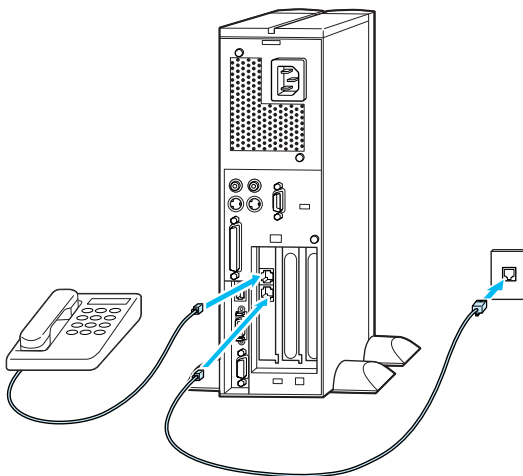
✓ チェック!!

- ・ パソコンを電話回線に接続するには、電話回線の接続口がモジュラーコンセントになっている必要があります。
- ・ 添付のモジュラーケーブルでは長さが足りない場合は、電器店などで必要な長さのモジュラーケーブルをお買い求めください。

📖 参照

モジュラーコンセント、モジュラーケーブル→ PART 1 の「インターネットするなら、パソコンは電話の近くに」(p.4)

電話回線の接続のしかた

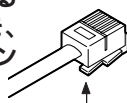


電話機のケーブルをモジュラーコンセントから外して本体に接続します。次に、添付のモジュラーケーブルを使って、本体とモジュラーコンセントを接続します。詳しくは次の手順をご覧ください。

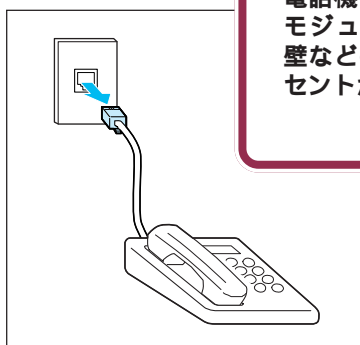
電話機をパソコンにつなぐ

1

電話機につながっている
モジュラーケーブルを、
壁などのモジュラーコン
セントから外す



このツメを押さえて取り外す



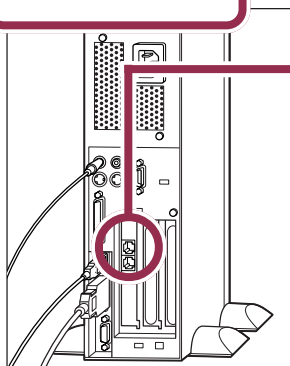
モジュラーケーブル(電話線)のプラグには、上下のどちらかにツメが付いています。このツメを指でつまんで押さえるようにすると、簡単に抜くことができます。

✓ チェック!!

電話機のモジュラーケーブルを取り外すと、パソコンを電話回線に接続するまでの間、電話機は使用できなくなります。

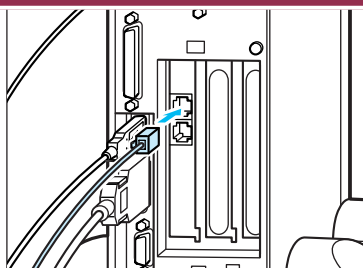
2

本体背面を見る

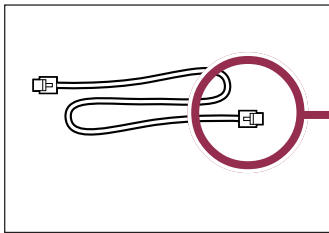


3

電話機のモジュラーケーブルのプラグを、向きに気をつけて、☎の付いたコネクタに差し込む



パソコンを電話回線につなぐ

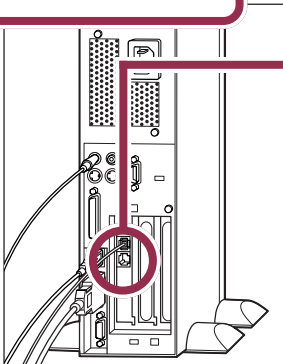


1

添付のモジュラーケーブルのプラグを持つ
どちらのプラグでも構いません。

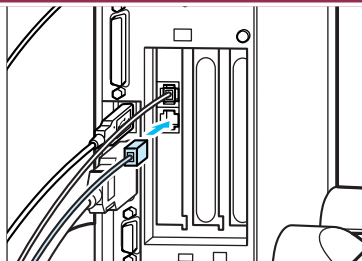
2

本体背面を見る



3

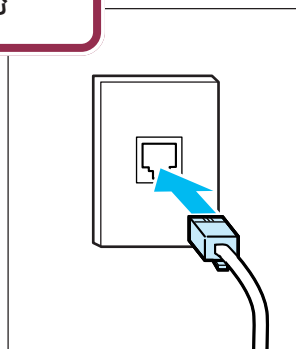
プラグの向きに気をつけて、の付いたコネクタに
差し込む



パソコンを電話回線に接続すると、電話機はこれまで通り使うことができます。パソコンの電源が入っていてもいなくても関係ありません。

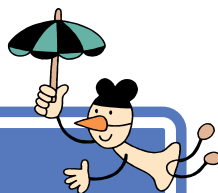
4

もう一方のプラグを壁
などのモジュラーコン
セントに差し込む



✓ チェック!!

パソコンと電話回線をつなぐモジュラーケーブルや、電話機とパソコンをつなぐモジュラーケーブルは、人の通る場所を避けて配線してください。うまく配線できないときは、お近くの電話工事店やパソコンのご購入元などにご相談ください。



アースを接続する

パソコン本体の背面にあるアース端子のネジをゆるめて、アース線の端子を取り付けます。それからコンセントのアース端子に接続します。

用語

アース線

感電を防止するための電線です。パソコンのアース端子と、コンセントのアース端子をつなぐことで、万一漏電した場合の感電を防止する役目を果たします。安全のために必ず接続してください。

注意



発火注意

アース線は、絶対にガス管につながらないでください。火災の原因になります。



感電注意

アース線の接続や取り外しを行うときは、必ず本体および周辺機器の電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

感電の原因になります。



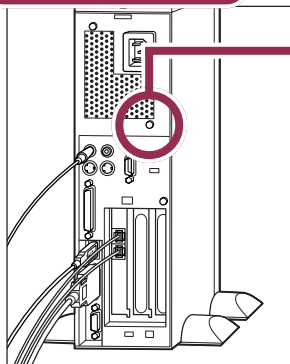
用意するもの



アース線（緑色の電線です。）

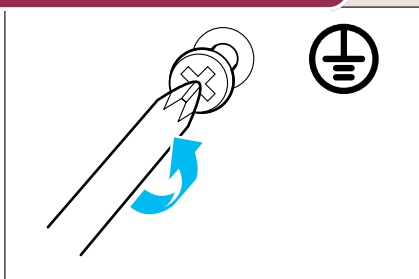
1

本体背面を見る



2

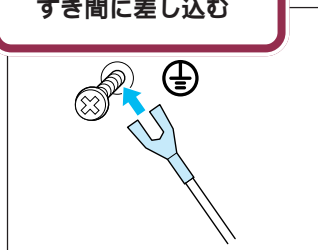
⏏の付いたネジをゆるめる



ドライバーはネジに合ったものをお使いください。合わないドライバーを使って無理にネジを回すと、ネジが壊れることがあります。

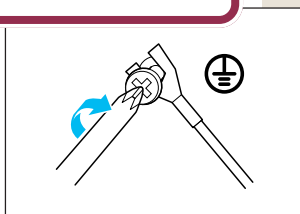
3

アース線の端子を
すき間に差し込む



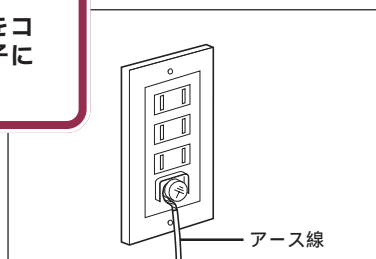
4

ネジをしめる



5

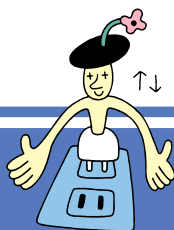
アース線のもう一方をコ
ンセントのアース端子に
接続する



✓ **チェック!!**

- ・アース線は水道管につながらないでください。アースできない場合があります。
- ・アース線は、電話専用のアース端子に接続しないでください。電話に雑音が入る場合があります。
- ・アース端子付きのコンセントが利用できない場合には、お近くの電器店など電気工事士の資格を持つ人にアース端子付きコンセントの取り付けをご相談ください。

電源ケーブルを 接続する



添付品の接続が終わったら、電源ケーブルを接続しましょう。最初にディスプレイの電源ケーブルを、つづいてスピーカのACアダプタを接続します。最後にパソコン本体の電源ケーブルを接続します。

⚠ 注意



感電注意

濡れた手で電源ケーブルのプラグを抜き差ししないでください。

感電の原因になります。



発火注意

タコ足配線にしないでください。

タコ足配線にすると、コンセントが過熱し、火災の原因になります。



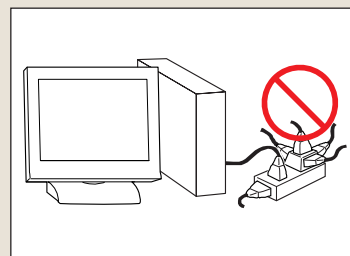
感電注意

電源ケーブルの上には、絶対に重いものをのせないでください。



発火注意

ケーブルに傷がついて、感電や火災の原因になります。



用意するもの

ディスプレイ用電源ケーブルは、ディスプレイの箱に入っていたものをお使いください。



液晶ディスプレイ用電源ケーブル



プラグの形状



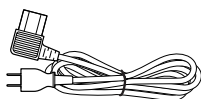
液晶ディスプレイ用電源ケーブル
(F15R41W,B の場合)



プラグの形状



CRTディスプレイ用電源ケーブル



CRT ディスプレイ用電源ケーブル
(DV17C4 の場合)



プラグの形状

パソコン本体用電源ケーブルは、パソコンに添付のものをお使いください。

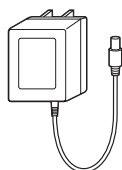


パソコン本体用電源ケーブル



プラグの形状

スピーカー用ACアダプタは、スピーカセットの梱包箱に入っていたものをお使いください。

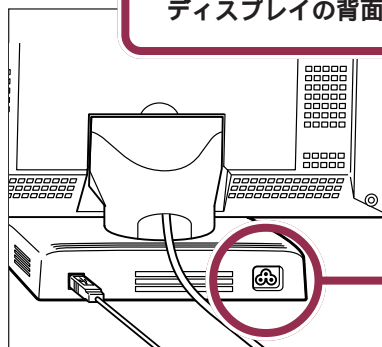


スピーカー用ACアダプタ

液晶ディスプレイ(F15R41W,B)に電源ケーブルを接続する

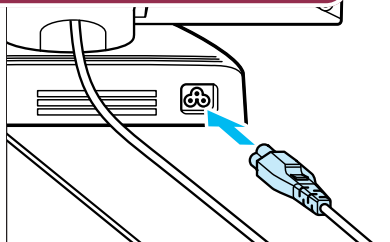
1

ディスプレイの背面を見る



2

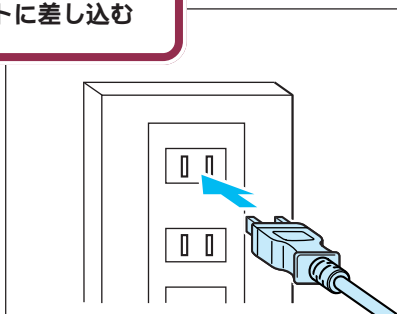
ディスプレイ用電源ケーブルの片方の端を、奥までしっかり差し込む



ディスプレイ用電源ケーブルは、ディスプレイと一緒に箱に入っていたものをお使いください。

3

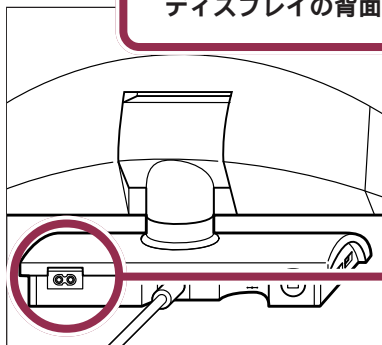
電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む



液晶ディスプレイ(F15R41W,Bを除く)に電源ケーブルを接続する

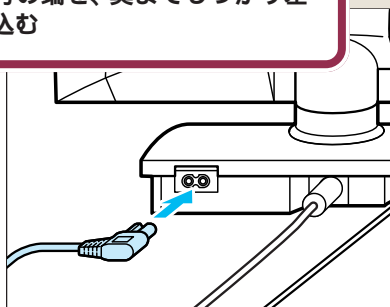
1

ディスプレイの背面を見る



2

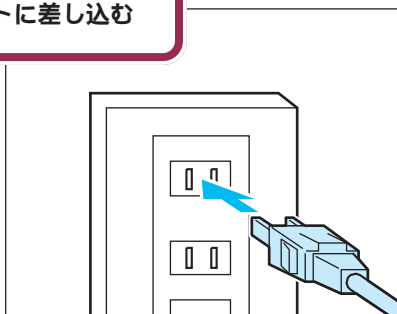
ディスプレイ用電源ケーブルの片方の端を、奥までしっかり差し込む



ディスプレイ用電源ケーブルは、ディスプレイと一緒に箱に入っていたものをお使いください。

3

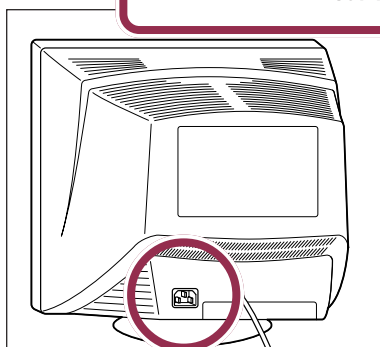
電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む



CRT ディスプレイに電源ケーブルを接続する

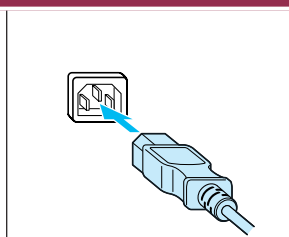
1

ディスプレイの背面を見る

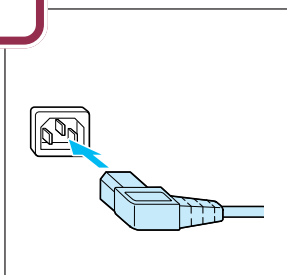


2

ディスプレイ用電源ケーブルの片方の端を、奥までしっかり差し込む



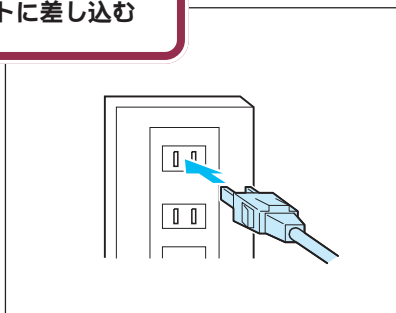
CRT ディスプレイ (DV17C4 を除く) セットモデルの場合



CRT ディスプレイ (DV17C4) セットモデルの場合

3

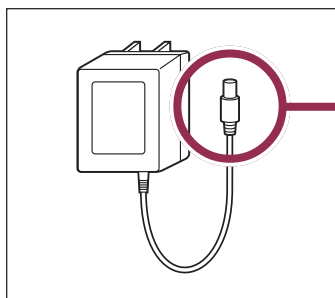
電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む



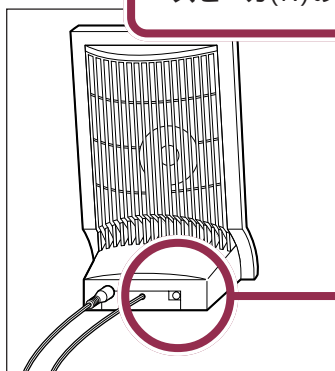
ディスプレイ用電源ケーブルは、ディスプレイと一緒に箱に入っているものをお使いください。

スピーカの AC アダプタを接続する

スピーカに、AC アダプタを接続します。

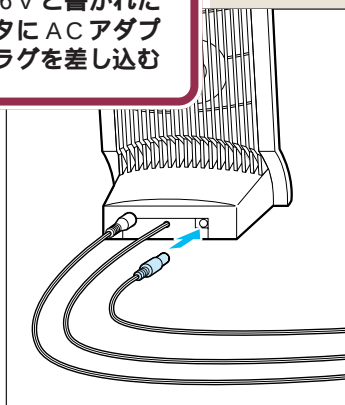


1 AC アダプタの
プラグを持つ

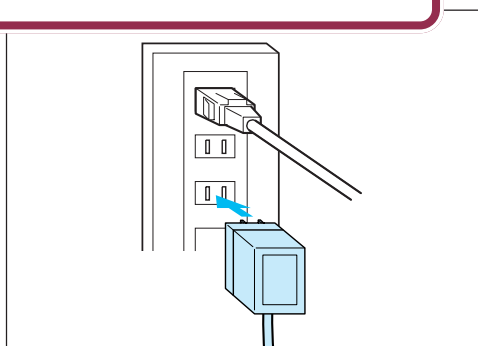


2 スピーカ(R)の背面を見る

3 DC IN 6V と書かれた
コネクタに AC アダプ
タのプラグを差し込む



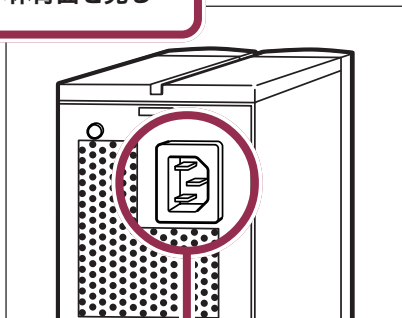
4 AC アダプタを壁などのコンセントに
差し込む



パソコン本体の電源ケーブルを接続する

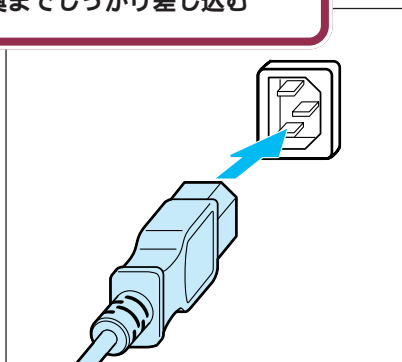
1

本体背面を見る



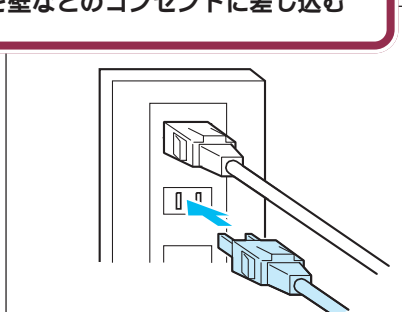
2

電源ケーブルの片方の端を、奥までしっかり差し込む



3

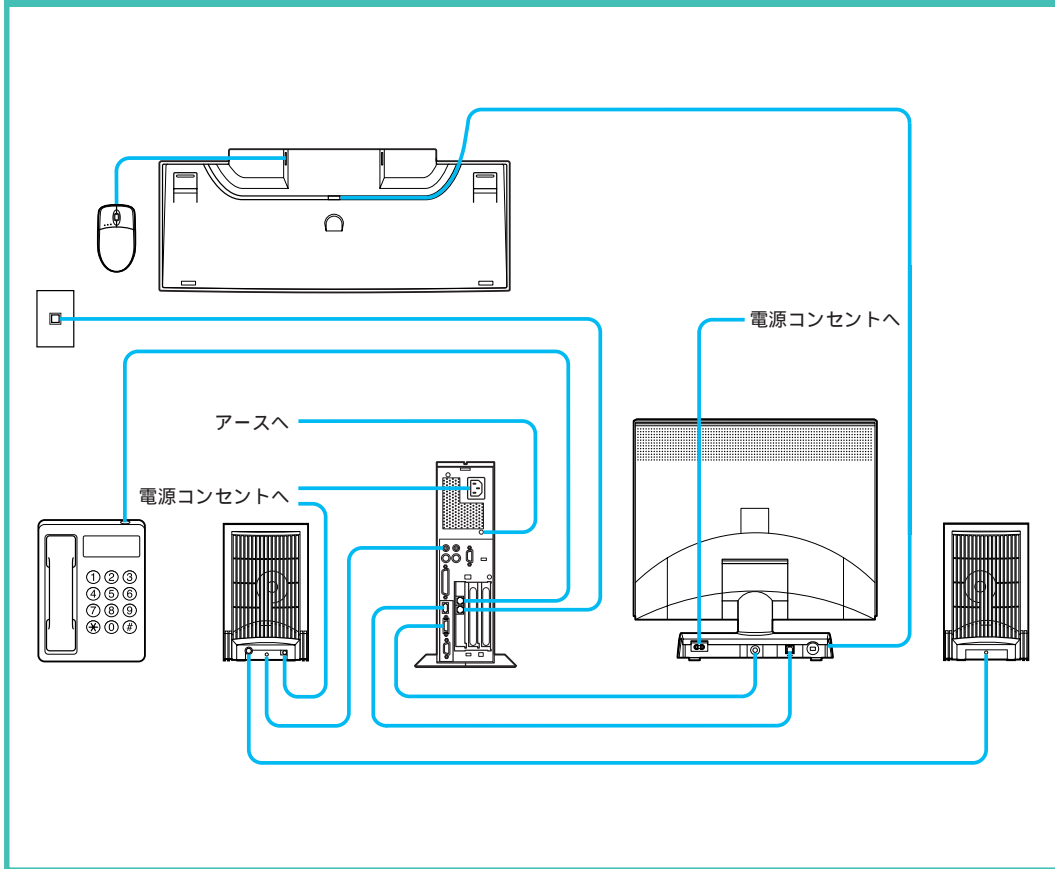
電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む



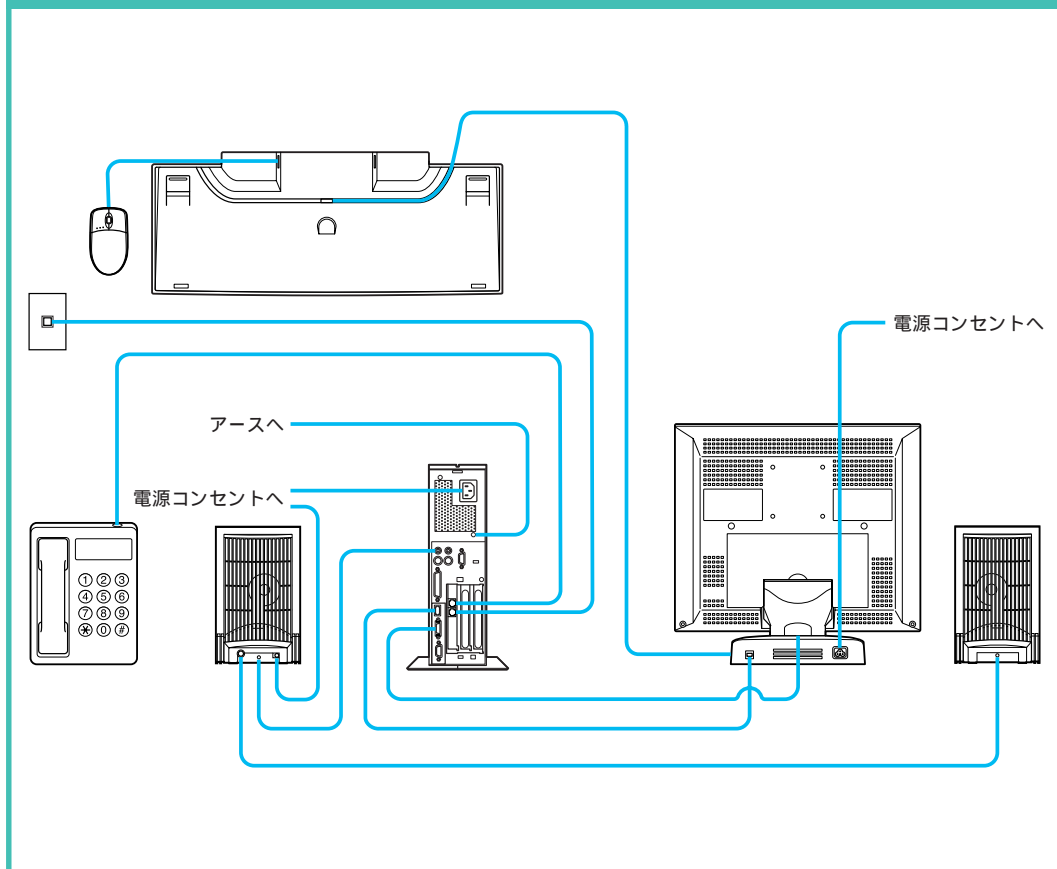
電源ケーブルは、パソコン本体の添付品収納箱に入っていたものをお使いください。

これで接続は完了です。

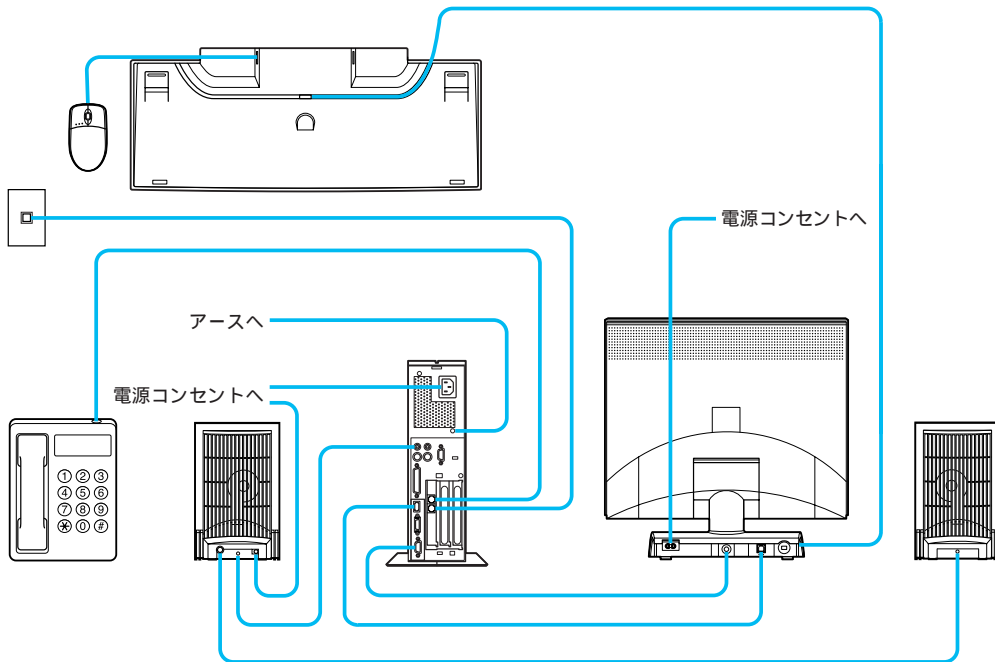
接続完成図(背面)—液晶ディスプレイ(15インチ:F15R41W,Bを除く)セットモデルの場合



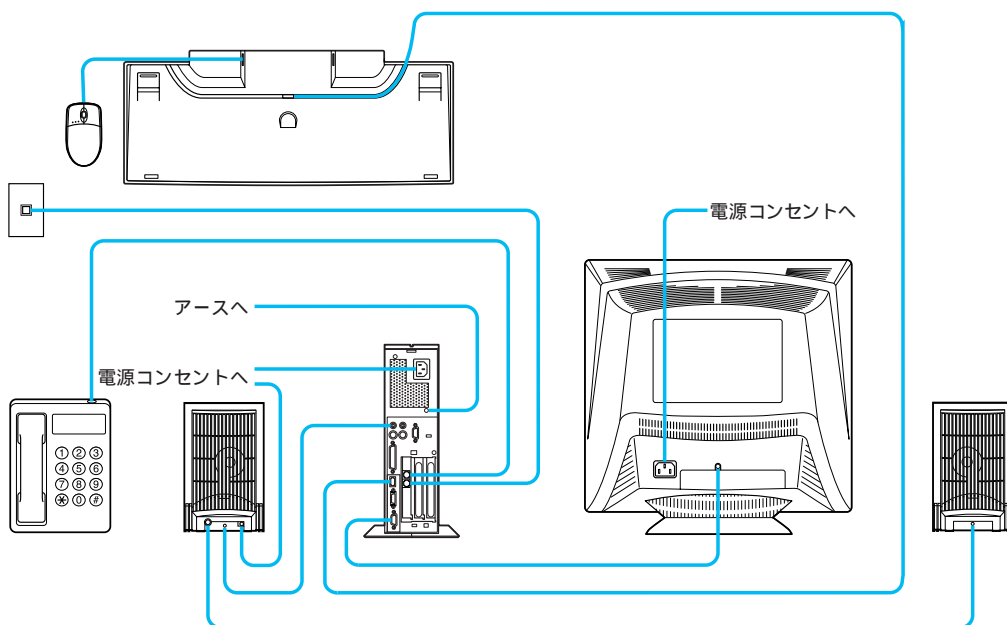
接続完成図(背面)—液晶ディスプレイ(15インチ:F15R41W,B)セットモデルの場合



接続完成図(背面)—液晶ディスプレイセットモデル(14インチ液晶)の場合



接続完成図(背面)—CRTディスプレイセットモデルの場合



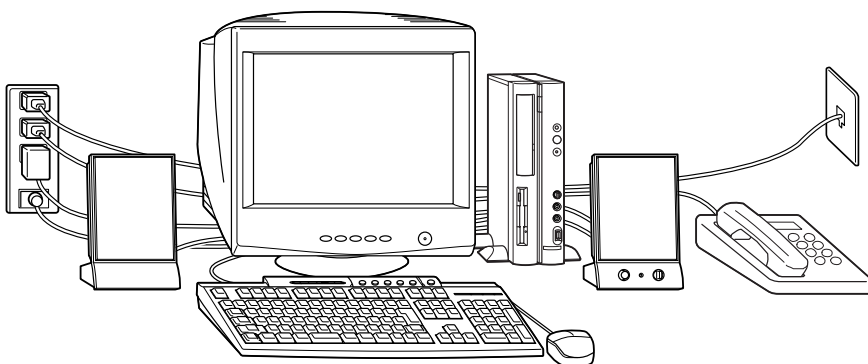
接続完成図(前面)— 液晶ディスプレイ(F15R41W,Bを除く)セットモデルの場合



接続完成図(前面)— 液晶ディスプレイ(F15R41W,B)セットモデルの場合



接続完成図(前面)— CRT ディスプレイセットモデルの場合



まだ、電源スイッチを押さないでください。

電源スイッチを入れる操作については、このあとの「PART3 電源を入れてパソコンを使えるようにする」で説明しています。

プリンタなど、周辺機器の接続は、あとから

プリンタや別売の周辺機器がある場合、まだ接続しないでください。このあとの「PART3 電源を入れてパソコンを使えるようにする」の操作を先に完了させる必要があります。そのあとで『拡張!活用! バリュースター』をご覧になり、接続と設定を行ってください。

チェック!!

電源ケーブル、電話回線の接続に使ったモジュラーケーブルなどが、人の通る場所がないことを再確認してください。ケーブルを足に引っかけたりすると、パソコンの故障の原因になるだけでなく、思わぬけがをすることもあります。

チェック!!

TV モデルには、アンテナ線とLINEケーブルを接続します。これらの接続も、「PART3 電源を入れてパソコンを使えるようにする」のあとで行ってください。

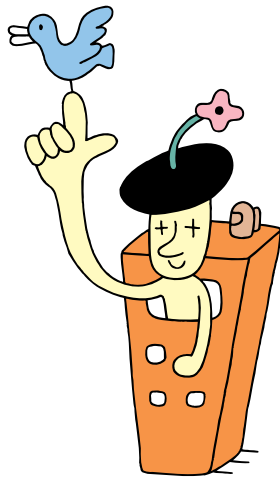
参照

アンテナ線、LINEケーブルの接続→『TVモデルガイド』PART1の「テレビを見る準備をする」

3

電源を入れて パソコンを使えるようにする

パソコンの接続は終わっていますね。それでは、
いよいよ電源を入れます。最初に電源を入れる
ときは、自分の名前などを登録するセットアッ
プ作業が必要です。この作業が終わらないと、パ
ソコンは使えるようになりません。このあとの
説明をよく読んで、ゆっくり確実に操作してく
ださい。



電源を入れる



ディスプレイ、スピーカ、パソコンの順に電源スイッチを押していきます。電源を入れてから、パソコンをできるようにするための準備が完了するまで、約30分程度かかります。

1

添付の『Microsoft Windows 98 ファーストステップガイド』でプロダクト キーを調べて、このマニュアル『まずこれ! 接続と準備』の79ページの記入欄にメモしておく



Product Key(プロダクト キー)

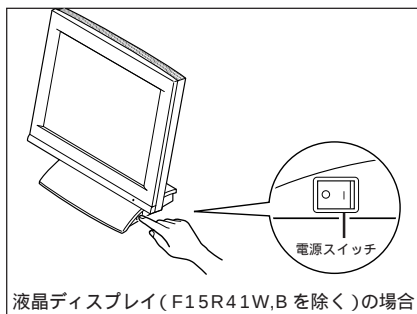
2

パソコンのユーザー名を決めて、75ページの記入欄にローマ字でメモしておく(文字数は14文字まで)

3

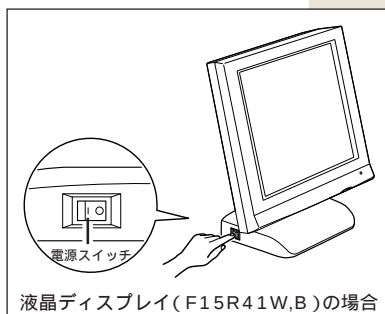
ディスプレイの電源スイッチを押す

ディスプレイの電源ランプが点灯する



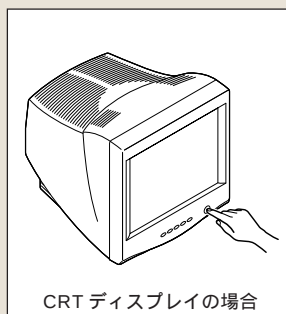
液晶ディスプレイ(F15R41W,Bを除く)の場合

電源を入れるには、「|」と書かれた方を押します。



液晶ディスプレイ(F15R41W,B)の場合

電源を入れるには、「|」と書かれた方を押します。



CRT ディスプレイの場合

プロダクト キーを調べる

『Microsoft Windows 98 ファーストステップガイド』は、このあとの手順で、Windows のプロダクト キーをパソコンに登録するときに必要になります。添付品収納箱の中から、ビニールに包まれた本を探してください(この本は、再セットアップが必要になったときにも使います。大切にしておいてください)。

用語

Product Key

「プロダクトキー」と読みます。パソコンに登録しておくための識別番号のようなもので、1台ごとに別の番号が割り振られます。

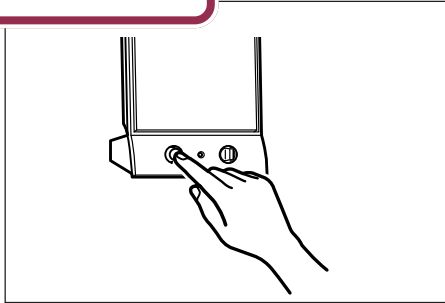
使用者名について

このあとの手順で、キーボードを使って名前を打ち込む必要があります。そのときに迷わないように、いまから決めておきましょう。通常は、使用者名とは、あなたの名前のことです。このパソコンを複数のかたが使う場合は、代表になる人の名前で行いましょう。

4

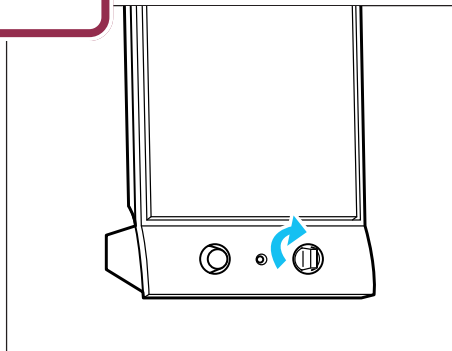
スピーカの電源スイッチを押す

スピーカの電源ランプ
が点灯する



5

スピーカのボリュームつまみを回す

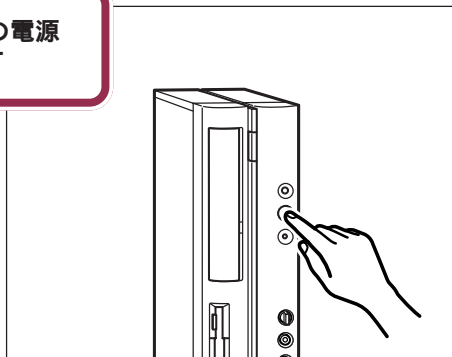


購入時はスピーカの音量が最小になっています。ボリュームつまみを右側に回して、音が出るようにしておきます。ここでは、真ん中くらいにしておきましょう。

6

パソコン本体の電源スイッチを押す

パソコン本体の電源ラ
ンプが緑色に点灯する



操作の途中で電源を切らない!!

この PART の操作がすべて終わるまでに、約 30 分かかります。p.83 の手順が完了するまでは、絶対にパソコン本体の電源スイッチを押さないでください。もちろん、電源ケーブルをいきなり抜いたりしてはいけません。パソコンが使えるようになる前に電源を切ると、故障の原因になります。

なお、p.83 の手順が完了するまでは、誤操作を防止するために、電源スイッチを押しても電源が切れないように設定されています。

7

次の画面が表示されるのを待つ

この度は当社のパーソナルコンピュータをお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

Windows98 セットアップでは、次のものが必要となりますので用意しておいてください。

- ・『まずこれ! 接続と準備』マニュアル
(PART3 『電源を入れてパソコンをできるようにする』の部分に従ってセットアップしてください)
- ・使用する人の名前(ユーザ情報として名前を登録します)
- ・『Windows98 ファーストステップガイド』マニュアル
(表紙に記載されている Product Key を登録します)

< 注意 >

Windows98 セットアップには約 30 分かかります。セットアップが完了し Windows98 が起動するまで、絶対に電源を OFF にしたりしないでください。Enter キーを押すと、Windows98 セットアップを開始します。

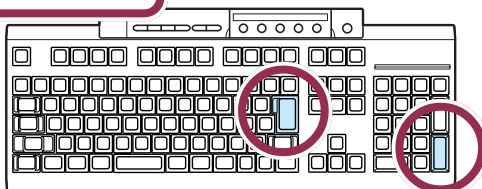
最初の30秒ぐらいは、パソコンが自動的に内部をチェックするので、画面の表示がいろいろ変化します。左の画面が出るまで、何もせずに待ってください。

用語

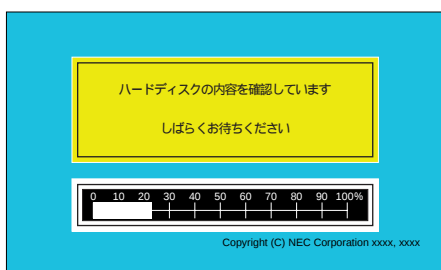
セットアップ

パソコンを使えるようにすることを、セットアップといいます。セットアップが終わると、インターネット、ワープロ、表計算、ゲームなど、このパソコンの様々な機能が使えるようになります。

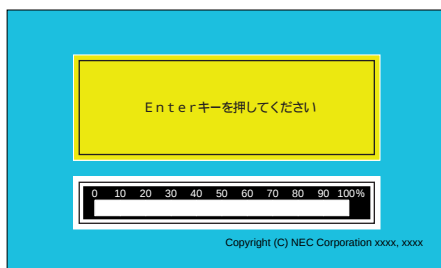
8

キーボードの  を押す

このような画面が
1 ~ 2 分ほど出たあと、



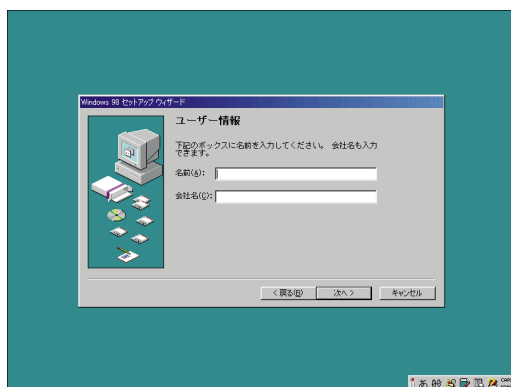
この画面に変わる



9

キーボードの  を押す

1 ~ 2 分ほどで、
この画面に変わる



左の図のように【Enter】は、2 カ所
にあります。どちらのキーを押して
も構いません。

用語



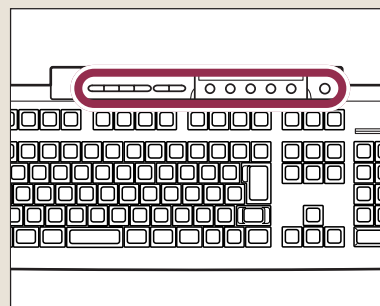
(Enter キー)

キーボードのキーの中で、一番よく使うキーです。「エンター」と読みます。エンター (Enter) とは、「入れる」という意味。「次に進め」という命令をパソコンに入れたときに押すものが、Enter キーだと思ってください。

✓ チェック!!

キーボードの上に並んでいるボタンは、まだ押さないようにしてください。

これらのボタンの使い方は、PART 4
や他のマニュアルで説明しています。



左の画面が出るまで、途中で、何度か画面の表示が変化することがありますが、左の画面が出るまで、何もせずに待ってください。

名前を打ち込む

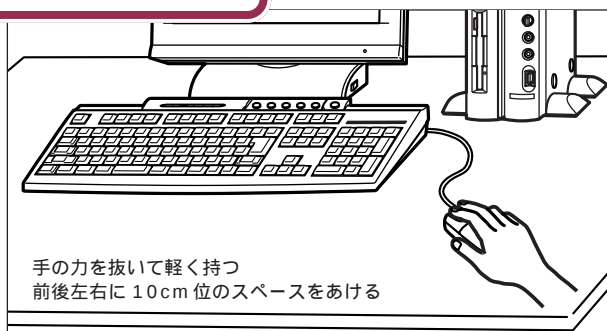


このパソコンをあなたのパソコンとして登録します。それには、画面の中の決められた欄に、ローマ字で名前を打ち込みます。でも、その前にマウスに触れてみましょう。

マウスを動かしてみる

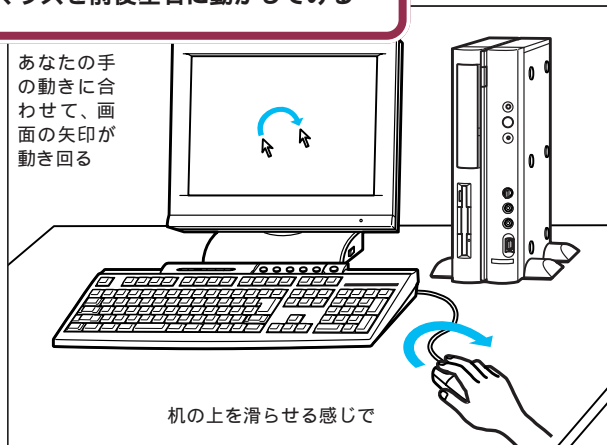
1

右手でマウスを持つ



2

マウスを前後左右に動かしてみる

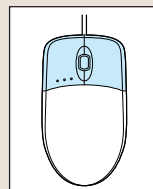


ポイント

マウスは軽く持って、机の上を滑らすように動かす。
マウスの動きに応じて、画面の矢印が動く。

チェック!!

マウスの上にある3つのボタンは、まだ押さないでください。



マウスを動かすために、マウスの前後左右に10cm位のスペースをあけておいてください。

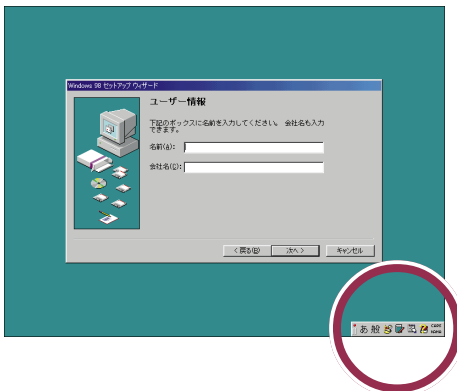
マウスは、親指と薬指で軽くつかんで机の上を滑らせるように動かします。肩の力を抜いて、手首だけで動かすようにすることがコツです。

ローマ字が打てるようになる

Alt を押したまま、**半角/全角** を押すと、ローマ字(アルファベット)が打てるようになります。

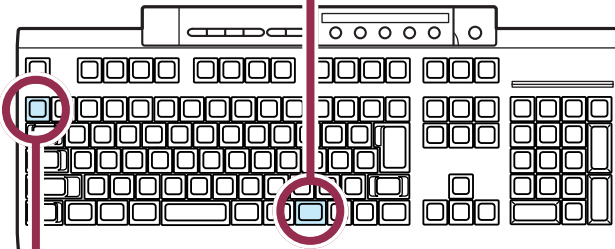
1

画面右下に下の図のような表示があることを確かめる



2

Alt (オルトキー) を押したまま、

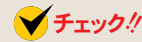


3

半角/全角 (半角 / 全角キー) を 1 回押す

4

Alt (オルトキー) を離す

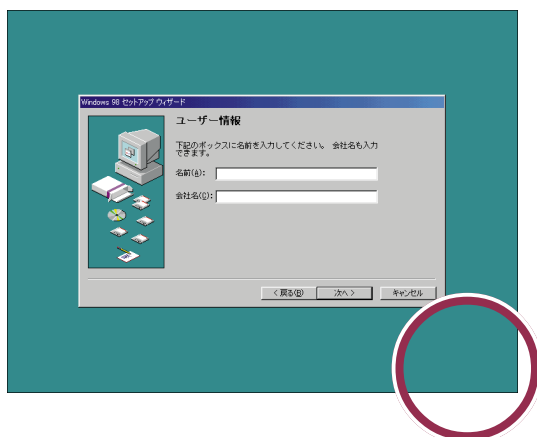


日本語入力に慣れた方へ

すでにパソコンを使って、日本語入力の操作に慣れているなら、ローマ字で名前を入力する必要はありません。自分の名前を入力して「次へ」をクリックしたら、この PART の「Windows のプロダクト キーを入れる」(p.77)に進んでください。

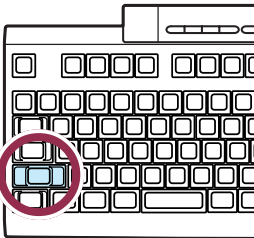
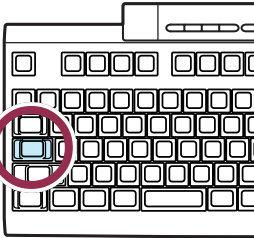
Alt (オルトキー) は 2 カ所にあります。どちらのキーを押しても同じように使うことができます。

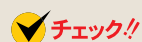
半角/全角 (半角 / 全角キー) は、押し続けしないでください。



画面右下の表示が消える

⇧Shift を押したまま **CapsLock** 英数 を押すと、打ちこまれるアルファベットが小文字から大文字に切り替わります。ここでは大文字で名前を打っていきます。

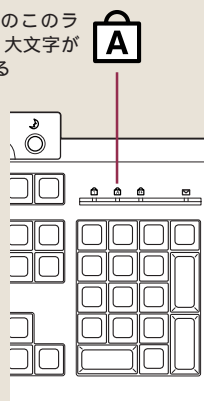
- 5 **⇧Shift** (Shift キー) を押したまま、
- 6 **CapsLock** 英数 (CapsLock キー) を 1 回押す 
- 7 **⇧Shift** (Shift キー) を離す



同じ操作が何度も試せる

手順 2 ~ 4 までの操作は、何度でも試すことができます。同じ操作を繰り返すと、画面右下の表示が出たり消えたりします。一度でうまく画面右下の表示が消えなかった場合も、同じ操作を繰り返してみてください。

キーボード右上のこのランプが点灯して、大文字が打てる状態になる



自分の名前をローマ字で打ち込む

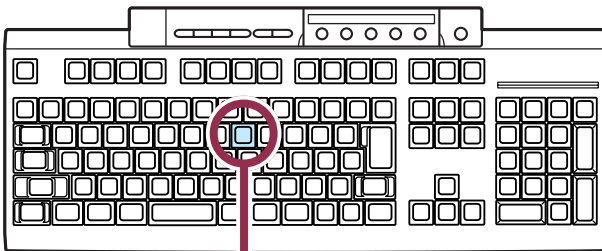
1

下の記入欄でパソコンのユーザー名のローマ字つづりを確認する

ユーザー名記入欄

2

キーボードから最初のアルファベットが書かれたキーを探す



「ICHIROU」の場合なら、「I」のキーはここ
(キーに書かれたひらがなは無視する)

3

その文字キーを押す



同じ文字が続けて打ち込まれたとき (間違った文字が入ったとき)

文字のキーは、押したらすぐに離すことが大切です。キーを押したままにしていると、同じ文字が連続して入ってしまいます。そのときは、右の図のキーを押してください。後ろから文字を消すことができます。文字を間違えて打ったときも、このキーで修正できます。



ポイント

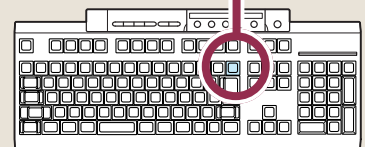
文字を間違えたら、【BackSpace】を押して後ろから消していく。

アルファベットは全部大文字で書いてください。普通は名前、苗字の順番ですが、日本式に苗字、名前の順番でも構いません(入力できる文字は14文字までです)。

参照

ローマ字のつづりがわからないときは→付録の「ローマ字つづり一覧」(p.116)

【BackSpace】



4

同じようにして、自分の名前
をすべて打つ

下記のボックスに名前を入力してください。
できます。

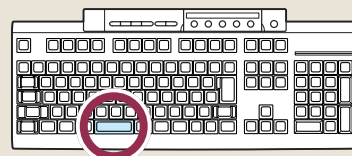
名前(A): ICHIROU MITA

「ICHIROU MITA」の場合なら、このようになる

5

自分の名前が入力できたこと
を確認する

苗字と名前の間を空けるときは、下
図のキーを押します。このキーは、空
白(スペース)を空けるときなどに使
うので「スペース」キーと呼びます。



個人で使用する場合、会社名の欄に
は何も入れる必要がありません。

会社で購入した場合などは、会社名
の欄の内側までマウスで矢印を移動
して、そこでマウスの左ボタンを一
度押します。次の図のように、会社名
の欄の左端に「|」が点滅するのを確
認してください。次に **Alt** (オルト
キー)を押したまま、**半角/全角** (半角/全角
キー)を押します。あとは名前と同じ
ようにアルファベットで会社名が打
てます。



「次へ」をクリックする

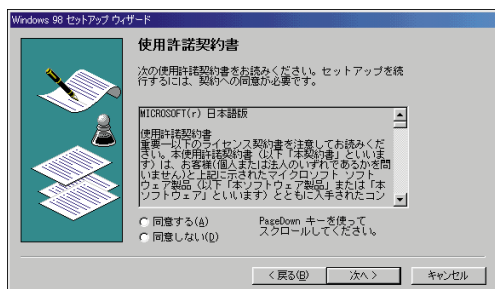
1

「次へ」に矢印を合わせて、マ
ウスの左ボタンを 1 回押す



この四角の内側に矢印の
先端が合っているとき

マウスの左ボタンを押すと、画
面が変わる

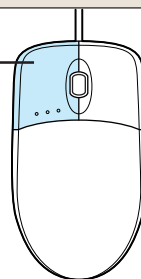


用語

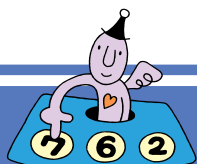
クリック

画面の文字や絵などに矢印を合わ
せ、マウスの左ボタンを 1 回押す
操作を「クリック」といいます。「ク
リック」は、マウスを使うときの最
も基本的な操作方法なので、この
あとの手順でも同じ操作が何度も
出てきます。しっかりマスターし
てください。

左ボタン



Windows の プロダクト キーを入れる

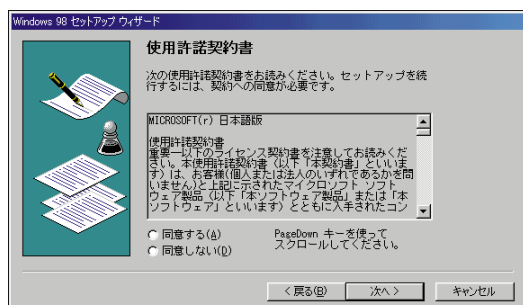


パソコンを使えるようにするための操作を続けましょう。手順説明にしたがって、ゆっくり、確実に操作を進めてください。

使用許諾契約に同意する

1

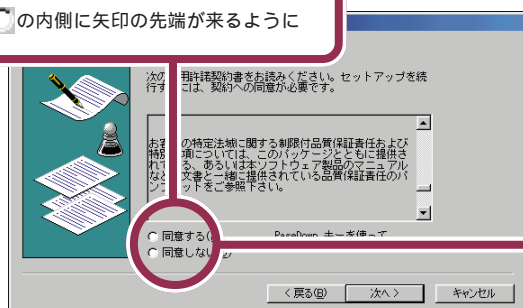
次の画面が表示されている
ことを確認する



2

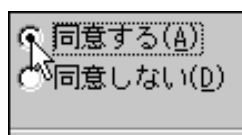
「同意する」の左にある ☐ に
矢印を合わせる

☐ の内側に矢印の先端が来るように



3

ここで、クリックする
(マウスの左ボタンを1回押す)

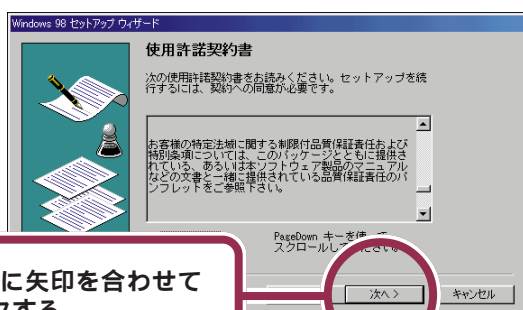


☐ 同意する(A) が ☒ 同意する(A) になる

使用許諾契約とは？

このパソコンを使えるようにするには、パソコンに入っているソフトウェアを違法にコピーして他人に渡したりしないという契約に同意しなければなりません。同意していただけない場合は、このパソコンを使うことができません。

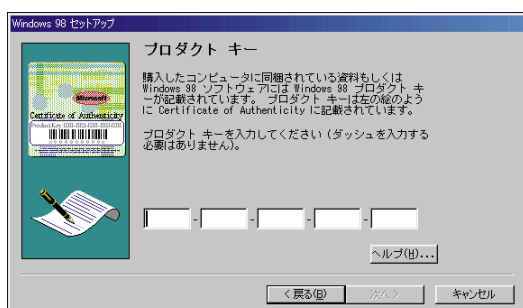
契約書の文章が表示された欄の右に  があります。この  の上に矢印を合わせてクリックすると、続きを読むことができます。このように画面の内容を動かして、続きを見ることを「スクロール」と呼びます。



4

「次へ」に矢印を合わせてクリックする

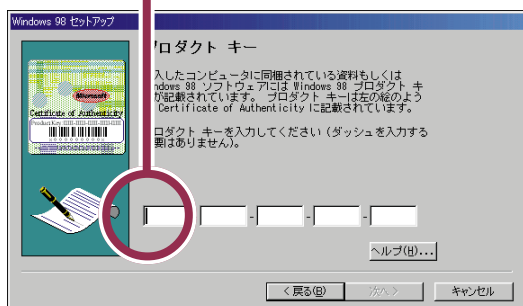
画面が変わる



プロダクト キーを入れる

1

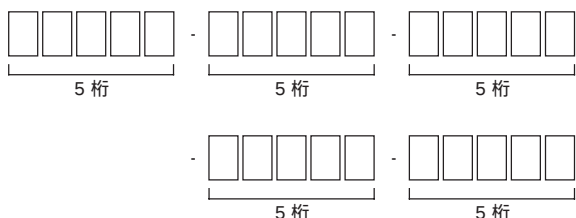
最初の入力欄に「|」が点滅していることを確認する



2

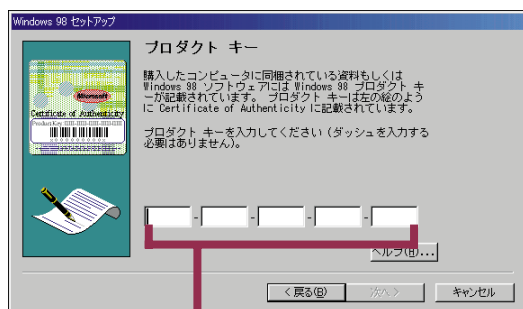
プロダクト キーを確認する

プロダクト キー記入欄



3

名前を入力したときと同様にキーボードを使って、プロダクト キーの先頭の文字から入れていく

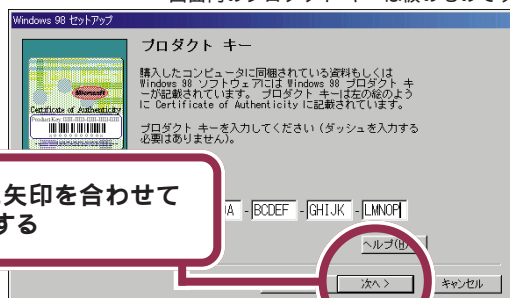


キーボードのキーを押すと、この欄に一字ずつ入る

4

入力が終わったら、プロダクト キーが正しく入力されているか確認する

画面内のプロダクト キーは仮のものです



5

「次へ」に矢印を合わせてクリックする

次ページの最初の画面に変わる



これがプロダクト キー



「B」と「8」など、似ている文字を間違えないようにしてください。

文字は続けて打つ

画面には 5 つの入力欄がありますが、1 つの入力欄がいっぱいになると、自動的に次の欄に文字が入っていきます。

「- (ハイフン)」は、入れる必要がありません。

打ち込んだ文字に間違いがあったら

【BackSpace】を押すと、後ろから文字が一文字ずつ消えていきます。間違いのあった所まで後ろから消していき、そこから正しい文字を入れ直してください。

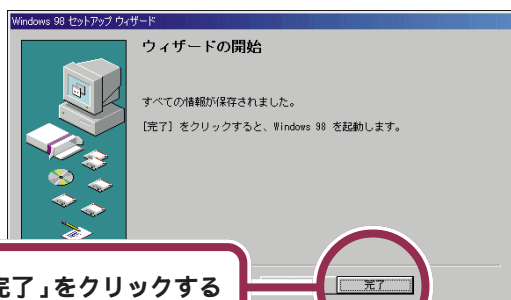
キーボードを使ってプロダクト キーがうまく入力できない方のために「キーボード ヘルパ機能」があります。詳しくは、付録の「プロダクト キーの入力がうまくいかないときは」(p.109)をご覧ください。

「入力されたプロダクト キーは無効」と表示されたら

プロダクト キーを入れ間違えて、「次へ」をクリックすると、「入力されたプロダクト キーは無効です」という画面が表示されます。「OK」をクリックすると、再度プロダクト キーを入れる画面に戻ります。

まず、『Microsoft Windows 98 ファーストステップガイド』の表紙を見て、画面に表示されているプロダクト キーが正しいかどうか確認してください。間違っていたら、文字を間違えた欄の右端に矢印の先端を合わせ、クリックします。そのあと【BackSpace】を押して、後ろから文字を消していき、正しい文字を打ち直してから、もう一度「次へ」をクリックしてください。

残りの手順を進める



四角の内側に矢印の先端が来るように

2 「Windows 98へようこそ」の画面が出るまで待つ

パソコンの操作はあわてずに！

ここまでにも、【Enter】を押したりマウスをクリックしたあと、画面が次に切り替わるまで、少し時間がかかったことがありました。これは、パソコンの内部で設定などの準備処理が行われているためです。⌚が出ているときは、キーを押したり、マウスのボタンを何度もクリックしたりしないようにしてください。



ポイント



⌚ (砂時計) が出ているときは、パソコンが内部で処理を行っている。このマークが出ている間は、何も操作せずに待つ。

「完了」をクリックすると、途中で画面が真っ暗になり、電源を入れたときと同じような画面に自動的に変わります。その後何度か画面が変わりますが、「セットアップ中です」のメッセージが消えるまで、何も操作せずに待ってください。モデルによってはかなり時間がかかる場合もありますが、そのままお待ちください。

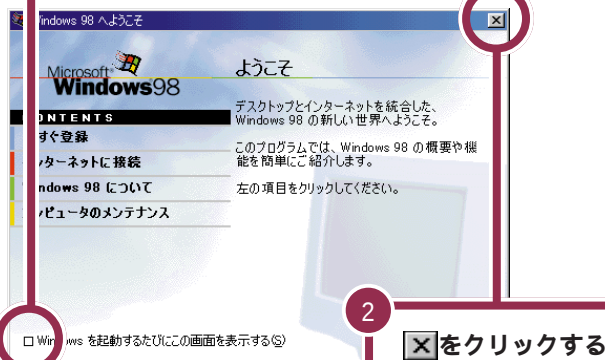
「セットアップ中です」のメッセージが消えると、「Windows 98へようこそ」の画面が出ます。

このパソコンの機能を使えるようにする

パソコンを使えるようにするための、最後の手順です。
次のように操作して「Windows 98 へようこそ」の画面を閉じてください。その後で、キーボードの【ランチ-NX】ボタンを押します。
キーボードの【ランチ-NX】ボタンを押さないと、このパソコンの「ランチ-NX」などの機能が使用できません。

1

「Windows を起動するたびにこの画面を表示する」の前の☒をクリックして、☐にする

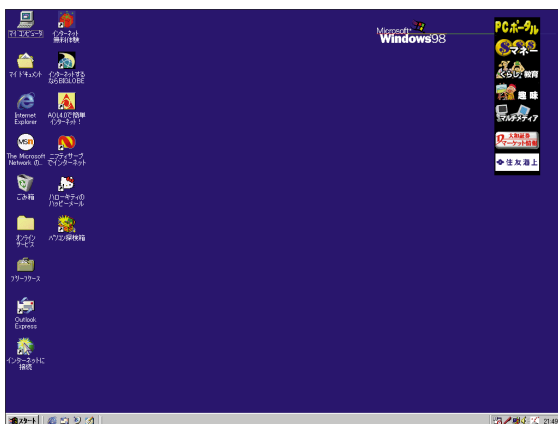


2

Xをクリックする



この画面が出る

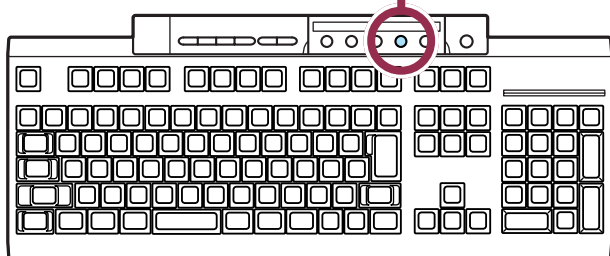


前のページの画面が表示されたあとは、このマニュアルで説明された部分以外、クリックしないように注意してください。間違っ
て別の場所をクリックしてしまい、このマニュアルに載っていない画面が表示された場合、次のいずれかの操作を行って、表示された画面を消してください。

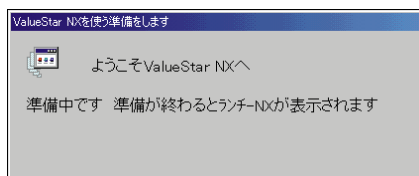
1. キーボードの左上にある【Esc】を押してみる。
2. 「キャンセル」または「いいえ」と書かれたボタンが画面上にあったらマウスでクリックする。
3. 画面の右上に  がある場合、そのボタンをマウスでクリックする。

3

キーボードの【ランチ-NX】ボタンを押す

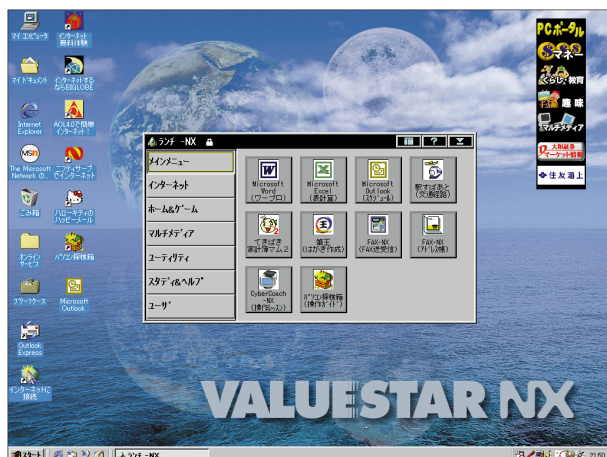


この画面が出る





しばらくすると、この画面が出る



ランチ-NX

左の画面で中央に表示されているものをランチ-NXといいます。次回から、パソコンの電源を入れたら、1～2分後には、いつもこの画面が表示されるようになります。いろいろなソフト(プログラム)を利用するための基本になる画面です。

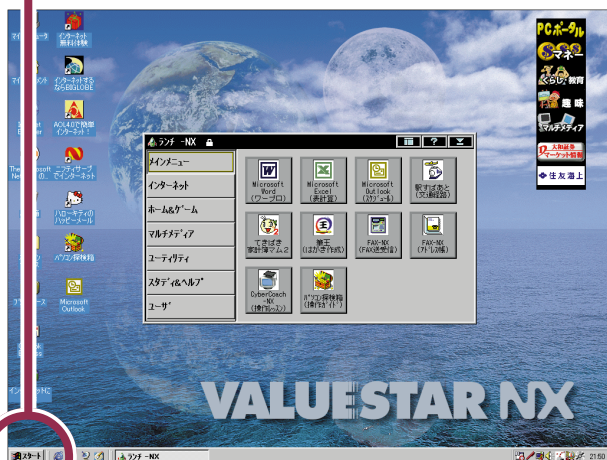
一太郎モデルとOffice 2000モデルでは、ランチ-NXのボタンなど、一部の表示が異なります。いまは、違いを気にする必要はありません。

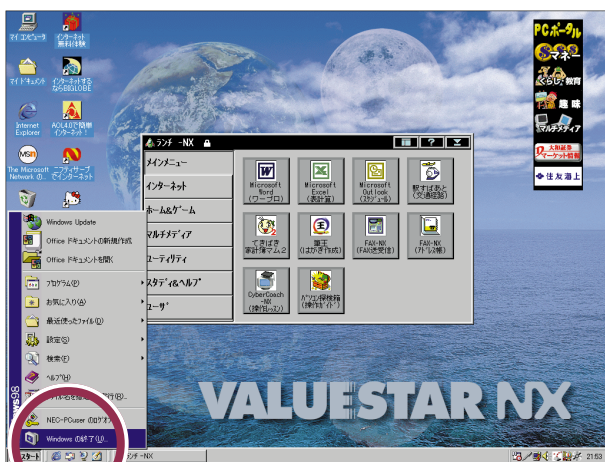
マウスを使ってパソコンの電源を切る

パソコンのセットアップ(最初に電源を入れて使えるようにする作業)の最後に、パソコンの電源を切る必要があります。

1

画面左下にある「スタート」をクリックする





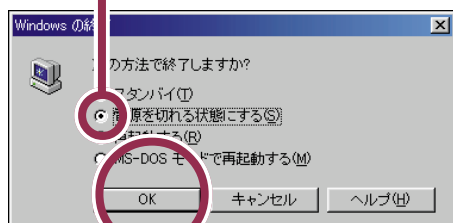
2

「Windows の終了」を
クリックする



3

「電源を切れる状態にする」が
⦿になっていることを確かめる



4

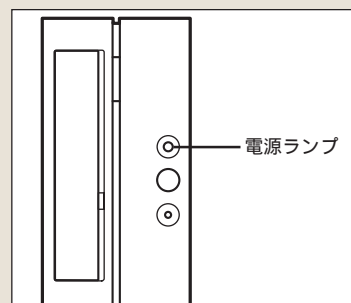
「OK」をクリックする

5

パソコン本体の電源ランプが消え、画面が暗くなったの
を確認する

ディスプレイの電源ランプの色が変わる

一瞬「しばらくお待ちください」と表示されたあと、自動的にパソコン本体の電源が切れます。
パソコン本体の電源が切れると電源ランプが消灯します。



6

スピーカの電源スイッチを押す

スピーカの電源ランプが消える

これでセットアップの作業は完了です。

電源が切れなくなってしまったときは

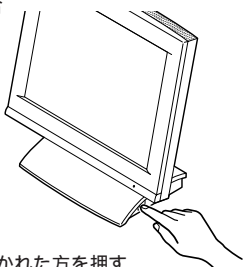
「マウスを使ってパソコンの電源を切る」(p.83)の手順で電源が切れなくなってしまった場合は、パソコンの電源スイッチを約4秒以上押しつづけると、強制的に電源を切ることができます。

強制的に電源を切った後に、5秒以上待ってからもう一度電源スイッチを押してパソコンの電源を入れ、「マウスを使ってパソコンの電源を切る」(p.83)の手順で正しく電源を切り直してください。

• ディスプレイの電源を切る

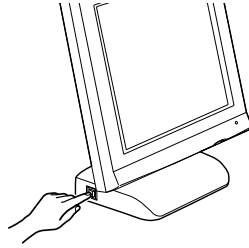
パソコン本体の電源が切れると、ディスプレイの画面も消えますが、ディスプレイの電源が切れたわけではありません。就寝前や外出時など長時間パソコンを使わない場合は、ディスプレイの電源スイッチを押して、電源を切っておきましょう。

液晶ディスプレイ (F15R41W,B を除く) の場合



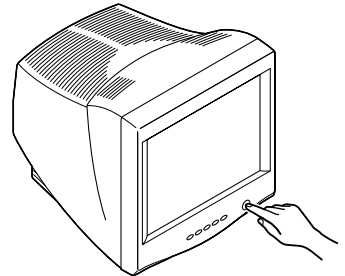
「○」と書かれた方を押す。

液晶ディスプレイ (F15R41W,B) の場合



「○」と書かれた方を押す。

CRT ディスプレイの場合



✓ チェック!!

この方法で電源を切ると、パソコンに負担がかかります。パソコンが起動しなくなる可能性もあります。どうしても電源が切れない場合以外は、この操作は行わないでください。電源を入れなおしたときに、「スキャンディスク」の画面が表示された場合は、画面の指示にしたがって操作してください。

📖 参照

強制的に電源を切る → 『困ったときのQ&A』PART2の「電源を切ろうとしたが...」

パソコンの電源を入れ直して確認する

パソコンの電源を入れ直して、正常に動くことを確認しておきましょう。

1

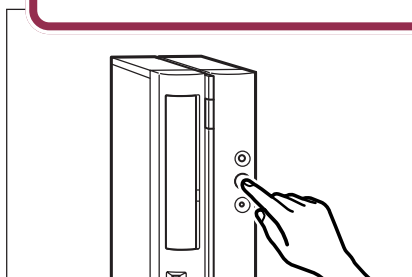
ディスプレイの電源ランプが点灯していることを確かめる

2

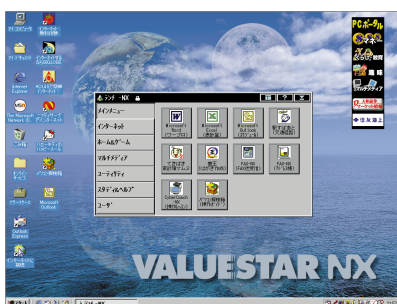
スピーカの電源スイッチを押す

3

パソコン本体の電源スイッチを押す



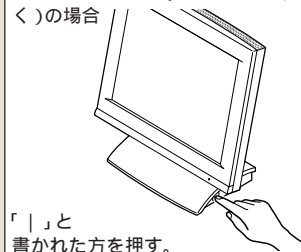
1 ~ 2 分後にランチ-
NX の画面が出る



NEC のマークや Windows のマークなどが出たあと、約 1 ~ 2 分で上の画面が表示されれば、正しくセットアップが行われています。

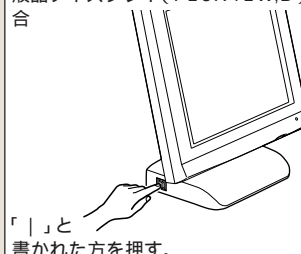
ディスプレイの電源ランプが点灯していない場合は、次の手順でディスプレイの電源を入れてください。

液晶ディスプレイ (F15R41W,B を除く) の場合



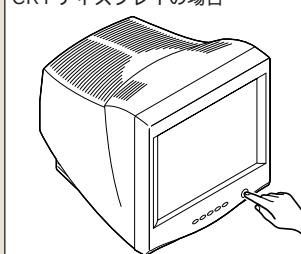
「|」と書かれた方を押す。

液晶ディスプレイ (F15R41W,B) の場合



「|」と書かれた方を押す。

CRT ディスプレイの場合

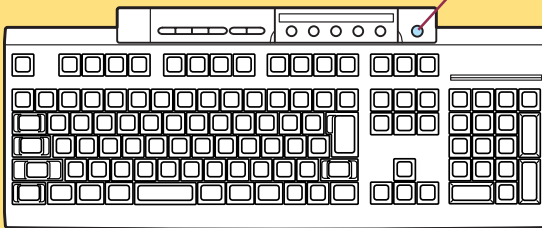


20分以上放置すると、画面が真っ暗になる

キーボードのキーに何も触れなかったり、マウスを動かさなかったりする状態が20分以上続くと、自動的に画面が真っ暗になります。これはディスプレイをつけたままにして無駄な電力を使わないように、省電力機能が働くためです。この場合、次のいずれかの操作をすると、元に戻ります。

- ・キーボードのキーを何か1つ押す
- ・マウスを軽く動かす
- ・キーボードの【スリープ】ボタンを押す

【スリープ】ボタン



参照

省電力機能→『拡張!活用! バリュースター』PART12の「省電力機能(スタンバイ)」

インターネットに接続 できることを確認する

電話回線に正しく接続できていれば、すぐにインターネットに接続してみることができます。



用語

アクセスポイント

インターネットに接続するための入り口になっている電話番号のことです。インターネットに接続するには、あなたのパソコンからアクセスポイントに電話をかけます。

ボタンひとつでインターネットに接続

セットアップが終了し、PART2の「電話回線に接続する」で電話回線に正しく接続できていれば、すぐにインターネットに接続することができます。キーボードの【インターネット】ボタンを押して、1回クリックするだけで、もっとも近いアクセスポイントが自動選択され、インターネットへの接続が始まります。

「インターネット無料体験」を利用するので、アクセスポイントまでの電話料金以外に費用はかかりません。さっそくインターネットに接続してみましょう。

アクセスポイントの自動選択は、NTTの「ナンバーディスプレイ(発信電話番号通知サービス)」で通知された、お客様の電話番号によって行われます。以下のような場合は、「アクセスポイントを手動選択したいとき(p.112)の手順で、アクセスポイントを手動選択してください。

- ・NTTとの契約が「回線ごと非通知」になっていて、そのまま電話番号通知を利用されたくない場合
- ・NTTとの契約が「通話ごと非通知」になっているが、電話番号を通知されたくない場合
- ・テレジョーズやテレチョイスなどの利用のため、特定のアクセスポイントを指定したい場合

なお、発信されたお客様の電話番号は、無料体験のアクセスポイントの自動選択のみに使用し、自動選択後、ただちに消去されます。

参考

インターネット無料体験→『たのしもう! インターネット』の「PART1 今すぐインターネット」

チェック!!

次ページの手順1を始める前に、PART2の「電話回線に接続する」(p.49)と、パソコンのセットアップ(p.67~p.87)の手順が完了しているか、必ず確認してください。

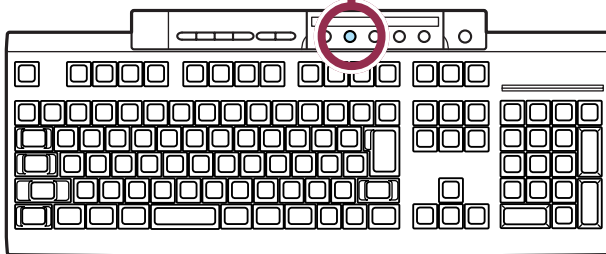
チェック!!

- ・インターネット無料体験はBIGLOBEとの契約を強制するものではありません。
- ・アクセスポイントを自動選択する間はフリーダイヤルで電話をかけるため、電話料金はかかりません。アクセスポイント決定後、インターネット無料体験中のアクセスポイントまでの電話料金は、お客様のご負担となります。
- ・NTTとの契約がどうなっているかわからないときは、NTTにお問い合わせください。NTTに特に指定していないときは「通話ごと非通知」になっています。
- ・NTT以外の電話会社を経由した通信では、アクセスポイントの自動選択が利用できない場合があります。その場合は、アクセスポイントの手動選択を行ってください。

インターネット無料体験の有効期間は、体験を開始した日から31日間(合計5時間)です。
ここでインターネットに接続できることを確認すると、31日後にインターネット無料体験が利用できなくなります。すぐにインターネットを利用する予定がない場合はご注意ください。

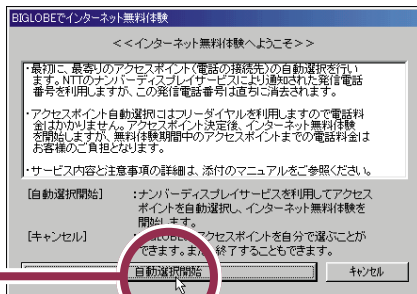
1

キーボードの【インターネット】ボタンを押す

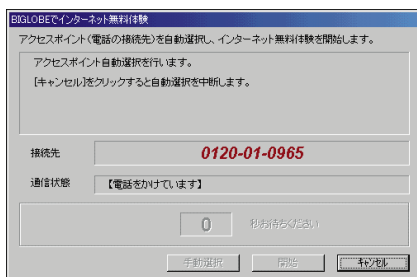


2

「自動選択開始」をクリックする



アクセスポイントの自動選択が始まり、しばらくしてから、次の画面が表示される



デスクトップの「インターネット無料体験」をダブルクリックして「インターネット無料体験」を起動することもできます。

✓ チェック!!

- ・インターネット無料体験を中止する場合は、「キャンセル」ボタンをクリックした後、「終了」ボタンをクリックしてください。
- ・アクセスポイントを手動で選択したい場合は「キャンセル」ボタンをクリックしたあと、「アクセスポイントを手動選択したいとき」(p.112)の手順3以降を行ってください。
- ・インターネット無料体験をまだ開始したくない場合も、「キャンセル」ボタンをクリックしてください。

📖 参照

手順通りにインターネットに接続できない場合→付録の「こんなときは」(p.108)
それでも解決できない場合→『困ったときのQ&A』PART2の「インターネット、パソコン通信をしようとしたら...」

3

しばらくすると、次のいずれかの画面が表示される

- ・市内通話料金で利用できるアクセスポイントが選択された場合

市内通話料金で利用できるBIGLOBEのアクセスポイントが見つかりました。

- ・開始までの待ち時間が0になると下記電話番号に自動的にダイヤルを開始します。
- ・アクセスポイントを変更される場合
→[手動選択]をクリックしてください。
アクセスポイント一覧からご自分で選択いただけます。

アクセスポイントが自動選択されました。手順4に進んでください。

- ・市内通話料金で利用できないアクセスポイントが選択された場合

最も近所と思われるBIGLOBEのアクセスポイントが見つかりました。

- ・開始までの待ち時間が0になると下記電話番号に自動的にダイヤルを開始します。
- ・アクセスポイントを変更される場合
→[手動選択]をクリックしてください。
アクセスポイント一覧からご自分で選択いただけます。

アクセスポイントが自動選択されました。手順4に進んでください。



チェック!!

ここで次のような画面が表示されたときは、ナンバーディスプレイの契約が「回線ごと非通知」になっています。

電話番号が非通知のためアクセスポイントの自動選択ができません。
・アクセスポイントの自動選択を行う場合
→[手動選択]をクリックしてください。
・電話番号を変更する(155)を付けてダイヤルします。
・アクセスポイント一覧からご自分で選択いただけます。
→[手動選択]をクリックしてください。
アクセスポイント一覧からご自分で選択いただけます。

- ・電話番号を通知してもかまわないときは、「開始」ボタンをクリックし、手順2からやり直してください。

通知されるのは、アクセスポイントの自動選択時のみです。その後は非通知になります。

- ・電話番号を通知したくないときは、アクセスポイントを自動選択できません。「手動選択」ボタンをクリックし、「アクセスポイントを手動選択したいとき」(p.112)の手順4以降を行って、アクセスポイントを手動選択してください。



チェック!!

パソコンがホームページを表示するのに必要な情報を集めている間、画面右上のが回転(→→)します。すべての情報を集め終えてそのページの表示が完了すると回転は止まります。

電話回線が混み合っている場合や、画像をたくさん使っているホームページの場合など、すべてのページを表示するまで時間がかかることがあります。このが回転している間はそのまましばらく待ちましょう。それでも待ちきれないときは、表示を中断することができます。



参照

ホームページの表示を中断したい場合
→『たのしもう! インターネット』PART1の「インターネットQ&A」



チェック!!

画面の右下にが表示されているときには、インターネットに接続されているので電話料金がかかっています。

4

インターネットに接続される

「接続中」であることを示すウィンドウが表示された後、「インターネットエクスプローラ」のウィンドウが表示されて、「BIGLOBE インターネットどきどき体験」のホームページが表示されます。



5



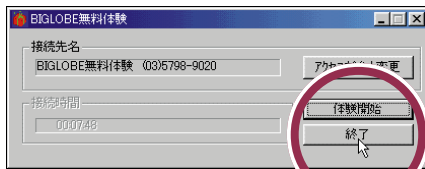
が表示されていることを確認する



接続できることを確認したら、ここではひとまず無料体験を終了しましょう。無料体験をもっと楽しみたい人は、『たのしもう! インターネット』をご覧ください。

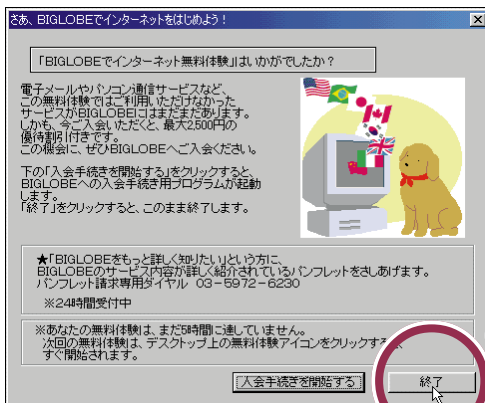
インターネットを終了する

1  閉じる)をクリックする



2 「終了」をクリックする

これで電話回線が切断されました。ここからは、電話料金はかかりません。



3 「終了」をクリックする

無料体験をもっと楽しみたい方は、『たのしもう！インターネット』をご覧ください。



もう一度、パソコンの電源を切る

最後に、もう一度電源を切って作業を終わりにしましょう。

1

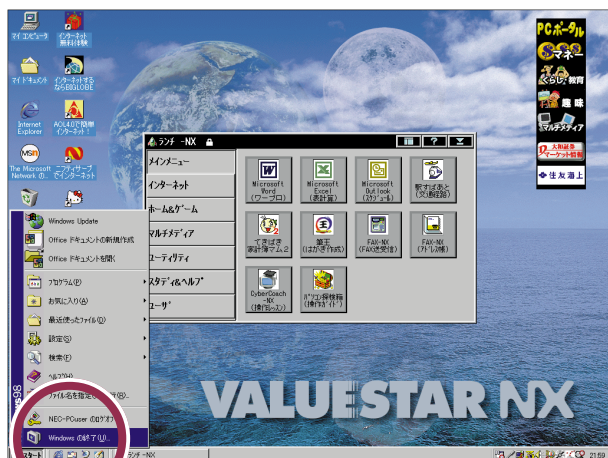
画面左下にある「スタート」をクリックする
(マウスの左ボタンを1回押す)



画面の右下には、現在の時刻が表示されています。この時刻を正確に合わせることができます。

参照

日付と時刻を合わせるには→『困ったときのQ&A』PART2の「日付の設定を変えようとしたら...」



2

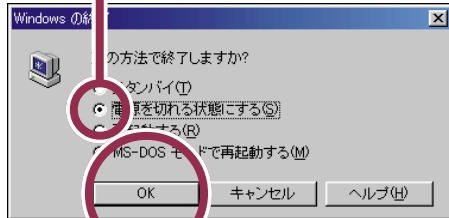
「Windows の終了」をクリックする



3

「電源を切れる状態にする」が☑になっていることを確かめる

この画面が出る



4

「OK」をクリックする

一瞬「しばらくお待ちください」と表示されたあと、自動的にパソコン本体の電源が切れます。

5

パソコン本体の電源ランプが消え、画面が暗くなったのを確認する

ディスプレイの電源ランプの色が変わる

パソコン本体の電源が切れると、ディスプレイの画面も消えますが、ディスプレイの電源が切れたわけではありません。就寝前や外出時など長時間パソコンを使わない場合は、ディスプレイの電源スイッチを押して、電源を切っておきましょう。

6

スピーカの電源スイッチを押す

スピーカの電源ランプが消える

参照

ディスプレイの電源を切る→このPARTの「ディスプレイの電源を切る」(p.85)

最初は、パソコン内部の設定を変更できないモードになっている

このパソコンは、購入したままの状態では、誤ってパソコン内部の設定を変更してしまうことがないように「ベーシックモード」という状態で起動されます。「ベーシックモード」では、パソコン内部の細かな設定を変更することができません。これらの設定を変更する場合、CyberTrio-NXというソフトを使って「ベーシックモード」から「アドバンスモード」に変更する必要があります。

必要に応じて、パソコンを守る設定を行う

このパソコンには、プログラムやデータを守るためのソフトが入っています。CyberWarner-NXは、パソコンの動作に影響を与えるファイルが誤って削除されたり変更されないようにします。VirusScanは、フロッピーディスクやインターネットを経由してウィルス(パソコンの動作に悪影響のある不正なプログラム)が感染することを防ぎます。必要に応じて、これらのソフトの設定を行ってください。

大切なデータは、バックアップをとる

自分が作ったデータは、一度消えてしまうと元に戻すことができません。万一のアクシデントに備えて、自分が作った大事なデータは、必ずバックアップをとるように心がけてください。



参照

CyberTrio-NX → 『拡張!活用! バリュースター』PART13の「Windows 98の利用環境の変更 < CyberTrio-NX >」



参照

CyberWarner-NX → 『拡張!活用! バリュースター』PART13の「Windows 98の動作の監視 < CyberWarner-NX >」

VirusScan → 『拡張!活用! バリュースター』PART13の「ウィルスの検査と駆除 < VirusScan >」



用語

バックアップ

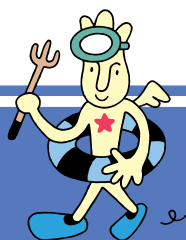
万一、データが消えてしまっても良いように、フロッピーディスクなどにデータを複製しておくこと。



参照

バックアップ → 『拡張!活用! バリュースター』PART13の「データのバックアップを取る < バックアップ-NX >」

正規ユーザー の登録を行う



パソコンが使えるようになったら、正規ユーザー（98OFFICIAL PASSメンバー）への登録を必ず行ってください。

「正規登録ユーザ（98OFFICIAL PASSメンバー）」に登録すると、あなたの名前と「お客様登録番号」がプリントされた「98OFFICIAL PASS」カードが発行されます。

「正規登録ユーザ」の方は、NEC インターネットホームページ 98Informationで、さまざまな特典情報をご覧いただけますので、ぜひ登録を済ませてください。

登録には、ハガキまたはFAXで「お客様登録申込書」を送る方法と、インターネットに接続して登録する方法があります。

●ハガキまたはFAX を送る

まだパソコンの操作に慣れていない方は、ハガキまたはFAXでの登録をお勧めします。添付品収納箱の中に「98OFFICIAL PASS お客様登録申込書」が入っています。

1

専用ハガキまたはFAX 用紙に
必要事項を記入する

2

記入したら、98OFFICIAL
PASS 登録センターへ送る

詳しくは、「98OFFICIAL PASS お客様登録申込書」をご覧ください。

記入方法などについて詳しくは、「98OFFICIAL PASS お客様登録申込書」をご覧ください。

●インターネットに接続して登録する

すでにパソコンやインターネット利用の経験がある方は、ハガキやFAXの代わりにインターネットに接続して登録することができます。インターネットに接続する方法については、『たのしもう! インターネット』をご覧ください。次のページから登録が可能です。

98OFFICIAL PASS お客様登録カウンター
<http://www.pc98.nec.co.jp/register/>

これで、パソコンの準備はOK!

一息入れたら、「PART4 パソコン本体の操作を覚える」に進んで、基本的な操作を覚えましょう。

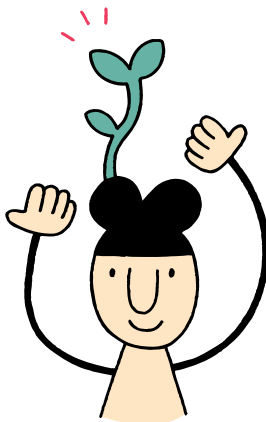
98OFFICIAL PASS お客様登録カウンターは、Internet Explorerの「お気に入り」に登録されています。

P A R T

4

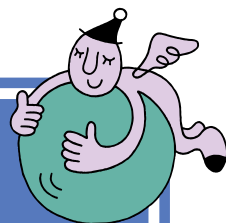
パソコン本体の操作を覚える

パソコンを操作するときは、決まった手順を守る必要があります。電源の入れ方、切り方やキーボードの【スリープ】ボタンの使い方、音量の調節など、まずはいちばん基本的な操作をマスターしてください。

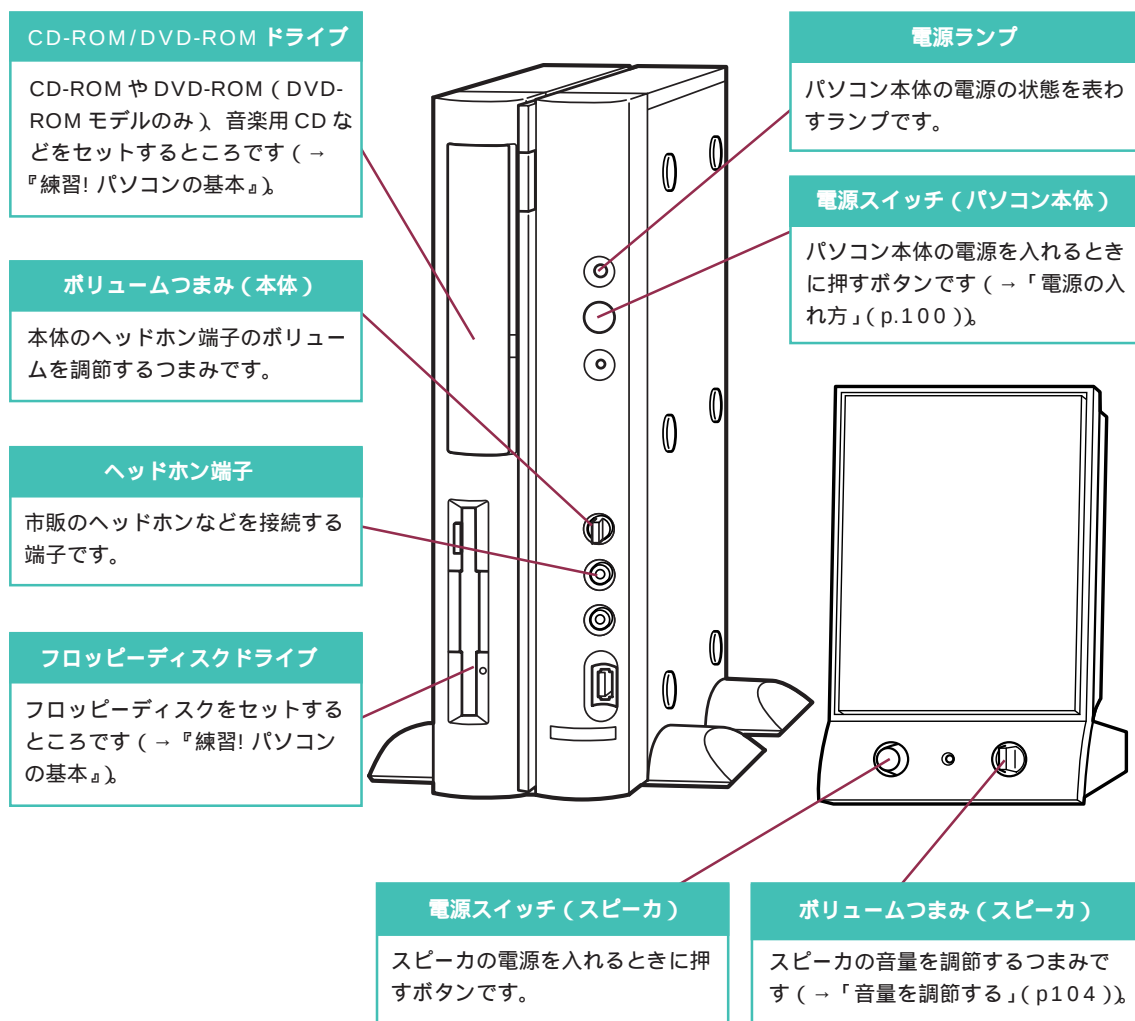


各部の名称と役割を覚えよう

ここでは、本体各部の名称と働きを説明します。操作方法について詳しくは、p.100 からの手順や他のマニュアルで説明しています。



● パソコン本体、スピーカ



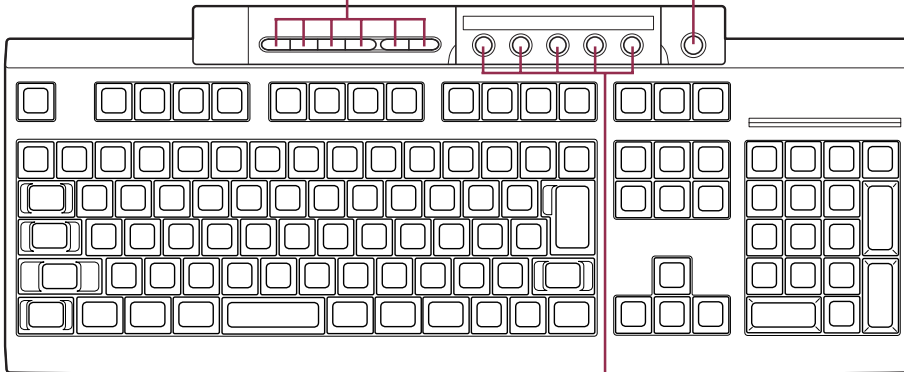
● キーボード

CD/DVD 制御ボタン

音楽 CD や DVD VIDEO ディスクの操作、音量の調節ができます(→「音量を調節する」(p.104))。

【スリープ】ボタン

作業を一時的に中断したり、再開したりするときに使うボタンです(→「一時的に作業を中断する(スタンバイ)」(p.103))。



ワンタッチスタートボタン

ボタンを押すだけで、アプリケーションの起動などが行えます。

【メール】ボタン→『たのしもう! インターネット』

【インターネット】ボタン→『たのしもう! インターネット』

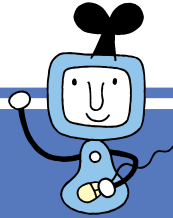
【パソコン探検箱】ボタン→『練習! パソコンの基本』

【ランチ-NX】ボタン→『練習! パソコンの基本』

【ソフト終了】ボタン→ ソフトを終了します。

TV モデルでは【ビットキャストブラウザ】
ボタンになります(→『TV モデルガイド』)。

電源の入れ方



正しい電源の入れ方を、もう一度復習してみましょう。
パソコンの電源スイッチを入れてから、パソコンが使えるようになるまでには、1 分ぐらい時間がかかります。

1

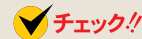
ディスプレイの電源ランプを確認する

• ディスプレイの電源ランプが点灯していたら

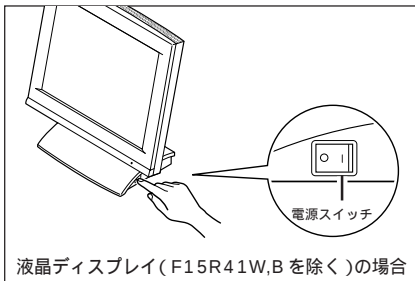
ディスプレイの電源は入っています。
次の手順に進んで、他の機器やパソコンの電源を入れてください。

• ディスプレイの電源ランプが点灯していなかったら

ディスプレイの電源が入っていません。
まずディスプレイの電源を入れてください。

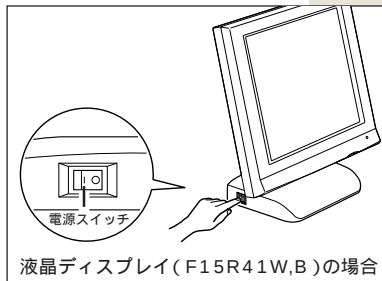


ディスプレイの電源スイッチは、お
使いのモデルによって異なります。



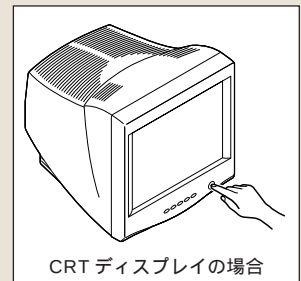
液晶ディスプレイ (F15R41W,B を除く) の場合

電源を入れるには、「|」と書かれた方を押します。



液晶ディスプレイ (F15R41W,B) の場合

電源を入れるには、「|」と書かれた方を押しま
す。



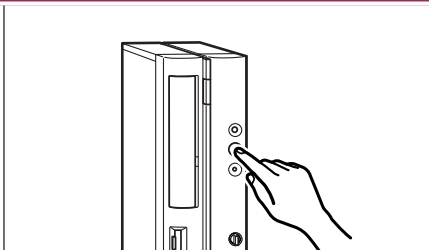
CRT ディスプレイの場合

2

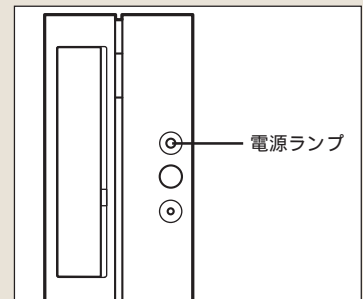
スピーカや、他の機器を接続している場合は、それらの 電源を入れる

3

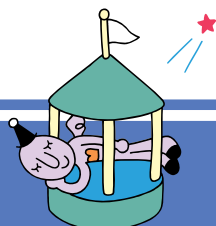
パソコン本体の電源を入れる



パソコン本体の電源が入っていると
ときには、電源ランプが緑色に点灯し
ます。



電源の切り方



電源を切るときは、マウスを使います。パソコン本体の電源スイッチを押す必要はありません。大切なデータを失ってしまったり、内部の部品を損傷してしまったりしないよう、正しい手順で操作してください。

パソコンの内部には突然電源を切ってしまうと具合が悪い部品も入っています。次の手順にしたがって電源を切ると、これらの部品の動作終了を自動的にチェックして、安全に電源を切ることができます。

1

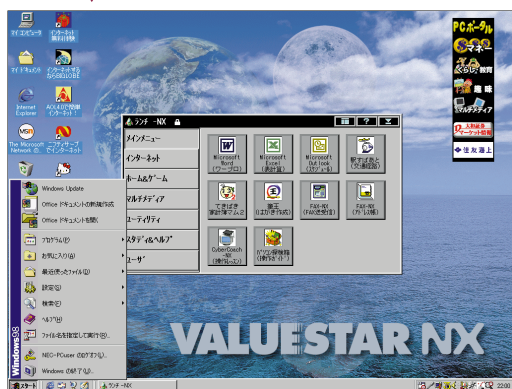
画面左下にある「スタート」に矢印を合わせる



2

マウスの左ボタンを1回押す

スタートメニューが表示される



チェック!!

電源を切る前にデータを保存し、アプリケーションを終了しておいてください。

電源を切るときは、電源スイッチを押さずに、ここで説明する手順で操作してください。

チェック!!

矢印を合わせ、マウスを止めたままにしておくと「このボタンから始めます」と表示されます。そのまま5秒ぐらいたつと自動的に「このボタンから始めます」という表示が消えます。

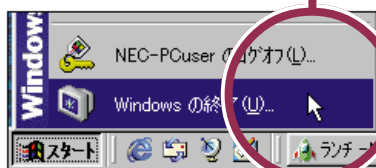
用語

スタートメニュー

画面左下にある「スタート」(「スタート」ボタンと呼びます)に矢印を合わせ、マウスの左ボタンを1回押すと、スタートメニューが表示されます。スタートメニューから「Windowsの終了」を選ぶと、パソコンの電源を切ることができます。また、ソフトウェアを利用したり、いろいろな設定を行ったりするときにも利用できます。

3

「Windows の終了」に矢印を合わせる



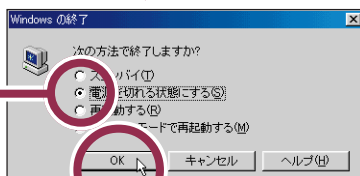
4

マウスの左ボタンを 1 回押す

画面中央に、これが表示される

5

「電源を切れる状態にする」が  になっていることを確かめる



6

「OK」に矢印を合わせ、マウスの左ボタンを 1 回押す

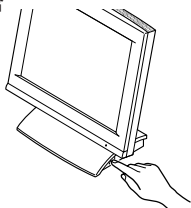
「Windowsを終了しています」と表示されたあと、自動的にパソコン本体の電源が切れます。パソコン本体の電源ランプも消えます。

7

パソコン本体の電源ランプが消えて画面が暗くなったことを確かめる(ディスプレイの電源ランプの色が変わる)

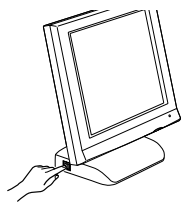
パソコン本体の電源が切れると、ディスプレイも真っ暗になりますが、電源が切れたわけではありません。就寝時や外出時などには、ディスプレイの電源スイッチを押して、電源を切っておきましょう。

液晶ディスプレイ(F15R41W,Bを除く)の場合



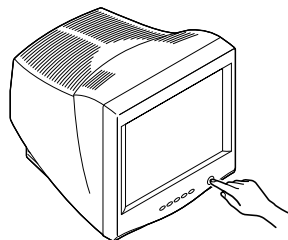
「○」と書かれた方を押す。

液晶ディスプレイ(F15R41W,B)の場合



「○」と書かれた方を押す。

CRT ディスプレイの場合



8

スピーカや、他の機器を接続している場合は、それらの電源も切る

✓チェック!!

矢印がスタートメニューの中を上下すると、矢印の位置に青い帯が表示されます。「Windowsの終了」に青い帯がかかるように、マウスを動かしてください。

✓チェック!!

「スタンバイ」「再起動する」や「MS-DOS モードで再起動する」の前に  が表示されているときは、「電源を切れる状態にする」の前の  に矢印を合わせ、マウスの左ボタンを 1 回押してください。

一時的に作業を 中断する(スタンバイ)

休憩や来客などで一時的に席を離れる場合、作業を中断して画面を消しておくことができます。こうしておくと、次に席に戻ったときに、すぐに中断前の状態に戻すことができます。

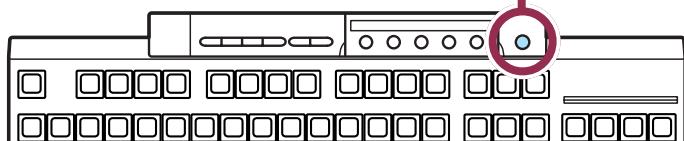
用語

スタンバイ

パソコン画面の表示を一時的に中断したり、パソコン本体の消費電力を抑える機能です。スタンバイのことをサスペンドと呼ぶこともあります。同じ意味です。

パソコンをスタンバイ状態にする

キーボードの【スリープ】ボタンを押す



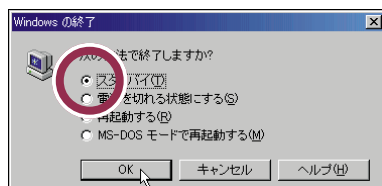
画面が暗くなり、パソコン本体の電源ランプがオレンジ色に点灯します。パソコンがスタンバイ状態になると、消費電力が低く抑えられます。

●自動的にスタンバイ状態になる

購入時の設定ではキーボードのキーに何も触れなかったり、マウスを動かさなかったりする状態が20分以上続くとスタンバイ状態になり、自動的に画面が暗くなります。

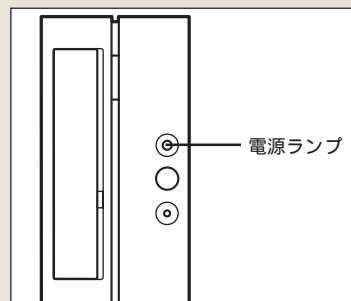
●「Windows の終了」の画面からスタンバイ状態にする

「Windows の終了」の画面からスタンバイを選んで「OK」をクリックすると、自動的に画面が暗くなり、パソコンがスタンバイ状態になります。



チェック!!

パソコンの電源が切れているとき(電源ランプが消えているとき)には、【スリープ】ボタンは働きません。【スリープ】ボタンは、パソコンの電源が入っているときに押してください。



スタンバイ状態を解除する

スタンバイ状態を解除するには次のいずれかの操作を行ってください。しばらくすると、スタンバイ状態にする前の画面に戻ります。

- ・キーボードのキーを何か1つ押す
- ・マウスを軽く動かす
- ・キーボードの【スリープ】ボタンを押す

参照

スタンバイについて→『拡張!活用! パリユースター』PART12の「省電力機能(スタンバイ)」

音量を調節する

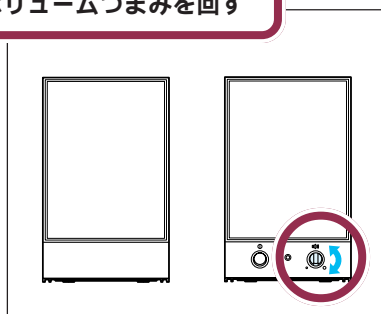


パソコンから出る音がうるさいときや、小さくて聞こえないときは、音量を調節できます。

● スピーカで調節する

1

外付けスピーカの
ボリュームつまみを回す

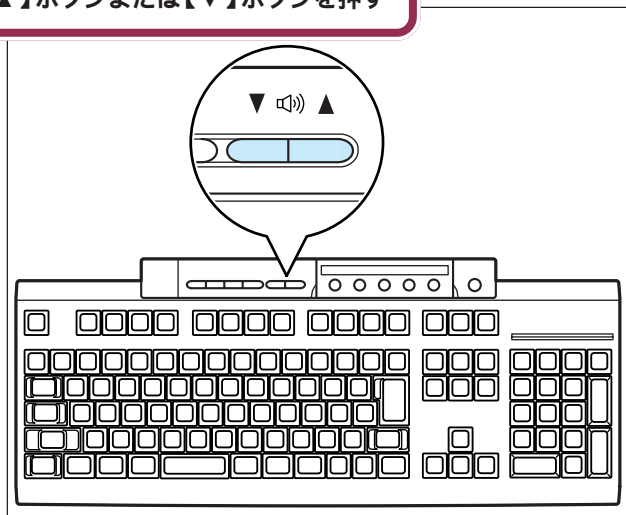


右に回すと音が大きく
左に回すと音が小さくなる

● キーボードで調節する

1

【▲】ボタンまたは【▼】ボタンを押す



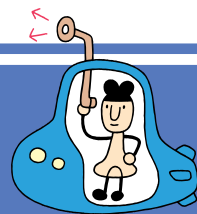
【▲】ボタンを押すと音が大きく、【▼】ボタンを押すと音が小さくなる

✓ チェック!!

外付けスピーカのボリュームつまみが最小の位置になっていると、【▲】ボタンを押しても外付けスピーカからの音は、大きくなりません。

他のマニュアルに進んでみる

ここでは、他のマニュアルの紹介をします。パソコンの接続と準備が終わったら、次は自分の目的に合ったマニュアルに進んでみましょう。



たのしもう! インターネット

インターネットについてはこのマニュアルをご覧ください。インターネット無料体験やBIGLOBEへの入会方法、電子メールの活用など、インターネット経験のない方にもある方にも役立つ情報が満載です。

練習! パソコンの基本

パソコンを使った経験がない方は、次にこのマニュアルをご覧ください。ワープロ入門、キーボードやマウスの操作、CD-ROMやフロッピーディスクの使い方など、パソコンの基本的な使い方を学ぶことができます。

拡張!活用! バリュースター

以下のような、このパソコンを使いこなすための情報と説明が、詳しく書かれているマニュアルです。

- ・周辺機器の紹介、メモリやPCIボードの増設方法
- ・マウス、キーボード、ディスプレイなどの設定方法
- ・パソコンを守るアプリケーション
- ・アプリケーションの削除と追加の方法
- ・パソコン本体の機能の詳しい説明

TV モデルガイド

TVモデルのみに添付されているマニュアルです。パソコンでテレビや地上波データ放送を見たり、映像を取り込んだりしたいときにお読みください。その他にも、TVモデルのみの機能や注意事項については、このマニュアルで説明しています。

困ったときのQ & A

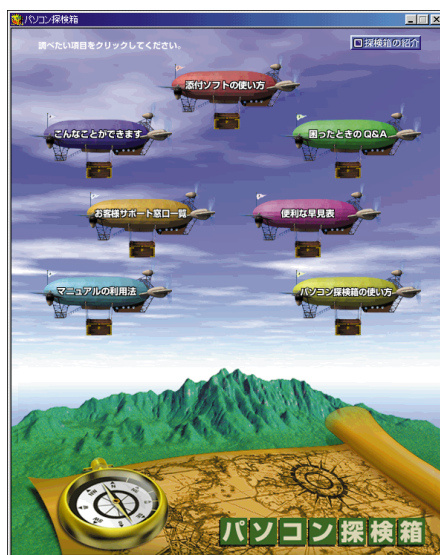
なにか困ったときには、まずこのマニュアルをご覧ください。さまざまなトラブルへの対処法が詳しく書かれています。また、買った直後の状態に戻す方法(再セットアップ)についても説明しています。

パソコン探検箱

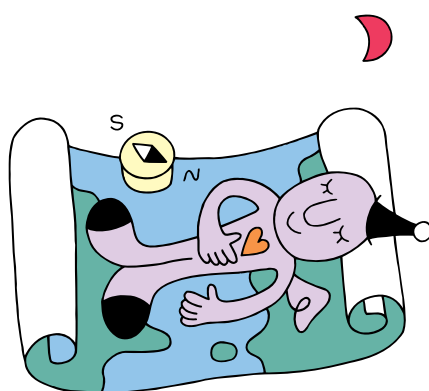
『パソコン探検箱』は、パソコンの画面で見るマニュアルです。以下のような内容を、パソコンの画面上で見ることができます。

- ・添付されているアプリケーションの紹介
- ・アプリケーションの操作方法
- ・困ったときの対処法
- ・お客様サポート窓口の一覧

『パソコン探検箱』の使い方については『練習! パソコンの基本』をご覧ください。



付 録



こんなときは

本書の「PART 3 電源を入れてパソコンを使えるようにする」で、電源を入れたあと、困ったことが起きたときは、次の説明を参考に対処してください。

キーを押しても文字が入らないとき



キーボードから何の文字も入らない

キーボードが正しく接続できていない可能性があります。キーボードの接続を確認して、キーボードのプラグを再度コネクタに差し込んでみてください。

 参照 PART2 の「キーボードを接続する」(p.24)

画面の文字入力欄に「|」が点滅していないと、文字を入れることはできません。マウスで矢印を入力欄に合わせ、クリックしてください。「|」が点滅したら文字を入れてください。



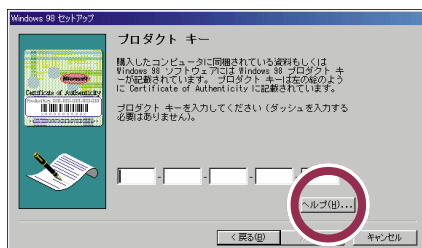
自分の名前を漢字で入れたいとき

はじめてパソコンを利用されるかた、ワープロを使った経験のないかたは、本書の説明にしたがってローマ字(アルファベット)で名前を入れるようにお勧めします。漢字に変換する方法は、『練習! パソコンの基本』の「PART3 キーボードに慣れよう」で説明していますが、名前によっては、一度で正しい漢字に変換できない場合があります。

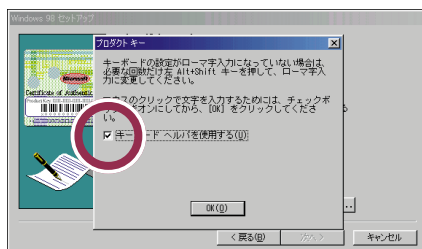
プロダクト キーの入力がうまくいかないときは

キーボードに慣れていない方は、「キーボード ヘルパ」機能を使って、マウスでプロダクト キーを入れてください。

- 1 「プロダクト キー」の画面で「ヘルプ」をクリックする。

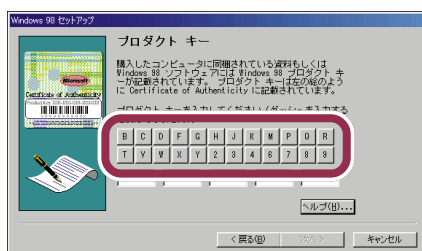


- 2 「キーボード ヘルパを使用する」の左にある ☐ をクリックして ☒ に変える。



- 3 「OK」をクリックする。
「プロダクト キー」の画面に戻る。

- 4 アルファベットや数字のボタンをクリックして、プロダクト キーを入れる。



画面が突然暗くなってしまったとき

PART3の「このパソコンの機能を使えるようにする」(p.81)の手順が完了したあと、キーボードのキーに何も触れなかったり、マウスを動かさなかったりする状態が20分以上続くと、自動的に画面が真っ暗になります。これは、ディスプレイをつけたままにして無駄な電力を使わせないように、省電力機能が働くためです。この場合、次のいずれかの操作をすると、元に戻ります。

- ・キーボードのキーを何か1つ押す
- ・マウスを軽く動かす
- ・キーボードの【スリープ】ボタンを押す

 参照 省電力機能→『拡張! 活用! バリュースター』PART12の「省電力機能(スタンバイ)」

インターネットに接続できない

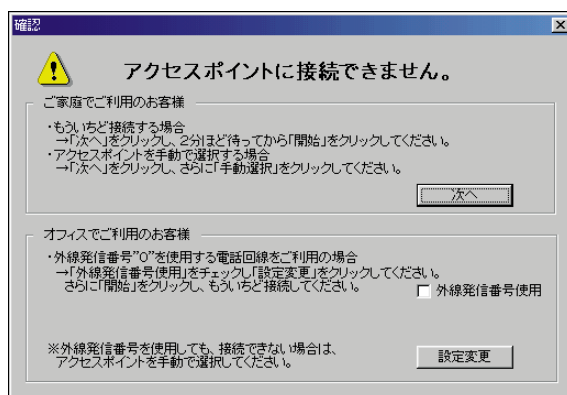
PART3の「インターネットに接続できることを確認する」で、インターネット無料体験のページが表示されない場合は、電話回線に正しく接続できているかどうか確認してください。

 参照 電話回線との接続→PART2の「電話回線に接続する」(p.49)

インターネット無料体験で、アクセスポイントに接続できなかったときは



「アクセスポイントに接続できません。」と表示された



メッセージの内容は場合によって異なります。

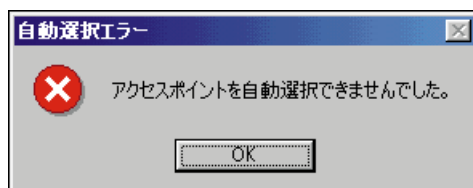
- ご家庭など、外線発信番号「0」を使用しない電話回線をご利用の場合
回線が混雑しているなどの原因が考えられます。次の手順で、再度、アクセスポイントの自動選択を行ってください。

- 1 「次へ」ボタンをクリックする。
 - 2 2分ほど待ってから「開始」ボタンをクリックする。
アクセスポイントの自動選択が始まります。
- 会社など、外線発信番号「0」を使用する電話回線をご利用の場合
外線発信番号「0」の設定が正しくないことが考えられます。次の手順で外線発信番号の設定をし、再度、アクセスポイントの自動選択を行ってください。
- 1 「外線発信番号使用」をチェックする。
 - 2 「設定変更」ボタンをクリックする。
 - 3 「開始」ボタンをクリックする。
フリーダイヤルに接続されます。
アクセスポイントは選択されていますが、アクセスポイントへのダイヤルに外線発信番号を使用する設定を行っていないために、「アクセスポイントに接続できません」と表示されます。
 - 4 「設定変更」ボタンをクリックする。
 - 5 「ダイヤルのプロパティ」で、外線発信番号の「市外通話」と「市内通話」の両方に「0」を入力する。
 - 6 「OK」ボタンをクリックする。
 - 7 「体験開始」ボタンをクリックする。
アクセスポイントに接続され、「BIGLOBE インターネットどきどき体験」のホームページが表示されます。

 **チェック!!** アクセスポイントの自動選択で、どうしてもアクセスポイントが選択できない場合は、前ページの画面で「次へ」をクリックし、「アクセスポイントを手動選択したいとき」(p.112)の手順3以降を行い、アクセスポイントを手動選択してください。



「アクセスポイントを自動選択できませんでした。」と表示された



アクセスポイントの自動選択はできないため、「OK」ボタンをクリックし、次の「アクセスポイントを手動選択したいとき」でアクセスポイントを手動選択してください。

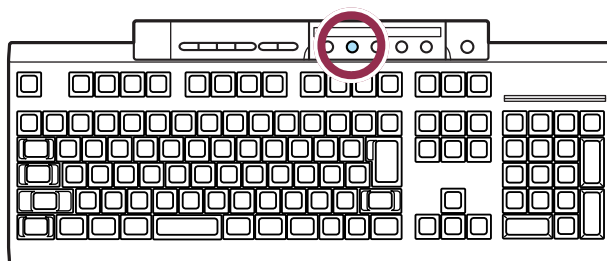
 **チェック!!** その他、どうしてもインターネットに接続できない場合は、『困ったときのQ&A』PART2の「インターネット、パソコン通信をしようとしたら...」をご覧ください。

アクセスポイントを手動選択したいとき

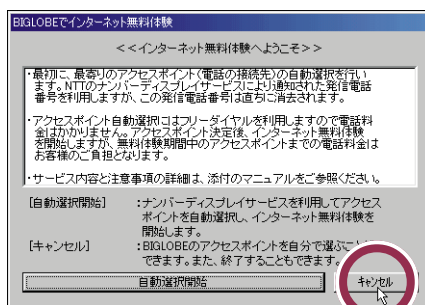


チェック!! 「ナンバーディスプレイ(発信電話番号通知サービス)」についてNTTとの契約がどうなっているかわからないときは、NTTにお問い合わせください。

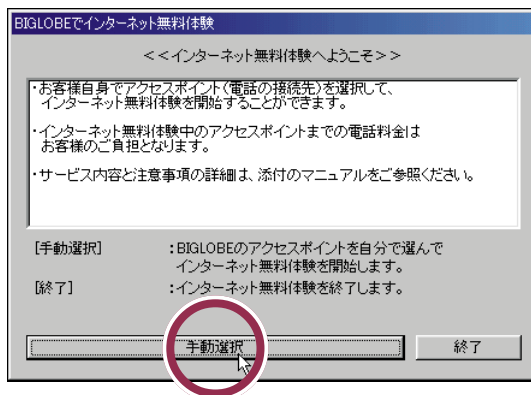
- 1 キーボードの【インターネット】ボタンを押す。



- 2 「キャンセル」をクリックする。



- 3 「手動選択」をクリックする。



チェック!! インターネット無料体験を中止する場合は、「終了」ボタンをクリックしてください。

4 「市外局番」の入力欄に「|」が点滅していることを確認する。

「|」が点滅していない場合は、入力欄に矢印を合わせて、「|」の形に変わったらクリックしてください。

②下のボックスにあなたの電話番号の「市外局番」を入力してください。

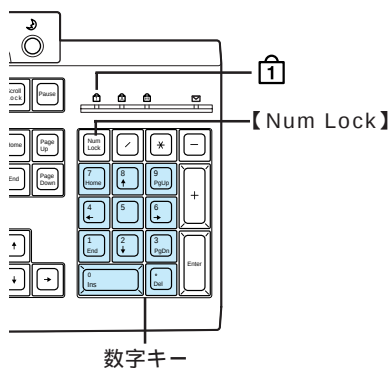
5 市外局番を入力する。

このパソコンに接続した電話回線の市外局番を入力します。

②下のボックスにあなたの電話番号の「市外局番」を入力してください。

東京都 23 区内(市外局番は 03)の場合の入力例

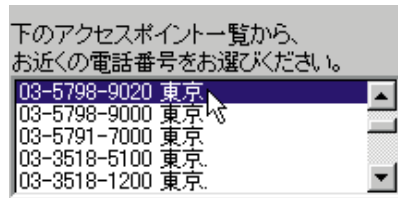
市外局番を入れるには、数字キーを使います。



 **チェック!!** キーボード右上の①の下ランプが消えているときは数字キーが使えません。【Num Lock】を押してランプを点灯させてください。

6 アクセスポイント一覧の中からひとつ選んでクリックする。

手順5で入力した「市外局番」から判断して、近くにあるアクセスポイントが自動的に表示されます。その中から選ぶと良いでしょう。

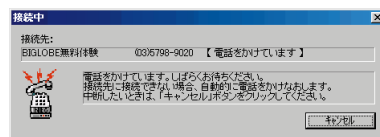


✓チェック!! 同じ都市名で2つ以上の電話番号がならんでいる場合は、どれかひとつを選んでクリックしてください。これは1カ所のアクセスポイントに電話が集中するのを避け分散させるために用意されたものなので、どれを選んでもかまいません。

✓チェック!! インターネット無料体験では、インターネット接続料金はかかりませんが、アクセスポイントまでの電話料金がかかります。電話料金を少しでも安くするために、なるべく近くにあるアクセスポイントを選んでください。

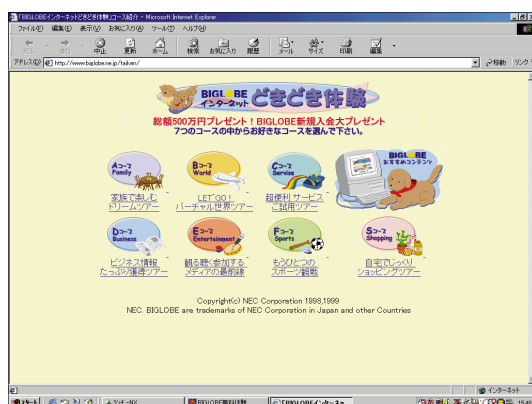
7 「体験開始」をクリックする。

次の画面が表示されます。



上のような画面が出て、パソコンがアクセスポイントに、自動的に電話をかけます。そのまま、しばらく(数十秒)何も操作せずに、待っててください。
接続先が話し中の場合、自動的に電話をかけ直します。つながるまで、しばらくお待ちください。

インターネットに接続されると、「インターネットエクスプローラ」のウィンドウが表示されて、「BIGLOBEインターネットどきどき体験」のホームページが表示されます。以降は p.90 の手順 4 からの説明にしたがってください。



ローマ字つづり一覧

あ a	い i (yi)	う u (wu)	え e	お o
か ka	き ki	く ku	け ke	こ ko
さ sa	し si (shi)	す su	せ se	そ so
た ta	ち ti (chi)	つ tu (tsu)	て te	と to
な na	に ni	ぬ nu	ね ne	の no
は ha	ひ hi	ふ hu (fu)	へ he	ほ ho
ま ma	み mi	む mu	め me	も mo
や ya	い yi	ゆ yu	いえ ye	よ yo
ら ra	り ri	る ru	れ re	ろ ro
わ wa	うい wi	う wu	うえ we	を wo
ん nn				
が ga	ぎ gi	ぐ gu	げ ge	ご go
ざ za	じ zi (ji)	ず zu	ぜ ze	ぞ zo

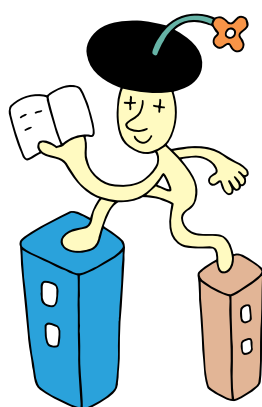
だ da	ぢ di	づ du	で de	ど do
ば ba	び bi	ぶ bu	べ be	ぼ bo
ぱ pa	ぴ pi	ぷ pu	ぺ pe	ぽ po
きゃ kya	きい kyi	きゅ kyu	きえ kye	きょ kyo
しゃ sya (sha)	しい syi	しゅ syu (shu)	しえ sye (she)	しょ syo (sho)
ちゃ tya (cha)	ちい tyi	ちゅ tyu (chu)	ちえ tye (che)	ちょ tyo (cho)
(cya)	(cyi)	(cyu)	(cye)	(cyo)
にゃ nya	にい nyi	にゅ nyu	にえ nye	にょ nyo
ひゃ hya	ひい hyi	ひゅ hyu	ひえ hye	ひょ hyo
みゃ mya	みい myi	みゅ myu	みえ mye	みょ myo
りゃ rya	りい ryi	りゅ ryu	りえ rye	りょ ryo
ぎゃ gya	ぎい gyi	ぎゅ gyu	ぎえ gye	ぎょ gyo
じゃ zya (ja)	じい zyi	じゅ zyu (ju)	じえ zye (je)	じょ zyo (jo)
(jya)	(jyi)	(jyu)	(Jye)	(jyo)

ぢゃ	ぢい	ぢゅ	ぢえ	ぢょ
dya	dyi	dyu	dye	dyo
でゃ	でい	でゅ	でえ	でょ
dha	dhi	dhu	dhe	dho
びゃ	びい	びゅ	びえ	びょ
bya	byi	byu	bye	byo
ぴゃ	ぴい	ぴゅ	ぴえ	ぴょ
pya	pyi	pyu	pye	pyo
てゃ	てい	てゅ	てえ	てょ
tha	thi	thu	the	tho
ふゃ	ふい	ふゅ	ふえ	ふょ
fya	fyi	fyu	fye	fyo
ふぁ	ふい	ふ	ふえ	ふぉ
fa	fi	fu	fe	fo
うゝ あ	うゝ い	うゝ	うゝ え	うゝ お*
ヴぁ	ヴい	ヴ	ヴえ	ヴぉ**
va	vi	vu	ve	vo
ぁ	い	う	え	ぉ
la	li	lu	le	lo
ゃ	い	ゅ	え	ょ
lya	lyi	lyu	lye	lyo

*ATOK12 の場合

**Microsoft IME 2000、Microsoft IME 98 の場合

索引



英字

ACアダプタの接続	59
【Alt】キー	73
【BackSpace】キー	75
CD-ROMドライブ	98
CRTディスプレイの接続	44
DVD-ROMドライブ	98
【Enter】キー	71
Microsoft Windows 98 ファーストステップガイド	68
USBケーブル	25,28
Windowsの終了	83,101

あ行

アース線	52
アース線の接続	52
アンテナ線	5
インターネット	88
インターネット無料体験	88
液晶ディスプレイの接続	35,37,42
音量の調節	104

か行

キーボードの接続	24
クリック	76
結露	2
コンセント	8,54

さ行

使用許諾契約	77
スクロール	77
スタンバイ	103
スタビライザの取り付け	20
スピーカの接続	46
【スリープ】ボタン	87,103
セットアップ	70

た行

ディスプレイ	9,10,35
ディスプレイの接続	35
電源ケーブルの接続	54
電源スイッチ	68,69,98
電源の取り方	8

電源を入れる	68,69,100
電源を切る	83,101
電話回線の接続	49

な行

名前の入力	75
-------------	----

は行

パソコンの接続	17~66
パソコンのセットアップ	67~87
パソコンの置き場所	2~7
パソコンの置き方	9
プロダクト キー	68
プロダクト キーの入力	78
フロッピーディスクドライブ	98
ヘッドホン端子	98
ボリュームつまみ	98,104

ま行

マウス	34,72
マウスの接続	34
マウスの動かし方	72
モジュラーケーブル	4,49
文字を打ち間違えたら	75

ら行

ランチ-NX	83
ローマ字のつづり方	116

ワンタッチ



ワンタッチスタートボタン早わかり表

ボタン 1 つでアプリケーションを起動できるワンタッチスタートボタンを紹介します。
購入時は、次のように設定されています。詳しくは、『拡張!活用! バリュースター』の「ワンタッチスタートボタン」をご覧ください。

電子メールをする！

【メール】ボタン

参照『たのしもう! インターネット』
の PART4

インターネットをする！

【インターネット】ボタン

参照『たのしもう! インターネット』
の PART1

ランチ-NX の表示 / 非表示

【ランチ-NX】ボタン

参照『練習! パソコンの基本』の
PART2

CD/DVD 制御ボタン

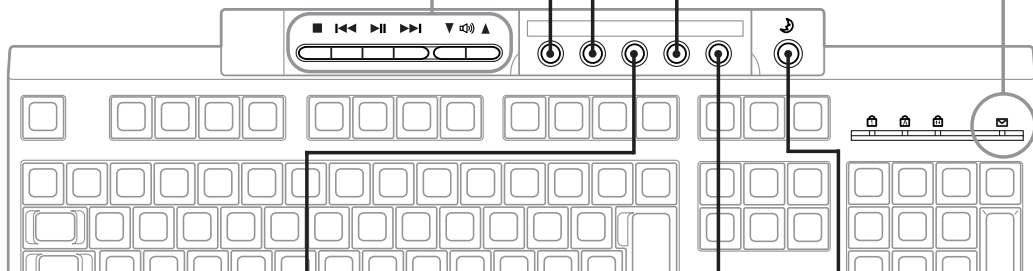
音楽CDやDVD VIDEOディスクの再生の
コントロールや音量調節ができます。

参照『まずこれ!接続と準備』の PART4
『パソコン探検箱』の「添付ソフトの使い方」

メール着信ランプ

指定した時刻にメールの着信チェックを
して、届いていればランプが点灯します。

参照『たのしもう! インターネット』
の PART4



操作法を画面で見る！

【パソコン探検箱】ボタン

画面の中でアプリケーションの紹介や使い方、また
トラブル解決の Q&Aなどを説明しています。
「添付ソフトの使い方」ではアプリケーションを使
いながら、その横で使い方を確認することができます。

参照『練習! パソコンの基本』の PART7

ソフトを終了する！

【ソフト終了】ボタン

TV モデルの場合は、【ビットキャスト
ブラウザ】ボタンに設定されています。

参照『TV モデルガイド』

スタンバイ状態にする！

【スリープ】ボタン

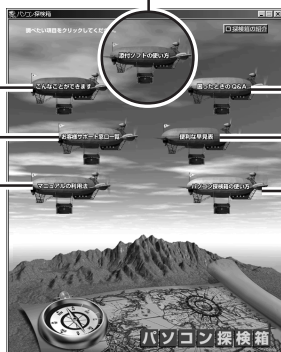
参照『まずこれ! 接続と準
備』の PART4

パソコン探検箱とは...

どんなときにどのア
プリケーションを使え
ばいいのが目的別に紹介

このパソコンやアプ
リケーションの問い合
わせ先の一覧

マニュアルの一覧

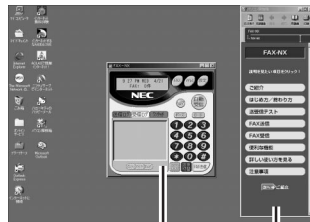


トラブル解決のための
Q&A 集

タスクトレイの説明や
ショートカットキーの
紹介など耳より情報

パソコン探検箱の使い
方の説明

このパソコンに入っているアプリケーションの操作説明



アプリケーションの画面

画面右側にアプリケーションの使い方

わかる、できる、役に立つ!! ①

外
装
に
れ
い
接
続
と
準
備



PC98-**NX** SERIES

VALUESTAR NX

VC550J/8 VC500J/8 VC450J/8 VC40H/8
VE500J/8 VE450J/8 VE40H/8 VT450J/8

初版 1999年7月

NEC

P

808-884397-005-A

このマニュアルはエコマーク認定の再生紙
(古紙率:表紙50%、本文100%)を使用しています。

